

2017年度 年 報
—自己点検・評価報告書—

天使大学 看護栄養学部
天使大学大学院看護栄養学研究科

はじめに

天使大学はカトリック大学として建学の精神「愛をとおして真理へ」を掲げて教育・研究に当たってきました。2017年は学園創立70周年の記念の年に当たり、12月8日に記念式典・記念講演会・記念祝賀会を開催して、これまで本学園の歩みを支えて下さった関係者の皆様と神に感謝すると共に、これからの歩みの上に神の御導きを祈りました。

今後、学生の修学環境の整備を主目的とする新校舎の建設が本年秋から始まり、老朽化した校舎の改修も行われます。併せて最終的なキャンパスの在り方を描くキャンパス・マスタープランも検討されています。これによって学生からの要望が多かった自習スペースも図書館とラーニング・コモンズを中心に大幅に増加することになり、また、懸案のバリアフリー化も進みます。しかし、これらの計画は健全な財務基盤がなければ実現は困難で、2020年からの学部学生定員増が検討されています。

一方、学士課程を終えてさらに学びたい学生や社会人の学び直しのために大学院の充実を重点目標の一つに挙げてきましたが、看護学科では空席だった教授職が補充され、2016年度に増設された修士課程保健師コースに加えて、老年・母性・小児看護学修士論文コースが増設の予定です。

さて、本学の教員には、そのミッションに適う教育・研究活動を行っているか、所属する教育研究組織が適切に活動しているかについての自己吟味が求められています。そのために計画・実行した教育・研究活動について自らが評価して改善していくPDCAサイクルがあり、自己点検評価に関する方針・実施基準に基づきその実施・報告に関する事項を自己点検評価委員会が担っています。本学のさらなる前進のために自己点検評価委員会が引き続き、本活動を熱心に推進されることを期待しております。

2017年度の自己点検評価結果については、年報の発行に先立って3月の教育研究評議会に報告して頂き、全学的に点検評価結果を共有しました。今後は評価点検結果に対応・改善するための「Act」の部分を中心に十分検討し、全学的に取り組んでいく必要があると考えております。

ここに2017年度年報をお届け申し上げます。学外関係者の皆様におかれましては、平素の本学の運営へのご理解、ご支援を深く感謝申し上げますと共に、本年報にお目を通し頂き、ご意見、ご批判を頂ければ幸いに存じます。ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

2018年7月

天使大学学長 武藏 学

自己点検・評価報告書

目 次

I. 教育課程	1
1. 教務委員会	1
2. カリキュラム検討委員会	2
3. 看護学科	3
4. 栄養学科	7
5. 教養教育科	9
6. 看護栄養学研究科	10
II. 学生の受け入れ	11
III. 教員組織	13
IV. 研究活動・研究環境	14
V. FD活動等	17
VI. 社会貢献	18
VII. 国際交流	22
VIII. 学生生活	23
IX. 就職支援	26
X. 図書館	27
XI. 情報処理システム	28
XII. 施設・設備	29
XIII. 管理運営	30
XIV. 財務	31
XV. 事務組織	32
XVI. 自己点検・評価活動	33

I. 教育課程

1) 教育課程の運営

担 当： 教務委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>看護栄養学部の教育を円滑に遂行するため関係部署間の調整をはかる。 (本年度の重点) 1. 新しいカリキュラムポリシーのもと教育課程の課題を見出し、改善をはかる。 2. ポータルサイト (T-NAVI) の安定した運用をめざす。 3. 各種の規程・申合せなどを見直し整備する。</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>看護栄養学部の教育を円滑に遂行するため関係部署間の調整をはかった。 一年間をとおして大きなトラブルがなかったことを踏まえ、関係部署間の調整が円滑に実施できたと評価できる。</p> <p>1. 新しいカリキュラムポリシーのもと教育課程の課題を見出し、改善をはかる。 学内カリキュラム検討委員会においてDP, CP, APの3ポリシーについて議論されている。昨年度、今年度の活動目標を定める時点ではCP (カリキュラム・ポリシー) について検討が開始され、年度内のいずれかの時点で、この新しいCPの下、新しい教育課程の検討を、本教務委員会でおこなうものと認識していた。 しかしながら、本年度の当初会議にて、新CP策定の延期が了承された。 このため、教務委員会でも、新しい教育課程に関わる議論とはならなかった。</p> <p>2. ポータルサイト (T-NAVI) の安定した運用をめざす。 1) 今年度は新しいポータルサイト (T-NAVI) が導入されて2年目となる。昨年度一年間で運用した実績を踏まえ、今年度一年間の安定運用をめざした。 現在、大きなトラブル等はなく、このまま、次年度へのデータ移行 (卒業・進級) 等に進めると考えている。 2) また、教室内Wi-Fiを利用した、出席の自動登録システムについても、ハード面では安定して稼働している。ただし、運用面では学生が利用する際の問題がいくつか報告されている。大きなトラブルとはなっていない。</p> <p>3. 各種の規程・申合せなどを見直し整備する。 現状を踏まえて整理した。 今年度、学長より、非常勤教員や実習指導教員などについて、学園の規程により「5年を限度として雇用契約を更新することができる」と定められており「理事会が承認した場合は」5年を超えて更新ができることが通達された。 学園理事会との相談・調整の上、更新6年目となる非常勤教員についても、天使大学にとって貢献が大きくこれからも期待できることを踏まえ、契約更新が了承された。 次年度以降の運用については整理が必要と認識している。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>看護栄養学部の教育を円滑に遂行するため関係部署間の調整をはかる。 (次年度の重点) 1. 新しいカリキュラムポリシーのもと教育課程の実施上の改善をはかる。 2. 各種の規程・申合せなどを見直し整備する。 (2018年度活動計画のとおり)</p>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>1. 次年度、新カリキュラムポリシーの策定に伴う教育課程実施上の滞りない運用を期待する。 2. ポータルサイト (T-NAVI) 全体の安定した運用については評価する。さらに運用面での学生の利用しやすさの改善を期待する。</p>

I. 教育課程

2) 教育課程の運営

担 当： カリキュラム検討委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 3つのポリシーを見直す 2. 学部カリキュラムを見直す 3. 学部入学定員を見直す
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 3つのポリシーを見直す 学校教育法施行規則の一部改正に伴い、3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）の策定が義務化されたことを契機に、本学では現行の3ポリシーを明確にするための検討を行った。 本年度はディプロマ・ポリシーについて、7つの能力、4つのレベル、2つの要素をカリキュラム・ルーブリックとして取りまとめたが、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシーの検討に入ることができなかった。 2. 学部カリキュラムを見直す 本年度はディプロマ・ポリシーの策定に時間を要したため、現行カリキュラムの課題についての意見交換だけしかできなかった。 3. 学部入学定員の見直し 2017年3月理事会決議に基づき、2020年度から看護学科及び栄養学科の定員を、それぞれ100名を目途に増員すること、栄養学科においては新たなコースの設置を含めて見直しすることについて検討を行い、その検討結果については、次のとおり理事会に報告した。 【看護学科】（入学定員）96名／（理由）現状の指導体制のもとでは、実習施設確保の困難さ及び学習効果の維持の面から受入れ最大人数は99～100名として対応可能であるが、留年者（2～3名）が出ることを考慮すると、定員としては96名が妥当な線と判断した。 【栄養学科】（入学定員）88名／（コース）現行どおり／（理由）現行では入学定員85名と編入学定員5名の90名で対応しており、入学定員90名として受入れ可能であるが、指定規則で定められている1クラス40名の縛りがあるので、その1割増しとして2クラス体制で入学定員88名であれば厚労省からの指摘を回避できるのではないかと判断した。また、新コースの開設には新たに教員の採用が必要となることを見込まれること、3クラス体制に伴い講義室・実習室の調整が困難になること、短大卒の栄養士との差異についてメリットが見出せないことなどから、これまでどおり管理栄養士養成コースのみとすることとした。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 3つのポリシーを見直す ディプロマ・ポリシーの最終まとめを行い、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシーを検討する。 2. 学部カリキュラムを見直す カリキュラム・ポリシーを踏まえた新カリキュラムを検討する。
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. すべてのポリシーについて十分に検討し、次年度中にまとめていただきたい。 2. 学科・科単位としてではなく看護栄養学部としてのカリキュラムの見直しを進めていただきたい。

I. 教育課程
3) 看護学科

担 当： 看護学科

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 建学の精神に基づくカリキュラムの実施・充実 (主体的学習行動、実践能力、判断力、人間形成:正課外教育・修養会、学習環境)</p> <p>2. 学生支援の促進と評価</p> <p>3. 教員の教育・研究活動の推進</p> <p>4. 教育指導体制の充実:職位や年齢構成を考慮した安定的な教員配置を目指す。</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 建学の精神に基づくカリキュラムの実施・充実に関する評価: 2016年度改正カリキュラム(1年・2年・3年)では、学習進度のバランスから科目配置を見直し、自己学習時間確保、学習積み上げの改善、専門分野の科目構造を見直した。カリキュラムの円滑な展開と、学生の基礎的専門知識の強化を図り、実践力強化、主体的な学習行動と判断力の育成につながることを目指した。</p> <p>①過密カリキュラムの是正: [看護学科カリキュラム評価アンケートより高3.7以上/低3.4以下()は昨年度] 過密の「前期」では、1年3.1(3.5)が最も低く2年3.4(3.3)・3年3.4(3.7)も低い。特に3年の昨年度からの低下が目立つ。3年前期は実習前に集中するNPと技術演習の為であろう。1年は専門基礎科目に初めて接し、学習方法の戸惑いが伺える。「後期」は、2年3.2(2.9)が低い昨年より上昇。「前期・後期の配置」は、2年3.4(3.2)と4年3.4(3.5)で低いが、2年は昨年よりは高い。2年後期は各看護領域でのGWが多く、自己課題が増え過密と捉えたのであろう、しかし、検索・討議のGWでは授業評価で達成感を示し、低い中でも昨年より上昇したのであろう。2・3年のGWは日程調整を行い過密感に対処したが、次年度も継続調整が必要。</p> <p>②主体的学習行動: カリキュラム評価では2年以外3.7以上と高く全学年で昨年より上昇。また、授業評価両学部全体2.8と比較しても高く、動機付け等の指導効果と言えよう。だが看護の科目別授業評価では2.9も見られ、自己練習のための実習室不足の記載もあり、設備の課題がある。学習への取組も<u>積極と消極の2極化が著しく</u>、受身学生への指導の工夫・検討が急がれる。</p> <p>③実践能力: 1年は「実践の原理解」4.0で、2年～4年の「実践」では学年進行に伴い3.5～3.8と上昇している。2年某実習では、「単独で出来る技術」は5項目が80%超体験し、88%見学の「食事介助」も<u>3年の実習では4項目40～74%が体験していた</u>。<u>4年の「統合看護技術演習」</u>の技術試験平均47.8点/55点で、授業評価では平均4.0以上と高いが、<u>取り組む意欲には差が目立った</u>。<u>統合看護臨地実習</u>での評価の中に看護技術(洗髪や清拭)の未熟性の指摘もあり課題である。実践力の中でも低い評価は、「看護チーム一員としての発言」3.0、「ケア実践の工夫の発言」3.2と、「<u>自分の意見を述べる</u>」ことに躊躇している。今年度より導入のループリック評価50%以下の一致項目は「複数受け持ち実習」で、複数者への看護実践力と評価力を養わなければならない。</p> <p>④判断力育成: カリキュラム評価から「健康問題の特定と問題解決方法の活用」で、2年3.5(3.3) 3年 3.7(3.6)、4年 3.8(3.8)と学年進行に伴って上昇し、2・3年では昨年よりも高い。1年は「健康状態の理解」で3.9と昨年の4.1よりは低い。「倫理的判断」と「倫理的行動」は2年が3.8(3.8)・3.5(4.0)で、他学年の4点台より低く、2年次生は集団不正出席で倫理観の育成指導がより必要とした。<u>1年次から暗記型の学生が増え</u>(高校での試験は出題箇所を知らされ、そこを丸暗記した)、2年でも再試者で確認すると、「何故」と疑問を持たない、裏づけの無い学習をしていた。4年の各論実習評価では病態を通してのアセスメントの知識と理解向上が必要と、アセスメント力への指導に時間を要している。4年の国試準備段階でも、この<u>丸暗記型傾向が特に模試不成績者に顕著であった</u>。判断力を育成するには、<u>学生が思考する学習の訓練を低学年からしなければならず、アッセンブリーアワーを使い、工</u></p>

活動内容の評価

夫した学習支援を実施しているが、思考し判断する力の育成に継続指導が必要である。3年次の実習Dランク学生には、例年通り評価会議で個々の課題分析を行い指導上の参考とする。

⑤ **理念教育としての人間性育成：修養会**：建学の精神に基づき昨年度より、各学年の修養会の柱になる点を学生と話し合い、祈り、聖書講読、内省を組み入れた。今年度は、基調講話は出来るだけ創設者であるマリアの宣教者フランシスコ修道会のシスターに依頼し、学生はじめ教員共々、キリスト教の人間観、信仰と日常生活との関連性を感じ取る機会となるよう調整した。現地に行けない講師(シスター)には、出発前学内での講話を依頼し、学生の発達段階に応じた内省と、修養会の動機付けとなり、「シスターの言葉は自然に入ってきました」などの反応が多かった。又、修養会テーマも、一般研修会ではなくキリスト教大学における修養会と言うことで、学生・担当教員と検討し、「祈りと共に…」「自分と他者を慈しみ…」等で実施した。4年修養会では教育理念と自己の関わり、看護観から将来展望が語られていた。修養会へは聖書を持参し聖書と共に考え、祈り、分かち合うことの深まりに向けて、進めていかなければならない。また、チャペルアワーは、キリスト教を身近に学び感じる機会であり、聖堂での祈りと内省を体験できる時でもあるが、前後期の年2回では少なく、学年毎の支援教員の検討により、増設を該当委員会へ申し出中である、ぜひ学生・教員にとって、学内における祈りと内省の時間となれる質と回数の設定が望まれる。理念教育の一端を担っている正課外教育の行事、特にイースターやクリスマスの集いの参加が悪く、共にミサが中心の行事で空席が目立つ。学生にとってはただ座っている傍観者で、ミサの中で祈りの主体者になれていない。ミサで自己の省みと感謝、他者への祈りが学生・教員の中に染込むには、ミサの構成とそれらの意味、さらに、信者・未信者の区別無く、参加者は祈りと恵みの主体者である理解と認識を持ち、体験出来ることが重要であろう。ミサ中やチャペルアワー等での説明が必要となろう。参考：ミサの構成：入祭、あわれみの賛歌、栄光の賛歌、ことばの典礼、感謝の典礼、交わりの議、平和の賛歌、聖変化、拝領祈願、閉祭。(祈りの手帖 p44～57)

⑥ **人間性育成としての自己洞察と他者理解、職業観育成**：「人間形成とキャリアデザイン」の科目を中心に修養会との関連強化を図った。1年から3年までのキャリアデザイン担当で学習の関連性と発展性を確認し展開方法を検討した。修養会では、本学教員の看護職キャリアについての講話時間を一昨年から取り入れ、教員の素に触れ身近に感じるなど、学生への看護職モデルとしての効果が見られる。又、学生からのリクエストで学年外教員も担当し、学生と教員で作上げる修養会で看護職職業観育成が定着しつつある。教員にとっても、自身を学生に伝える良い機会となっている。1年では、看護に対する漠然性が徐々に具体化する機会となり、ポートフォリオの活用工夫で、楽しく看護を考える時間になった等高い評価であった。参考：1年キャリア授業評価、「予習・復習」2.7 以外は他全項目平均 4.5～4.8、2年では、本講義と修養会との連動について、7割程の学生は授業の目的を理解し内省を通して看護専門職を目指すための自分の生き方を深めることが出来ていた。戴帽式は、担当教員・2年支援教員・戴帽式委員を中心に、主体的に取り組み、練習は形だけでなく、戴帽への意識と看護師の品性を培っていく過程として感じとっていた。誓詞も検討を重ね、キリスト教的側面を取り入れた。92名が戴帽し学年全体の一体感と看護師への意識が形成されつつあり、感動的であった。3年は、修養会とキャリアの授業とが、GWを通して連動できていた。修養会では実習を通して見えた看護職に必要な能力と自己肯定と他者理解について話し合い、自分を見つめる機会になっていた。4年は、修養会終了後のアンケート73名中「夕の祈り」「内省」「テーマを深める」80～87%の満足度で、4年間の学びから、自己内省と共に他者への愛ある看護を実践したいという発表が多く、本学理念の涵養として捉えられる。出席者76名 83.5%(市内 54.5%一昨年月日帰り 64%)で例年より大幅に上昇し、クラス全体のまとまりと共に、担当教員による欠席予定者事前面接の取り組みも寄与したと思われる。施設面の満足は、温泉は良いが、往復7時間以上の大雪青年の家への長距離移動等で39～52%と低かった。

⑦ **学習環境**: 昨年度からの4年研究文献複写補助、母子実習室空調設置により学習効果を上げているが、カリキュラム評価では、環境に関して3.4～3.6と低く、1年・2年は共に後期テスト時の自己学習教室不足で、4年の国試勉強に占有傾向との訴え。4年は図書館に国試関連図書を増冊と勉強場所の増設を望んでいて、評価では1年と4年が3.4と低かった。自己学習の為の教室は、学年混合での使用を勧めることも必要であろう。全学年で、技術練習のための実習室の空きが無く、十分に自己練習できない状況が起こっていた。

2. 学生支援の促進と評価: 7～8人の教員が12～13名を担当する少人数制の学生支援体制で、学年段階に応じた生活と学習支援に当たった。支援教員によるサポートについて、評価アンケートの結果は3.8～4.0と全学年高得点。1年は昨年より下がったが、教員個人との関りより1年の授業等での全員への動機付け周知の機会を多くしたことに因るのであろう。面接は前期と後期の2回、その他必要な学生には随時実施。支援教員会議は学年毎に3～5回開催し、情報交換と課題・正課外教育等の準備に当たり、今年度は、特にアッセンブリーアワー/LHR運営の検討を全学年リーダーと行い、特色ある計画と実施が行われた。**参考**: カリキュラム評価「支援教員によるサポート」1年3.8(4.2)、2年4.0(3.4)、3年3.9(3.8)、4年4.0(4.0) **1年は**再試の多い科目のミニテストと解説、主体的学習方法を全8回実施、参加の周知と動機づけに、T-NAVI、ポスター配布、講義時間アナウンスにより、毎回80名以上(46名、後半23名)参加し、補習の科目は再試者0名と効果が見られた。**2年は**、修養会、戴帽式の準備に多くの時間を当てた。修養会係学生を中心に各自に大切な行事との認識を持ち、主体的な行動がとれ、1名病欠のみで参加率も高かった。学生の国試対策委員を作り、学習支援プロジェクトと協力のもと国試勉強会・ミニテストを2回とGWで解答裏づけの学習を実施。不正出席等課題ある学生、過年度生2名については支援教員間で情報共有しながら個別対応を数回継続的に行った。**3年は**、面接カードやポートフォリオ使用にて目標、進路等の確認支援。行事欠席、履修未登録、後期実習後の休学者3名、訓告処分学生など個別対応必要な学生への適時面接・指導に迫られた。国試模擬試験実施しGWで解答理由確認し学習方法の共有と動機づけに効果あった。4年先輩学生2名から「4年生の1年間」の体験談の機会を作り、4年次での取組の参考としたが、出席者46名/89名中であった。他の行事への参加も一部の学生に限定されていた。行事参加の意義と行動化への動機付けとなるチャペルアワーやHRの設定が少ないことも一因であろうから、来年度への検討が必要で、後期開講時にLHRを設置し、実習後のモチベーション維持と課題への主体的学習行動の向上を図りたい。**4年は**、学期当初より学習状況や精神面に困難を抱えた学生がおり、担当支援教員を中心に情報の共有と支援に努めた。LHRを活用し、学習支援プロジェクトと連携で国試の意識づけ、模試への取り組み、模試結果の迅速・個別返却に努めた。国試模試計5回、1月からの自習室確保、模試成績下位(Cb以下)学生対策として、特別学習と補講を2名の支援教員が実施。該当学生の70～50%が参加し好評であった。LHRを今年度は12月に1回増し、統合実習、国試準備と生活の自己をマネジメントについて支援した。全学年で、学習と生活への動機付け、支援指導の場、主体的学習の場として、各学年でのアッセンブリーアワーでの学科使用コマの増加を委員会へ要請中である。

3. 教員の教育・研究活動の推進 [学科内自己点検委員会調査 回収率74.2% (83.3% 25部)()は昨年度] 論文投稿は8名34.8%(11名44%)。学会発表15名65.2%(19名76%)、5件以上発表者5名21.7%。科学研究費助成事業応募新規12名52.1%(9名35%)、継続中4名(6名)、採択新規0件(0件)、継続3件(研究代表者)。外部資金研究応募1名、継続中1名。特別研究費の応募1件、採択新規1件。社会貢献活動15名65.2%(16名64%)。博士課程3名在籍(長期履修)で昨年度と同じ。研究活動バックアップとしては、希望者を募り、科研申請予定者に教授1名が指導担当、希望者2名、実施1名。学科内自己点検評価委員会の主導の下、学科会議で学会等の伝達講習会を5回(5回)行い、領域を超えて学ぶ機会であったが、会議延長で急遽延期もあり実施方法は検討必要。教員の事務業務軽減のため、関連機関/課と

<p>活動内容の評価</p>	<p>検討、軽減を図ったが、非常勤講師手続き、実習指導届け、研究費等で継続検討調整が必要。</p> <p>以上から、科研費応募者の増加と研究活動の前進は見られるが、更なる推進のために研究時間確保が必要である。研究時間は個人の責任とされるが、学生の個別指導必要案件の増加、学部・学科委員会の会議と活動、正課外教育への指導、長期間の実習等教育活動に多くの時間が当てられている。さらに、<u>家族の介護・育児を担う教員も年々増加</u>しており、全学的なFDや会議は17:30迄に終了し、参加しやすくする対策が必要。学生のいない2月が他大学でも、研究に専念できる時期とされているが、本学の2月3月は入試と会議、事務的提出物が多く、検討・整理する必要がある。裁量労働制の活用、事務業務の軽減、カラー印刷機使用等による教材印刷時間の短縮等、体制面からの研究時間確保も必要である。</p> <p>4. 教育指導体制の充実:2017年度の教員体制は定員33名中32名で始動したが、前期に2名退職、7月と10月に2名採用し後期32名(大学院特任教授1名含む)体制で展開。数的には昨年度の1名不足より改善されたが、2領域の教授空席を助手で補う状況が、次年度は空席教授と専門基礎教授を含め5名の教授が採用予定で、助教は昇任と採用で3名増え、教員の若返りと共に教育・研究体制を整えることが出来た。実習指導力向上と指導者との連携のために、例年通り臨床指導者会議と臨床指導者研修会を実施し、指導上の課題を共有し、学生への教育的関わりを考える機会とすることが出来た。</p> <p>5. その他</p> <p>看護倫理に係るSNS上での発言問題や品性に係るSNS掲載など、倫理に関する特別指導を要する案件が目立った。健康面ではメンタルの病で4年1名、3年4名の休学者が出るなど、個別で特別な支援を要した。新しく導入されたT-NAVI出席登録での不正行為者が同学年で8名も出て、ここでも倫理に関する課題として対処・指導に当たった。T-NAVI出席登録での不正防止対策を全学的に講じることが急がれる。</p> <p>成績評価の意見申し出は無いが、<u>試験問題の解説を望む声が多々有り</u>、<u>学習のフィードバック対策</u>が急がれる。指導上の教員対応についての表立った不満は無いが、教員自身による自己評価力向上と教員相互に指摘・補え合える関係性の構築は継続課題である。</p>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神に基づくカリキュラムの実施・充実：実践力、主体的学習行動、判断力育成を目指す。 (カリキュラム3Pの完成、各教科・学習支援での実践力、主体的学習行動、判断力の育成、学習のフィードバック対策、学習取り組みの二元化への対応、正課外教育の充実と参加者増加への対策としての、修養会の充実、アッセンブリーアワー・チャペルアワーの増設と活用) 2. 学生支援活動の充実：学生支援教員と当該領域教員との連携を継続する。 3. 教員の教育研究活動の推進：研究資金獲得や研修時間の確保への各領域での体制作り 4. 教育指導体制の充実：職位や年齢構成を考慮した安定的な教員配置を目指す。 5. その他：学生生活上の課題は継続して支援していく。
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主体的学習、実践力構築、思考して判断する力への対策がとられ、人間形成への指導も計画的である。しかし受動的な学生への指導に課題が残る。継続して取り組んでいただきたい。 2. 支援教員による学生指導は学年ごと非常に綿密に実施され効果がみられる。差異のある学生への対応が難関であると思われるが、学生と連携した支援を一層深めていただきたい。 3. 論文投稿、学会発表、科研費応募等の活動は評価に値するもので、学科の協力体制が認められる。教育と研究の両立に対する意識の高さを継続していただきたい。

I. 教育課程

4) 栄養学科

担 当： 栄養学科

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 正課教育、正課外教育（修養会等行事を通じたカトリック大学としての理念教育）の充実 2. 就職支援対策の充実 3. 研究活動及び地域連携の推進
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ①学部カリキュラム検討委員会での検討事項である3つのポリシーの検討を行った。学科カリキュラムワーキングにおいてDPの検討を行い、次年度も引き続きCP、APの検討を行い、カリキュラムの検討を行うこととした。 ②臨地実習については実習担当教員を中心とした実習指導を行い、巡回などは学科全体が協力して進めることができた。実習施設との連絡連携については特に問題はなかった。 ③国家試験の支援については国試ワーキングの教員が中心となり、模擬試験や学生指導を行い、学科教員による試験対策講義を実施した。模擬試験結果は平均点が昨年度と比較すると若干低く、2018年1月の模擬試験で上昇が見られた。支援教員及び学科長から模擬試験成績下位者への面談を実施し、学生への士気向上に向けたサポートを行った。 2. 就職支援対策では、学科の就職委員及び学生支援教員を中心として、個人面接を行い、学生の希望に沿った就職支援を実施した。学生の就職希望先が多極化していることから、就職委員会との連携をさらに深めながら、よりよい就職につながるようサポートした。就職委員会が実施する対策講座への参加支援なども実施した。 栄養教諭の合格者は4名であった。また札幌市の学校栄養職員は2名合格した。 3. 研究活動の推進の一環として、学会で発表する教員による学科内での事前発表会を実施しディスカッションをする機会を設けた。社会・地域貢献として天使健康栄養クリニックを実施した。このほか学科教員による地域貢献を実施した。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学科のDPを基に、CP、APの検討と合わせてカリキュラムの検討を行う。 2. 臨地実習及び成績下位者への指導について検討する。 3. 管理栄養士国家試験について学科全体の協力体制のもと、対策を検討し、合格率100%を目指す。 4. 個々の学生に適した就職支援のあり方、栄養教諭の受験指導について検討する。 5. 天使健康栄養クリニックをはじめ、社会・地域貢献の一環として地域連携を積極的に推進する。
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前年度の評価から具体化された課題を活動目標に明確に位置づけ、活動内容が評価されるとPDCAサイクルを意識した活動の積み上げができると考える。 2. カトリック大学としての理念教育として実施した内容とその評価が明示される必要がある。 3. 実習および成績下位者への指導は国家試験対策にもつながる活動であり、教員は支援体制をとり組み込まれていることは評価できるが、活動目標として明示し、さらなる施策を講じる必要がある。

I. 教育課程

4) 栄養学科－教職課程

担 当： 教職課程委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 栄養教諭養成のための教育の充実 2. 科目等履修生の受入 3. 栄養教諭免許状更新講習の計画策定と実施</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 栄養教諭養成のための教育の充実として、以下のとおり実施した。</p> <p>1) 現職の栄養教諭による授業（講演）の実施</p> <p>①「栄養教育実習事前事後指導」の1回：「学校現場の実態」のテーマで小学校栄養教諭が実施。</p> <p>②「教職実践演習」の1回：「年間指導計画と効果的な食指導・アレルギー対応」のテーマで小学校栄養教諭が実施。</p> <p>③「教職実践演習」の1回：「特別支援学校の栄養教諭業務」のテーマで特別支援学校栄養教諭が実施。</p> <p>*いずれも、授業後のレポートで効果が確認された。</p> <p>2) 外部との連携による教育の充実</p> <p>①北海道大学での農場体験</p> <p>i)「ベリー類の特性についての学習と収穫体験」（1年次「教職概論」の1回）</p> <p>ii)「田植え・稲刈り・収穫・搾乳体験・調理体験」（正課外、1年次）</p> <p>iii)「新米官能評価」（正課外、1年次）</p> <p>iv)「北大生対象新米による調理指導」（正課外、4年次）</p> <p>②小学校でのインターンシップ体験（正課外、札幌市立小学校3校で実施、2年次）</p> <p>③サッポロさとらんどでの栄養教育（4年次「教職実践演習」・3年次「教職総合演習」）</p> <p>④小学校授業参観（1年次「教職概論」、札幌市立小学校1校で実施）</p> <p>⑤中学校授業参観（3年次「教職総合演習」、札幌市立中学校1校で実施）</p> <p>⑥学校給食センター参観（3年次「教職総合演習」）</p> <p>*以上については、事後のレポート、アンケート、感想から、学生にとって感動的体験で学びが多く、その効果が確認された。</p> <p>3) 履修カルテ活用の充実</p> <p>履修カルテの内容を改訂し、学生への指導を充実した。</p> <p>4) 教員採用試験の受験支援</p> <p>平成30年度北海道・札幌市教員採用試験の受験支援を、外部講師を含めて行った。合格者は現役受験者11名中4名が合格し、過年度生1名を含めると5名であった。</p> <p>なお、北海道の栄養教諭の合格者は17名であり、前年度の26名より数が減少しているが、現役生の合格者数は変わらず、本学の合格者の割合が前年度の27%から29%と上昇したことは評価できる。</p> <p>2. 科目等履修生の受入</p> <p>本学の卒業生である2名を受け入れ、3科目（計5単位）を認定した。</p> <p>3. 栄養教諭免許状更新講習の計画策定と実施</p> <p>8月9日（水）に、「北海道の食文化について」をテーマとし本学山部秀子教授による講習を実施した。栄養教諭7名が受講し、事後アンケートでも概ねよい評価を受け、目標は達成された。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 2019年度から開始される新教育課程が円滑に運営できるよう、整備を進めていく。</p> <p>2. 教員採用試験の支援を一層強化し、合格・登録者数を高めるため、就職委員会と連携した支援を行う。</p> <p>3. 教員免許状更新講習の開設科目と受講者を増やすと共に、本学の経営基盤に貢献する。</p>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>1. 栄養教諭養成の教育充実のために、現職の講義、外部との連携等多様な取り組みが行われていることは評価できる。</p> <p>2. 栄養教諭に関する学生の学びの内容、教職課程のプログラムとしての効果についての評価が示されると良い。栄養教諭の合格者の割合が上昇したこと、3名が栄養教諭として就職したことは評価できる。科目履修生の受け入れや栄養教諭免許更新講習等卒業生への対応を続けていることも評価できる。</p>

I. 教育課程

5) 教養教育科

担 当： 教養教育科

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 初年次教育関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語教育 習熟度別授業を実施し、各学生の英語力にあった指導を行うことで学生一人一人の英語力の増強を図る。 ・共通基礎科目 高等学校の新しい教育課程を踏まえ、入学前教育・導入教育をおこなう。 ・専門基礎科目との連携 新たに策定された3ポリシーのもと、効果的な連携を目指す。 <p>2. 学外研修関連</p> <p>初年次教育や教養教育に関連する学外研修に参加し情報収集に努める。</p> <p>3. その他</p> <p>教養教育科における自己点検評価活動の充実を目指す。</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 初年次教育関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語教育 G-TELP を用いた習熟度別クラス分け、および到達度評価をおこなった。 ・共通基礎科目 生物学および化学について、入学試験の合格者に対して、問題集を配布・回収・採点などの入学前教育・導入教育をおこなった。また、入学後に診断テストをおこない、高等学校の教育課程下における理科学科目の定着状況の確認をおこなうとともに、習熟度別クラス分けなど履修指導に活用した。 ・専門基礎科目との連携、基礎学修演習 ポリシーの議論が CP まで進まず、また、このため、教養科目と専門科目との連携について議論するまでには至らなかった。 昨年度から今年度にかけて基礎学修演習の担当教員が交替した。大きな混乱はなかった。 <p>2. 学外研修関連</p> <p>初年次教育や教養教育に関連する学外研修に参加し情報収集した。本年度は下記の研究会等に参加した。科内で情報を共有し、自己点検評価活動の参考とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北・北海道地区大学等・高等共通教育研究会（東北大学，仙台市，8月） ・初年次教育学会（中部大学，9月） ・大学教育研究フォーラム（京都大学，3月） <p>3. その他</p> <p>科の自己点検評価活動として意見交換会をおこない、教育・研究・その他に関して情報の共有をはかった。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 初年次教育関連の更なる充実</p> <p>2. 学外研修関連による情報収集</p> <p>3. 教養教育科における自己点検評価活動の更なる充実</p>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>1. 初年次教育を継続実施していることは学生の教育の質向上にもつながり、評価できる。</p> <p>2. 教養科目と専門科目との連携について議論を進め、3ポリシーの早期の策定に期待する。</p>

I. 教育課程

6) 看護栄養学研究科

担当： 看護栄養学研究科

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2016年度新カリキュラムの効果的な運用 2. 大学院生定数確保のための対策（広報活動、奨学金制度、遠隔教育等） 3. 教育研究施設・備品、図書、研究費等、院生の研究活動充実に向けての支援 4. 看護栄養学研究科としてのFDの企画・運営 5. 大学院教員体制の整備、組織体制の検討
<p>活動内容の評価</p>	<p>2017年度は、看護学専攻修士課程5名（保健師コース5名）が修士（看護学）、栄養管理学専攻博士前期課程1名が修士（栄養学）を取得した。長期履修制度利用者1名であった。</p> <p>活動目標に対する評価を次に示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2016年度新カリキュラムの効果的な運用 <ul style="list-style-type: none"> ・看護学専攻保健師コース58単位、ホスピス緩和ケア看護学コース38単位、栄養管理学専攻を運用した。共通科目は、一部のみ土曜開講とした。今後も社会人が多い栄養管理学専攻の院生が参加可能な時間割に調整する必要がある。 2. 在籍学生比率向上に向けて、以下の活動を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・大学院進学への意識づけのために学部生を対象に説明会を実施した。 看護学科4/20 22名（4年5名 3年17名）、6/27 34名（2年23人、1年11名） 栄養学科7/4 17名（4年7名 3年10名）、10/24 46名（2年7名 1年39名） ・天使祭説明会 6/10 看護学専攻4名・オープンキャンパス 7/31 看護学専攻4名 ・大学院説明会 8/18 栄養管理学専攻2名 <p>栄養管理学専攻は初めて大学院説明会を実施した。今後も情報発信のため継続する。</p> ・2018年度入試結果、看護学専攻は、保健師コース6名、ホスピス緩和ケア看護学コース2名、成人看護学コース1名が合格した。栄養管理学専攻は、博士前期課程1名、博士後期課程3名が合格した。収容定員に対する在籍学生比率は、看護学専攻 46.4%（昨年32.1）、栄養管理学専攻博士前期課程 33.3%（昨年33.3）、博士後期課程 83.3%（昨年33.3）で、前年度よりも増加した。 <p>広報活動の回数は増えたが、ホームページの充実など周知方法の拡大を広報委員会の計画に位置づけ活動することが必要である。学習機会の拡大のため遠隔教育の検討、奨学金制度の整備、職業実践力育成プログラム認定制度（文科省）の検討等が必要である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 院生研究費の有効活用に向け、金額、適用、精算方法等について、院生、教員に周知した。院生学習室・ゼミ室は、現在は院生数が少ないため対応できたが、将来に向け定員分の学習スペースの確保が必要である。 4. 看護栄養学研究科合同FDを実施した。第1回は8/24「味覚と嗜好—研究から教育・産学連携への展開—」龍谷大学農学部食品栄養学科伏木亨教授で、参加は22名であった。第2回は2/1「質的研究—質的研究方法論—」共立女子大学看護学部 高木廣文教授で参加は60名であった。 5. 大学院教員体制の整備、組織体制について進展がなかった。今後も検討を続ける。 6. 2017年度天使健康栄養クリニックは地域住民25名に健康教育を行い、体重および腹囲減少等の成果を上げた。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 入学生確保に向けた広報活動の充実、奨学金制度の整備・拡大、双方向授業や図書館の検索機能の拡大など遠隔地の院生へのサポート体制の検討 2. コース増設などによる院生数の増加に伴うゼミ室や院生学習室等の環境整備 3. 2016年度カリキュラムの評価、コース増設などカリキュラム改正に向けての検討 4. 大学院の教員体制の整備、大学院担当教員の業務軽減のための方策検討
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本年度の活動目標に対し項目ごとに評価されている。 2. 不十分な事項と次年度への課題のつながりがわかり難いため、今後の取り組みを期待する。

II. 学生の受け入れ

担当： 入試委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各種入学試験について、一層、厳正な実施と円滑な運営に努める。 2. アドミッション・ポリシーに相応しい入学者確保に向けた入学試験選抜制度と内容について検討を継続する。
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 入学試験実施に関する評価は以下のとおり。 <ol style="list-style-type: none"> ①各種入学試験に関するアンケートを、教職員を対象に実施し、その結果等をもとに入試委員会で検討し、改善を続けている。 ②大学入試センター試験では、共同実施校と連携を図りながら準備を進め、円滑に試験を実施した。 ③試験問題作成・採点を含む試験実施に関わるマニュアルの記載内容の充実については、一般入学試験の校正時期を再検討した結果、校正時期を早めることができた。 ④「個人面接試験評価項目一覧」および「合否判定基準」については委員会で審議し、今年度は変更を行わなかった。今後、引き続き検討していくこととした。 2. 入学試験選抜制度・内容の検討についての評価は以下のとおり。 <ol style="list-style-type: none"> ①「進学校に対する指定校推薦枠の設置」：新入学者選抜制度の検討について審議したが、今後、引き続き検討することとした。 ②「2017年度入試問題難易度の分析」：2017年度一般入学試験について、設問ごとの正答率に関して分析し、2018年度一般入学試験問題作成者に問題作成の参考資料として分析結果を提供した。あわせて、予備校の解答速報も参考資料として提供した。 3. 入試問題および学生募集要項の誤記等について 過去の試験問題に関して外部からの問い合わせがあり、誤記及び正答の無い問題が発見された。また、学生募集要項に関する誤記もあった。ミスの防止と早期発見のための仕組みづくりを検討していくこととした。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 引き続き適切な入学試験の実施・運営に万全を期する。そのため、具体的に次年度は以下の点を行う。 <ol style="list-style-type: none"> ①入試問題ミスの防止と早期発見のための仕組みづくり（試験問題作成および試験実施に関わるマニュアルの記載内容充実を含む） ②「個人面接試験評価項目一覧」および「合否判定基準」の見直し ③トラブル対応のマニュアルの充実 2. 天使大学入学者選抜に係る新たなルールに基づいた個別試験の2018年度中の公表に向け、3つのポリシーや学力の3要素の多面的・総合的評価を踏まえ、個別選抜内容の検討を行う。その際、行政および他大学の動向、高校の意見も参考にし、受験生に不安や混乱が生じないように配慮する。
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 入試の厳正な実施と円滑な運営に向け、マニュアルを整備し取り組まれているが、入試のミスや誤記の防止のためのさらなる体制の確立が重要となる。 2. アドミッション・ポリシーに相応しい入学者選抜のために全ての入学試験に面接を課し、学科試験や小論文と合わせて受け入れ方針に合致した人物か評価する選抜方法となっているが、面接試験の評価、合否判定基準についての課題は、早急に検討する必要がある。 3. 新入学者選抜制度の検討に合わせて、指定校推薦についての見直しを予定しているが、これまでの分析を行い慎重に検討する必要がある。

II. 学生の受け入れ

担当： 広報委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学部入学志願者数および入学者数の安定的確保のための諸活動の充実 2. 接触者の志願率・入学定着率の向上のための企画等の充実 3. 天使大学・大学院広報活動（情報収集および情報発信）システム作り 4. 大学院（看栄研、保健師・助産師、高度実践看護師）広報の充実 5. 入試委員会および各機関との連携強化による広報活動の充実
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前年度に進学相談会参加会場を大幅に増加させたが、接触者が極めて少ない会場も複数あったため、今年度は参加会場を精選した一方で、志願者数の多い高校が参加する校内ガイダンス等については、参加教職員数を増やすなどの対応を図った。 高校担任教諭高校向けの広報活動として、進路指導部宛のダイジェスト版等の配付を前年度に引き続き行った。 また、2018年度推薦入試の志願者数が減少したことを受けて、初めての試みとして12月上旬に例年本学への志願者が多く重要なターゲットと位置づけている高校の中から5つの高校（札幌国際情報、札幌手稲、札幌藻岩、札幌月寒、北広島）を訪問してフォローアップを行い、一般入試及びセンター入試での志願促進を図った。 出張講義の講師派遣については、過去3年間で志願者がいる高校を対象とし、依頼があった高校に対しては、学科と連携して教員のスケジュールを調整し、可能な限り参加するように努めた。 こうした活動を経て、文系志向、医療系志望者減少傾向の中にあつて、看護学科の一般入試の志願者数が増加し、栄養学科においても大幅な減少を防ぐことができた。 2. 本年度は、大学案内パンフレットの一部改訂をしながら、オープンキャンパス、学生参加型広報活動等、昨年度までに改善してきた内容を踏襲して展開した。 また、接触者の志願率・入学定着率を向上させるために、次年度から公式 web サイトのリニューアル及びスマートフォン対応をすることを決定し、事務局各機関と連携しながら制作企業の選定や作業を行った。 3. 今年度から学報の発行を年度2回に増やし、学生や卒業生の活動に関する情報の発信を強化した。また、昨年度に見直した学内情報収集システムとチェック体制の機能が確立されてきた。 4. 大学院の広報活動については本学各学科における全学年を対象に説明会を実施した。オープンキャンパスについても看護学専攻が学部のオープンキャンパスとの同日開催、栄養管理学専攻においては8月の学生夏期休業期間中に単独開催するなど、学外の希望者に対する広報活動の充実強化を図った。さらに高校生に対しては、保健師や助産師などの職業や学修に関する内容を含めながら大学院の紹介も行った。 5. 新入生アンケート結果、オープンキャンパス参加者の傾向等に関する資料を作成したほか、民間企業が実施した模擬試験データ等を分析し、教職員・理事者へのフィードバックを行った。 また、「売り」の1つとして期待される新棟建築事業に関するPRを次年度以降に行うための協力依頼を関係機関に対して行った。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本学接触機会の増加を図るための事業の充実 2. 接触者の志願率・入学定着率の向上 3. 学部からの継続した大学院広報及び他大学・社会人への広報活動の充実 4. 天使大学・大学院情報収集及び情報発信システムと管理体制 5. 各学科・入試委員会及び各機関との連携強化
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 有限な予算、人員の中で志願者の安定的確保を実施している。入試に関するデータ分析による情報は非常に重要である。さらなる情報の共有を推進していただきたい。 2. 受験生にアピールする媒体の研究を推進し、志願者と優秀な学生確保に向けて英知を出しあっていただき、学内連携を強化していただきたい。

Ⅲ. 教員組織

担 当：自己点検評価委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 大学基準協会の認証評価の「教育研究組織としての適切性」については、教育の質保証の観点から、教育内容と教員の研究環境のあり方に配慮しながら定期的に検証する。</p> <p>2. 教員組織については、将来的な課題に対応した教員組織を整備し、組織的な連携体制を構築するとともに全学的な取り組みの中で定員確保に向けた取組を進める。</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 「教育研究組織としての適切性」の検証について 教育研究組織としての適切性については、大学の理念・目的を実現するために必要な学部学科、研究科として適切に機能しているかなどについて、大学自らが恒常的、継続的に教育の質の保証及び向上に取り組むことが求められている。 このため、教育内容の質保証について、学長を委員長とするカリキュラム検討委員会を設置し、学部のカリキュラム、学部教育と大学院教育との連携に向けた課題を洗い出しながら、2020年度のカリキュラム改正に向けて検討している。 また、研究環境のあり方については、科研費申請に向けて説明会、外部講師による講演会などを実施したことから、今年度はわずかであるが申請件数が増えている。 大学として自己点検委員会を組織し、教育研究活動、人事、組織、財務などの諸活動について毎年度、自己点検と評価に取り組んでおり、この取組により本学の課題について認識し、本学の教育研究組織としての適切性について、検討を進めている。</p> <p>2. 教員組織について (1) 2017年度人事方針においては、前年度同様に、看護栄養学部の教員定数は67名、助産研究科は15名、嘱託教員及び特任教員の数は、それぞれ3割程度とした。 看護栄養学部の教員定数67名の内訳については、看護学科33名、栄養学科27名、教養教育科7名である。 (2) 2017年度の教員確保については、前年度の退職者の補充を十分にできず、特任教授や助手の採用で対応した学科もあった。このため、4月から教員募集に取り組んできたが、教授職の確保が十分できなかったことについては、教育内容の質保証の観点からも課題となった。 また、このことは、大学院における高度専門職養成に対応する教員組織の充実の観点からも不十分であり、この点に留意した教員確保に取り組むことを2018年度人事方針に明記して、教員確保に取り組んできた。 2018年度に向けては、大学院を指導できる教員確保の結果につながっているが、全学的には専任教授の確保に向けて引き続き努力していく必要がある。 教員確保のためには、退職申出期限を含め採用スケジュールが短いことなどについて、他大学の情報収集に努め、検討する必要がある。 (3) 本学の教育活動の一翼を担う非常勤講師等の雇用問題については、今年度の取組を活かし、安定的な教員確保に努めていく必要がある。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 大学基準協会の認証評価の「教育研究組織としての適切性」については、教育の質保証の観点から、教育内容と教員の研究環境のあり方に配慮しながら定期的に検証する。</p> <p>2. 教員組織については、本学の将来の教育体制に対応できる教員組織の整備に向けて、全学的な取り組みの中で定員確保に向けた取組を進める。</p>
<p>自己点検評価委員会からの評価</p>	<p>1. 学士課程教育の成果として期待される国家試験合格率、教員の外部研究資金の獲得等の実現のために、より適切・充実した教員組織の構築に向けての検討・努力が必要である。(学長)</p> <p>2. 「教員組織としての適切性」については、教員研究活動・人事・組織・財務などの諸活動について、より具体性をもって検討する必要がある。</p> <p>3. 教員定数が充足されていないことについては、教育の質保証の観点からも適切な教員確保が望まれる。</p>

IV. 研究活動・研究環境

担 当： 学術振興委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 科研費等競争的外部資金獲得のための講習会を企画する。 2. 紀要第 18 巻(第 1 号・第 2 号)を発刊する。 3. 特別研究費の研究報告会を実施する。 4. 若手研究者育成のための具体的方策を検討する。 5. 2015 年度の委員長提言について今後も引き続き要請を行ってゆく。
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今年度の科研費採択数は新規 1 件、継続 3 件であった。申請件数は計 16 件。 科研費獲得のための講習会を 2017 年 7 月 26 日(水)に開催し、科研費採択審査委員経験者である札幌学院大学の室橋春光教授に講師をお願いした。参加者は 27 名。 今後、年 2 回は開催できるよう、企画及び準備を進めることとした。 2. 紀要は、第 18 巻の第 1 号及び第 2 号を発刊した。投稿者が減少していることについては、春休みや夏休み期間を執筆期間とできるよう、募集時期を調整し、第 19 巻より年 2 回の投稿締切日を 4 月末と 10 月末に改めた。 3. 研究報告会は 2018 年 3 月 16 日(金)に特別研究費による報告 4 件を行った。今後は特別研究費による研究報告は本学紀要に投稿して公表するよう促したい。 4. 若手研究者からの多様な質問に応じることができるような相談体制（よろず相談）を実践した。 5. 研究指導者と若手研究者の研究指導体制を構築する提言を委員会として今後行っていく必要があることが確認された。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 科研費等競争的外部資金獲得のための講習会を企画する。 2. 紀要第 19 巻(第 1 号・第 2 号)を発刊する。 3. 特別研究費の研究報告会を開催し、発表後の本学紀要への投稿を促す。 4. 研究に関する相談窓口を設け、若手研究者育成のための方策を検討する。
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本年度の活動目標に対し、項目ごとに評価されている。 2. 科研費獲得のサポートや研究指導体制を構築する提言など、取り組みを期待する。

IV. 研究活動・研究環境

担 当： 研究倫理委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 迅速な倫理審査の実施 2. 現行の倫理指針に沿った審査手続きの遂行 3. 研究倫理に関する研修活動および関連する情報提供の実施
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今年度は全体で 21 件の研究倫理審査申請があった。各申請に対しては、事務局を担当している財務室スタッフおよび委員長が申請書類等を確認しているが、申請者本人の事前チェックが不十分なものも多く、昨年度同様その対応に相当の時間を要した。よって次年度は、チェックリストの適切な使い方についてさらに周知徹底させる必要があると思われる。 2. 現行の倫理指針「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に合わせた委員会規程の改正を昨年度末に実施し、委員会構成員の変更（学外委員の登用）および迅速審査手続きの導入、委員会審議事項への利益相反の明記などを盛り込んだ新しい委員会規程の下で業務を遂行した。 <p style="margin-left: 2em;">なお、一昨年度までは本委員会に予算は付かなかったが、学外委員の導入に伴いその人件費が発生し、また年一回の研修会の機会確保が現行の倫理指針で定められているため、そのための講師招聘のための経費等を昨年度から予算とし計上している。</p> 3. 従来同様、年度始めの早い時期に、本学での研究倫理審査申請の手続き等の研修会を実施し、研修会参加者には研修を受けた旨の修了書を発行した。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 従来通りの迅速な研究倫理審査を実施すること。 2. 国の倫理指針に基づきながら委員会業務を遂行すること。研究倫理に関する研修会の実施や、研究倫理に関する幅広い情報提供の実施。 3. 学術振興委員会等、他の委員会とも連携しながら、関係する情報の共有を図ること。
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本年度の活動目標に対し、項目ごとに評価されている。 2. 本年度十分に実施できなかった事項を次年度への課題として推進していただきたい。 3. 他の委員会との連携を推進していただきたい。

IV. 研究活動・研究環境

担 当：病原体等安全管理委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 天使学園病原体等安全管理委員会規程（規程）および天使大学病原体等安全管理マニュアル（マニュアル）に従い病原体を安全に管理する。 2. 病原体等の入手・分与を安全に実施する。 3. 文部科学省の病原性微生物の保管・管理の調査に対応する。
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 規程およびマニュアルに従い病原体を安全に管理した。 2. 病原体等の分与の実績は無かった。 3. 6月8日付の文部科学省の病原性微生物の保管・管理の徹底及び保有状況調査について調査報告書を提出し適切に対応した。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 引き続き病原体を安全に保管・管理する。 2. 病原体等の入手・分与の際に安全性を考慮し対応する。 3. 文部科学省の病原性微生物の保管・管理の調査に対応する
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 規定及び管理マニュアルに従い、安全に保管管理されている。 2. 今後も安全性に考慮し、引き続き対応していただきたい。

V. FD活動教育活動

担 当： FD委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>本学の教育理念ならびに教育目標に基づき、教員の自主的・自律的な教育改善を支援する活動をとおして、「教育の質保証」の向上を図る。</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. FD研修会の企画および運営</p> <p>第1回は、2016年度第1回FD研修会のアドバンス版として、学修に困難のある学生への対応を事例に基づくシミュレーション演習で学ぶ研修会「学生の能力を最大限引き出す支援－合理的配慮の視点から－Part 2」を2017年4月25日（火）に開催し、44名の教員が参加した。</p> <p>時間超過という反省点はあるが、昨年度の概論を踏まえて、シミュレーションにより具体的な対応を学べた点は評価できる。</p> <p>第2回は、東海大学文学部心理・社会学科の有沢孝治准教授を招聘し、「最近の大学生の姿と学生対応－グループワークにおける学生に受入れやすい指導－」と題して2018年1月31日（水）に開催し、49名の参加を得た。</p> <p>開始時間を早くしてほしいとの意見はあったが、内容については、今後の授業や学生の関わり方に活用できそうだという意見が多く、満足度の高い研修会が開催できた。</p> <p>2. 学生による授業評価アンケートの実施</p> <p>自由記載について、調査本来の目的に適った回答が得られるよう、アンケート用紙に「よかった点」「改善してほしい点」「その他、意見・要望」の欄を設けた。あわせて「結果集計表」に教員がコメントを記載する方法とフォーマットも変更し、科目責任者が回答が必要と判断した内容についてのみ、その回答とともに「自由記載に対するコメント欄」に記載するようにした。これに伴い、結果に対する学生からの質問・意見等をTurn a v iを利用して受け付けた。</p> <p>実施主体がFD委員会に移管され、新方式2年目となった本年は、昨年度に見出された課題の改善を図ることができ、おおむね順調に実施できた。</p> <p>3. 教員間の授業参観の試行</p> <p>2017年度後期開講科目を対象に授業参観を試行した。申し込みは栄養学科教員3名、助産研究科教員4名、非常勤講師1名からあり、栄養学科開講科目で6科目8件、助産研究科で4科目4件の合計12件を実施した。参観者の感想から、自身の担当科目とのつながりの確認や授業方略を学ぶという目的がおおむね達成されたことが窺えた。試行段階ではあるが、教育改善支援活動の新たな取り組みとして実施できたことは評価できる。</p> <p>4. 委員の研修会参加</p> <p>2017年度は、希望するテーマの研修会の開催が少なく、また、日程調整が困難だったことから参加を見送った。代替として、北大等近隣で開催される研修会の情報提供を、随時学内LAN掲示板を通じて行った。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 2017年度第2回FD研修会の内容に関連付け、グループワークの効果的な導入に関する研修会を行う。</p> <p>2. 教員間の授業参観の試行を2018年度前期まで期間延長し、後期に1年間の実施状況を分析・検討して2019年度からの本実施に向けた準備を整える。</p>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>1. 教育の質保証向上について、大学の理念、目的の実現に向けて一層の企画、運営をしてほしい。</p> <p>2. 授業評価については改善されつつ実施されており、効果的な継続を望む。</p> <p>3. 教員の学びの効果得られていることは評価できる。</p> <p>4. 学外の情報を得て、学内に還元することは有益である。</p>

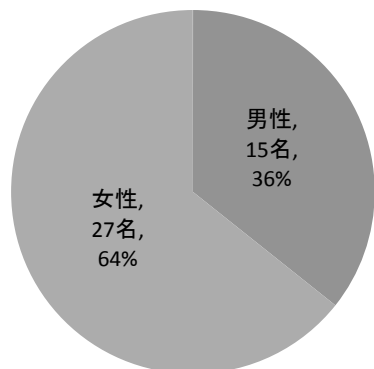
VI. 社会貢献

担 当： 地域連携等委員会

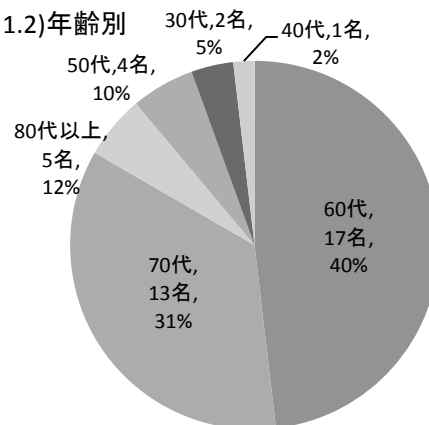
<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2017 年度天使大学・北海道薬科大学公開講座の実施及び 2018 年度公開講座の企画 2. 東区役所との連携事業及び 5 者（東区役所、本学、札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部、専門学校北海道体育大学校、札幌保健医療大学）連携事業の推進 3. 大学間（北海道薬科大学等）の連携事業等の展開 4. 地域・他大学との連携事業の実態把握
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2017 年度天使大学・北海道薬科大学公開講座の実施及び 2018 年度公開講座の企画 北海道薬科大学と連携した公開講座は今年度で 7 回目である。北海道薬科大学と連携することにより、医療、薬学、看護学、栄養学の分野から生活に役立つ情報をわかりやすく解説する講座を実施することが出来た。受講申込者は 2016 年度と比較すると 0.7% 減少したが、アンケート結果（別紙 1）より受講者からの評価は高く、地域住民への有意義な講座を実施することができた。今後も、地域住民にとって有益な企画を立案していく。 2. 東区役所との連携事業及び 5 者（東区役所、本学、札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部、専門学校北海道体育大学校、札幌保健医療大学）連携事業の推進 <ol style="list-style-type: none"> 1) 東区役所と連携し地域住民対象に 7 件の事業を行った。各事業とも本学教員と学生ボランティアが協力し、本学の人的資源が地域住民に還元されたことは評価できる。今後もこれらの事業に関して継続できるようサポートする。 2) 東区 5 者連携事業として、「ひがしく健康・スポーツまつり」で[天使大の健康塾]の企画・運営を行った。地域住民参加型の企画内容で、本学は学生ボランティア協力のもと、食事バランスチェック・血圧測定・血管年齢測定・骨密度測定を行った。説明が解りやすく参考になったと好評で、参加者は 2016 年度と比較すると倍の増加となった。今後も委員会として充実した企画・運営行っていく。 3. 大学間（北海道薬科大学等）の連携事業等の展開 大学間連携として、北海道薬科大学が主体で実施している「夕張地域医療体験」への学生参加者の募集・支援を行った。 4. 地域・他大学との連携事業の実態把握 本学と地域・他大学との連携事業の実態を把握し、次年度以降も継続する。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現在、連携協定を締結している北海道薬科大学が 2018 年 4 月 1 日に大学統合（北海道科学大学、北海道薬科大学）に際して連携協定の継続をし、公開講座で北海道科学大学と連携することの利点を生かし、企画、運営について検討する。 2. 5 者連携事業である「ひがしく健康・スポーツまつり」の「天使大の健康塾」について学生の参加を募り、充実した企画にする。 3. 北海道科学大学との連携事業では、「夕張地域医療体験」への学生参加者の支援、連携内容について北海道科学大学から提案されたことについて検討する。また、他大学との連携等についても検討する。 4. 本学教職員が地域・他大学と連携する事業等を把握し、地域社会へ貢献している現状を整理する。
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 東区役所、北海道薬科大学との連携を通じた活動が、地域住民の高評価を得、その活動にボランティアとして参加した学生の学びの拡大・深化も評価できる。地域連携活動の継続を期待する。 2. 「ひがしく健康・スポーツまつり」では参加者の増加により、天使大学および大学院への関心もあり、広報活動の効果もあるため、パンフレット等の準備も必要と考える。

1. 次の事項について、差し障りのない範囲でお答え願います。

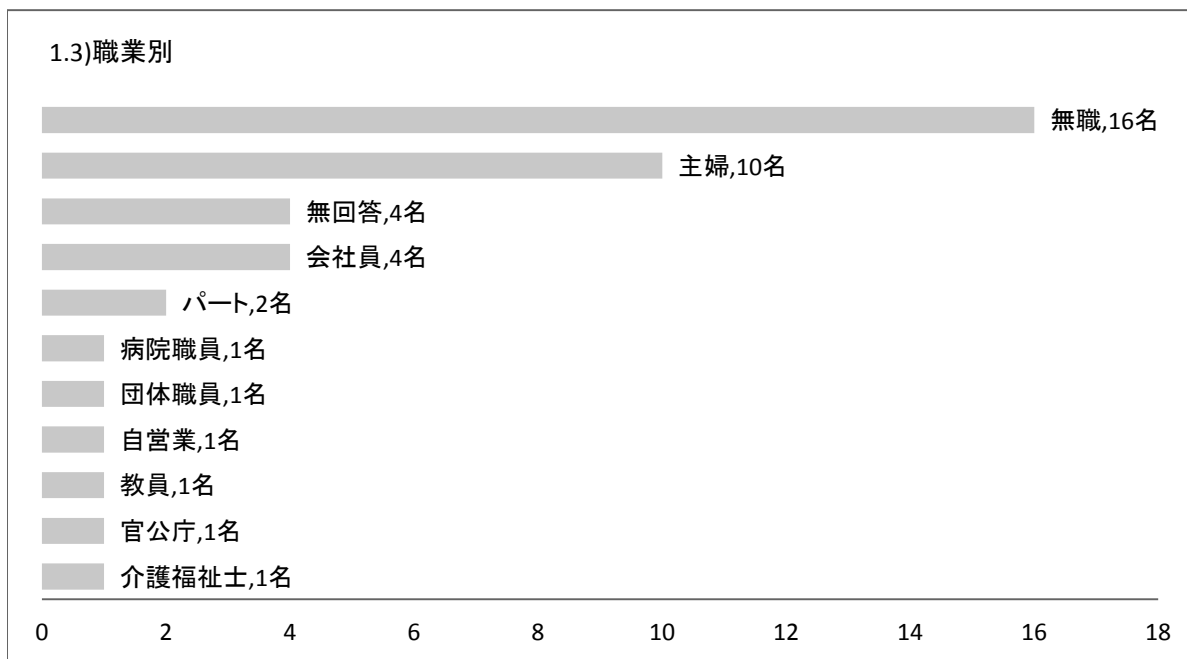
1.1)男女別



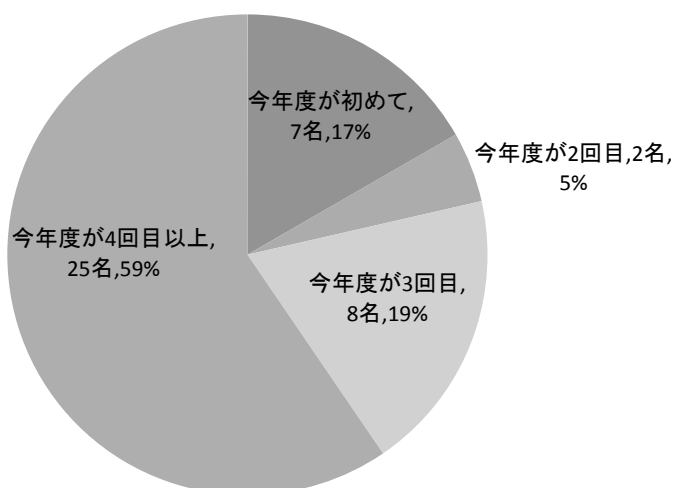
1.2)年齢別



1.3)職業別



2. これまでの参加回数



3. 何で知りましたか。(複数回答)

①	チラシ(北海道新聞折込み)	6人	12.5%
②	掲示ポスター	1人	2.1%
③	天使大学からの郵便物(ダイレクトメール)	31人	64.6%
④	新聞掲載	1人	2.1%
⑤	広報誌(道民カレッジ等)	7人	14.6%
⑥	ホームページ	1人	2.1%
⑦	その他	1人	2.1%
	無回答	0人	0.0%
合 計		48人	100.0%

※その他内訳…無記入

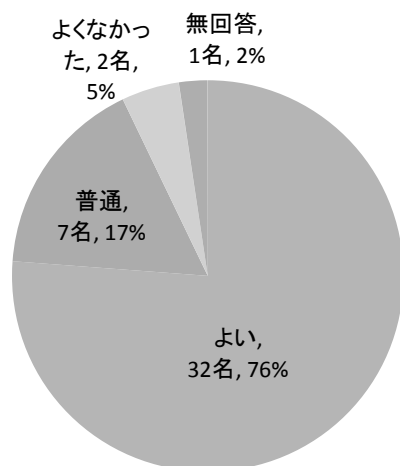
4. ご参加の動機をお聞かせください。(複数回答)

①	テーマに興味があったので	31人	35.2%
②	講師陣に魅力を感じて	0人	0.0%
③	2大学連携の公開講座だから	16人	18.2%
④	通しやすい会場だから	24人	27.3%
⑤	参加しやすい開講時間帯であるため	15人	17.0%
⑥	その他	2人	2.3%
	無回答	0人	0.0%
合 計		88人	100.0%

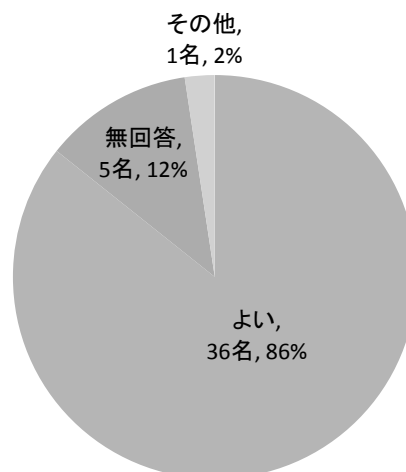
※その他内訳… 受講料が安い
道民カレッジとの連携

5. 今年度の公開講座について感想をお聞かせください。

5.1)全体テーマについて



5.2)回数について



※その他内訳… 10回が良い(1)

VI. 社会貢献

担当：ヘルスケア実践開発プロジェクト

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ライフステージ支援事業 2. 認知症サポーター養成事業 3. 東区地域診断
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ライフステージ支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 地域の高齢者や子育て世代の方へのサポートで下記の事業を実施した。 ・札幌市東区「すこやか倶楽部」(札幌市委託事業・東区介護予防センターなえば開催)への協力 「天使の健康教室」を 2018 年 3 月 8 日(木)むつみ会館：学生 24 名、3 月 9 日(金)鉄東会館：学生 22 名が参加して、栄養学科生による栄養のミニレクチャー、看護学生による血圧測定を行い、地域住民との交流を行う予定。 ・東区北光町内会の協力を得て、東区北光地区独居老人宅を訪問し、クリスマスケーキを届けた。(13 人のお宅を訪問) ・天使大学子育て支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 2018 年 3 月 10 日(土)に参加者：募集 10 組の親子を対象に、学生約 20 名による母親へのハンドマッサージとランチの提供、赤ちゃんの見守りを中心に活動する予定。 2. 認知症サポーター事業 <ul style="list-style-type: none"> ・2018 年 1 月 23 日学生を対象に養成講座を実施した。 受講生：栄養学科 12 名、看護学科 8 名。 3. 東区地区診断 <ul style="list-style-type: none"> ・2017 年度は東区より、要請がなかった。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ライフステージ支援事業は札幌市東区、東区北光町内会等との連携が構築されつつある。開催の日程などの課題(休み中の開催)があるが、札幌市東区や町内会との連携を深めて充実させていく予定である。 2. 認知症サポーター養成講座は栄養、看護学科にとって、学びの場としても活用されているため、今後も札幌市の協力を得て継続して実施していく。 3. 子育て支援は、授業と重複しない時期を予定しつつ継続する予定であるが、次年度は新たに学外で、学生の協力を得ながら実施できるよう検討している。
<p>評価委員会からの評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 活動内容の評価記載が見られないため、次年度に向けて効果および改善点等の検討をしてほしい。 2. 学生の参加者は多いようであるが、年間計画を早期に学生に周知して、活動参加のモチベーションの向上をはかることを期待する。

VII. 国際交流

担 当： 国際交流委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) これまで実施されてきた国際交流に関する事業について、国際交流委員会の役割について確認する。 2) 韓国カトリック大学校との連携協定に基づき、具体的な連携を検討する。 3) 学内の国際交流に関する情報を集約して発信する。
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今後の国際交流委員会を運営するにあたっての基本として、以下の点を確認した。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 学生の海外研修は引き続き、学生委員会に担当頂く。 2) 従来、各部署で行っている国際交流に関しては引き続きそれぞれの部署で所管し、国際交流委員会へは報告してもらう。 3) 各学科等で予定する国際交流については、具体的検討は各学科等で行い、国際交流委員会へ報告してもらう。また、報告用フォーマットの必要性について検討した。 4) 新たに実施を検討する事業については、国際交流委員会が窓口となり、内容に応じて関係部署に具体的な対応を依頼する。 5) 学生が主体的に行う PEC 等の活動についても、学生からの情報提供を依頼する。 2. 2018 年度の活動に向け、以下の点について検討した。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 第 8 回目・韓カトリック看護系大学連絡協議会への対応 2018 年度が札幌で開催されることに伴い本学への表敬訪問の依頼があり、窓口を国際交流委員会として引き受けることとし、出席者等の具体的な内容について検討した。 2) 東アジア及び東南アジアカトリック大学連盟 (ASEACCU) の加盟について 2018 年度の会議にオブザーバーとして参加し、活動の内容を視察して加盟を検討することとした。 3) 韓国カトリック大学校との交流に関する今後の進め方 2018 年 6 月に札幌で開催される「日・韓カトリック看護系大学連絡協議会」で来札するため、その機会に具体的検討の場を持つことについて調整することとした。 3. 第 1 回目の開催が 11 月であったこともあり、本委員会が所管する学内の国際交流事業の確認、今後の国際交流についてのあり方や連携可能な各種団体等の確認は行ったが、具体的な内容の決定は、一部次年度に持ち越すこととなった。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. カトリック大学連盟ほか関連団体を通じての国際交流について検討する。 2. 韓国カトリック大学校との連携について、具体的な内容の検討を開始する。 3. 学内で実施されている個々の国際交流に関する情報を集約し、学内外へ発信する。
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会が組織されて 2 年目であり、カトリック大学として韓国、東アジア、東南アジアとの組織に加盟し、会議に参加していくことは、学生にとっても有益である。 2. PEC 活動の活動も学生たちが写真で報告していることは評価できる。 3. 今後は学生がさらに前面に出るような工夫を行い、本学の PR つなげてほしい。 4. 国際交流の掲示板を学生が見やすい場所に設置し、学内 PR も行っていただきたい。

VIII. 学生生活

担当： 学生委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「学生生活ガイドブック」、「本学 Web サイト 在学生ページ、卒業生ページ」の改善 2. 学生のボランティア活動、部・サークル活動のサポート体制の充実 3. よりよい学生支援のための学内の情報共有体制の構築 4. 「2017 年度 学生生活についての調査」の調査項目の精査 5. 国際交流委員会と学生委員会との業務分掌の確認 6. 全学的な「危機管理体制」構築の要望 7. 広報委員会と連携した、学生募集活動のサポート 8. 学生等へのサポート体制の充実
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2018 年度に web 製作委託業者が変更することを受け、「本学 Web サイト 在学生ページ、卒業生ページ」の改善を先送りとした。次年度引き続き、「学生生活ガイドブックの改善」と連動するかたちで、「学生・卒業生等のユーザビリティ、リーダービリティの向上」という観点から、本学 web サイトの「在学生の皆様」、「卒業生の皆様」ページの抜本的見直しを図る。 2. 同窓会、後援会と連携を取りながら、「天使大学後援会におけるクラブ活動およびボランティア活動への助成費の取扱い」、「天使大学同窓会におけるクラブ活動・学外研究発表等、およびボランティア活動への助成費の取扱い」についてまとめた。変更の趣旨は、助成額に上限を設け、学生に広く浅く助成が行き渡るようにしたこと、東日本大震災復興ボランティアをはじめとする「道外で行うボランティア活動」も助成の対象としたことなどである。 3. 保健相談室、学生相談室、学務課学生担当の情報共有の会合を、今年度より月 1 回のペースで開催した。よりよい学生支援のための学内の情報共有体制の構築は、今後の課題として残っている。 4. 「2017 年度 学生生活についての調査」の調査項目の精査を行った。経年変化を確認したいので、今までの質問項目はできる限り変更しないこととしながら、明らかにおかしい質問、意図がわからない質問は修正・削除した。また、SNS の使用状況など、学生の生活実態を把握する上で、現在の時流に沿った調査項目を追加した。 5. 学生の「海外研修」は学生委員会、それ以外の「海外大学との協定等」は国際交流委員会、との業務分掌が明確化された。 6. 今年度も動きがなかったので、引き続き学長に対し要望を続ける。 7. 年度を通じて情報・写真の提供を広報委員会と相互に行い、十分に連携できたと考える。 8. 今年度より、合唱コンクールの模様を学生の保護者限定でライブ中継した。視聴者数はのべ人数で「449 名」おり、閲覧のニーズは十分にあったので次年度もぜひ継続したい。海外研修の渡航先は、学生の意見をふまえて「カナダ バンクーバー」に決定し、33 名の学生が参加した。「葦の会役員と学生委員会の交流会」では、より活発な意見交換を求めて「グループ・ディスカッション」を導入し、学生からの評価は非常に良かった。2017 年度は、本学学生が不審者と遭遇する事案が散見され、T-NAVI・掲示等で注意喚起を積極的に行った。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「学生生活ガイドブック」、「本学 Web サイト 在学生ページ、卒業生ページ」の改善 2. 「2017 年度 学生生活についての調査」結果の分析、改善への働きかけ 3. 1 期工事開始にともなう学生生活のサポート 4. よりよい学生支援のための学内の情報共有体制の構築 5. 全学的な「危機管理体制」構築の要望 6. 学生等へのサポート体制の充実
<p>評価委員会からの評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「学生生活についての調査」は学生の意見を把握する貴重な機会のため、その結果を分析し、支援策の充実につなげるとともに、学生が事故や事件に巻き込まれないよう日常生活上の注意喚起にも引き続き努めていただきたい。 2. 今後、キャンパス整備事業の実施に伴い、各種の学校行事や施設利用に影響が生じるため、学生等への適切な情報提供にも配慮してほしい。

VIII. 学生生活

担 当： 宗務委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. キリスト教的精神に基づく人間の育成を図る。 2. カトリックの精神に基づく宗教的行事を企画運営する。 3. カトリックの精神に基づく宗教的環境を整備する。 4. カトリックの精神に基づく研修会へ参加する。 5. カトリックセンターとの連携を図る。 6. アッセンブリー・アワーの日程を調整する。 7. カトリック教会の生命倫理について支援する。
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. キリスト教的精神に基づく人間の育成を図る。 ・天使大学の理念である「愛を通して真理へ」を実践するために励んだ。 2. カトリックの精神に基づく宗教的行事を企画運営する。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 学生および教職員を対象とする宗教的行事を宗務委員が行った。 ①イースターの集い、 ②クリスマスの集い、 ③修了・卒業感謝のミサ ④毎週のミサ、 ⑤その他の宗教行事（クリスマスツリー点灯式、灰の儀式） 2) 学生を対象とする宗教的行事を下記の担当者が行った。 ①チャペルアワー：聖書の解説でT-NAVI 使用した (担当者：ケン、シスター和田、小原) ②学生親睦ゼミ・修養会における支援：ケンが「講話」「祈り」「ミサ」を行った。 ③アッセンブリー・アワーにおける宗務関連の講話：ケンが行った。 マリア様（1年生）、マザー・テレサ（2年生）、聖フランシスコ（3年生）、 天使（4年生）について話をし、DVD鑑賞してもらった。 3) 教職員を対象とする下記の宗教的行事を宗務委員が行った。 ①70周年の記念講演会 ②退職される教職員への感謝のミサ 4) 上記の宗教的行事を行うにあたり、学務課渡邊（第2回委員会（5/18）まで担当） 学務課西村（第3回委員会（8/1）から担当）が掲示板やT-NAVIなどを用いて行事の 目的や内容などを周知し、学生や教職員の参加を促した。 3. カトリック精神に基づく宗教的環境を整備する。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 学内およびチャペル等の環境整備を行った。 ①聖堂の環境整備：毎週月曜日に生花を聖堂に飾った（四旬節中は除く）。 ②クリスマスの環境整備：聖堂にツリー、屋外のモミの木にイルミネーション、廊下 に馬小屋を飾った。クリスマスキャロルの放送を行った。 2) 宗教的行事のための物品調達（ホスチア）を行った。 4. カトリックの精神に基づく研究会へ参加する。 研究会への参加は多忙のため控えた。 5. カトリックセンターとの連携を図る。 12月8日に天使学園の70周年のお祝いを行った。 6. アッセンブリー・アワーの日程を調整する。 学務課渡邊、西村が学習支援教員と各委員会等の意向を伺って日程を調整した。 7. 「2017年 第33回日本カトリック医療関連学生セミナーin 東京」のカトリック教会の 生命倫理について支援する。 天使大学学部から看護学科4年次生4人が参加した。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「2018年度カトリック医療関連学生セミナー」へ学生の参加を促す。 2. アッセンブリー・アワーの在り方をカトリックセンターと連携して改善する。 3. 体育館で行う行事の場合、学務課と事前に相談して設営時間の確保に努める。 4. 新9号館建設に関して、宗教的行事の開催場所を調整する。
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 宗務委員会が所掌する各種行事は、カトリック大学として学生及び教職員へ建学の精 神の理解を促す重要な機会となっていると評価できる。 2. 新校舎の建設に伴い、宗務委員会行事の実施場所の確保につとめていただきたい。

VIII. 学生生活

担 当：キャンパス・ハラスメント対策委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>キャンパスにおける人権意識を成熟させ、大学生生活環境を快適なものとするため、ハラスメント問題について啓発・点検・支援・問題解決を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新入学生を対象としたハラスメントに対する理解を深めるための講演会を開催する。 2. 新入生ガイダンス時にガイドライン配付と説明を行う。 3. 教職員を対象とした研修会を実施する。 4. 防止のためのポスター作成等により全学的に啓発活動を行う。
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. キャンパス・ハラスメントに関する講演会を開催した。 日時：6月13日 13:30～14:30 タイトル：「キャンパス・ハラスメントを考える」 講師：木村晶子氏（藤女子大学 教授） 対象：新入生、教職員 参加状況：看護学科 86 名、栄養学科 31 名 キャンパス・ハラスメントについて理解を深めることが出来た。次年度も継続的に開催し、さらなる理解を深める。 2. 新入生へのガイダンス及びガイドラインの配付はキャンパス・ハラスメントに関する講演会の中で実施した。 3. 教職員を対象とした研修会の案内がなかったため、実施できなかった。 4. 啓発活動のためにポスターを前年度に引き続き、学内に掲示した。 <p>10月24日に、新規で講演会を開催した。 日時：10月24日 13:30～14:30 タイトル：「気がつかないうちに言葉で傷つけていませんか？」 講師：森 さやか（HTB アナウンサー） 対象：看護・栄養学科4年および栄養学科3年 参加状況：看護学科 34 名、栄養学科 17 名、教職員その他 32 名 今年度に新規開催したため参加率が低かったが、非常に好評だったため、今後も継続することとした。</p>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新入生へのキャンパス・ハラスメントに関する正しい知識や認識を深めるため、講演会などの全員参加に向けて働きかけを行う。 2. 実習前に「気がつかないうちに言葉で傷つけていませんか」の講演を受講でなかった看護学科4年生、及び看護・栄養両学科の新3年生を対象に、次年度も講演会を企画する。 3. 委員の学外研修会参加など、学生からの相談や学内で発生しているハラスメントに、よりの確に対応するスキルを学ぶ機会が必要である。
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 講演会が好評であったことは開催の意義があったと評価できる。 2. 参加学生の増加のために、学科や支援教員との連携や、講師の人選なども検討していただきたい。

IX. 就職支援

担 当： 就職委員会

本年度の活動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 就職ガイダンス・セミナーの企画・実施 2. 就職活動に関する支援活動 3. 教職課程(栄養教諭)履修者への就職支援 4. 就職相談室の環境整備 5. 就職状況調査(離職調査)の実施、分析・評価 6. 就職に関する情報交換及び最新情報収集 7. 既卒者、卒業・修了生に対する就職支援
活動内容の評価	<ol style="list-style-type: none"> 1. 就職ガイダンス・セミナーの企画・実施 <ol style="list-style-type: none"> 1) 就職ガイダンス・セミナーの企画・実施 各学科学年の就職活動時期に合わせガイダンス・セミナーを企画し実施した。 毎回のセミナー時に企業・病院等の採用状況、本学・他大学の就職状況、今後のセミナー等について周知し、また、T-NAVI を活用し様々な情報を配信した結果、受講態度に変化が見られ就職活動に対する意識が高まった。 2) 学内採用説明会の企画・開催 栄養学科3・4年次生対象に採用説明会を14回(29社)開催した。(前年度7回15社) 2. 就職活動に関する支援活動 <ol style="list-style-type: none"> 1) 就職相談員による個人面談・面接演習・履歴書添削等、就職活動全般の支援 就職活動最終段階まで様々な支援を行い内定につなげた。 公務員管理栄養士職は、札幌市に2名(募集枠4名)、北海道に1名(募集枠2名)、北海道食品衛生監視員に1名(募集枠1名)、中富良野町に1名合格した。試験前日まで何回も面接練習を行い合格につなげた。 内定率(卒業式時点):看護学科100%(前年度100%)、栄養学科93.1%(前年度92.1%) 2) 札幌新卒応援ハローワークによる模擬面接演習 ハローワークに模擬面接演習の依頼をし、学内で実施した(1人30分)。外部の方々との協力も得ることにより、面接練習の機会が増え、多くの学生を内定につなげた。 3. 教職課程(栄養教諭)履修者への就職支援 教職課程委員会と連携し支援を行った。教職課程担当教員、教職課程委員会等が出題傾向等の分析を行い、試験対策等のガイダンスを実施した。 北海道教育委員会選考検査「栄養教諭」の採用登録者は、4名(9名受験中)であった。 なお、全採用登録者17名中、本学の登録者は、5名(過年度生1名含む)であった。 4. 就職相談室の環境整備 <ol style="list-style-type: none"> 1) 相談・資料閲覧しやすい環境の整備 使用頻度の少なかった事務機器等を廃棄し、就職相談室の広さを確保し、学生が相談しやすい環境に整えた。 就職相談室の設置場所の変更を2015年度から引き続き継続して要望した。 5. 就職状況調査(離職調査)の実施、分析・評価 <ol style="list-style-type: none"> 1) 調査の実施、分析・評価 2016年度卒業・修了生215名(看護95名、栄養97名、助産23名、看栄研5名)を対象に就職状況調査(2017年12月～2018年1月末)を実施した。全体回答率は、37.4%(前年度41.0%)であった。今後、調査の結果を分析し、今後の就職支援に役立てる。 6. 就職に関する情報交換及び最新情報収集 様々な研修会等で他大学と情報交換を行った。また、就職情報会社等から採用状況等の情報収集を行い、ガイダンス等で就職活動に関する最新情報の提供を行った。 7. 既卒者、卒業・修了生に対する就職支援 既卒者、卒業・修了生に対し、求人情報の提供等の就職支援を行った。
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 就職ガイダンス・セミナーの内容を充実させ、タイムリーな時期に実施することで、就職活動に対する意識を高める。 2. 学生が第一志望の企業・病院・事業所等に内定するよう就職支援を強化する。 3. 就職相談室の設置場所の変更を継続要望し、プライバシーを確保し安心して相談できる環境を整備する。 4. 就職状況調査(離職調査)の回答率を上げるために在学中のガイダンス等で卒業後、「就職状況調査」を実施することを周知する。
自己点検 評価委員会 からの評価	<ol style="list-style-type: none"> 1. 就職支援の各種施策が結果につながるため、引き続き支援充実への取り組みを期待する。 2. 就職状況調査の分析結果等を活用し、今後の学生への支援策に活かしていただきたい。

X. 図書館

担 当： 図書情報委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 機関リポジトリの運用：収録コンテンツの整備計画策定と実施 2. アクティブ・ラーニングを支援する文献検索ガイダンスの実施 3. 図書館ホームページの維持管理と Facebook 機能の活用 4. 洋雑誌の利用頻度調査結果に基づく見直しと電子ジャーナルへの切り替え 5. 登録図書の計画的除籍及び廃棄(譲渡)と移管図書の再活用 6. 将来構想等への新棟建築素案の提示(情報処理室を含む) 7. 防災対策と必要備品等の準備(情報処理室を含む)
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 機関リポジトリの運用に関しては、天使大学紀要と震災プロジェクトの発刊物掲載にとどまっている。学内の合意を得つつ、整備を進める。 2. 学生の自発的学習を支援するため、一昨年より開始した1年次からの文献検索ガイダンス等が軌道に乗り、1～4年次まで1年を通して実施することができた。データベースの活用が進み、学生の自発的学習の素地が徐々に形成されている。 3. 図書館ホームページのリニューアルについては、入試・広報室に追随する形で進めることになり、予算は2018年度に繰り越された。2018年度の実施にむけ、準備を開始することとした。 4. 図書情報委員会において、各学科・科・研究科の協力により、毎年利用頻度に基づく見直しが行われ、精選されてきた。洋雑誌の価格高騰が続いているため、オープン・アクセスの潮流が絶えないよう、協力体制に加わってゆきたい。 5. 退職教員の研究費購入図書については、同一領域の若手教員研究室へ移管して活用して頂くこととした。また、過年度登録研究費図書について、新棟建設の機会に除籍することが望ましいため、2017年から順次除籍・廃棄等を行っていくこととした。ようやく資産構成の見直しが実現する。 6. キャンパス整備委員会などからの要請に応じて、必要情報の提供を随時行った。 7. 危機管理マニュアルの作成にあたって、全学的な体制づくりが必要と思われる。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新棟建設が始まるため、新図書館に必要な情報提供を中心に、協力体制を築く。 2. 新棟建設だけでなく、現在の利用者にもより良い利用環境が提供できるよう、利用状況を把握し、改善策を講じていく。 3. 図書館ホームページのリニューアルを行う。 4. 自発的学習を支援するためのガイダンスを適宜行っていく。 5. 過年度登録研究費図書等の除籍・廃棄を実施し、資産管理を徹底する。
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文献ガイダンス等によりデータベースの活用が進み学生の自発的学習の素地が形成されていることは評価できる。 2. 機関リポジトリの運用やホームページの活用など情報発信については、利用者のニーズに応じた整備が望まれる。 3. 書籍・廃棄等については、適切な処理により有効活用できると良いのではないかと考える。

XI. 情報処理システム

担 当： 図書情報委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. サーバシステム、学内 LAN、無線 LAN 環境、図書館貸出パソコンの整備・維持管理 2. 学生の情報処理室、無線 LAN 環境利用促進 3. 学内 LAN 掲示板の更新と利用促進 4. 遠隔地実習や講義、講習会等の実施を支援する Live On システムの活用 5. 情報セキュリティに関する情報収集と対策の継続 6. サーバシステム、ネットワークシステムのリプレースに向けた要件検討
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総務課併任専任職員 1 名の協力を得つつ、専任 1 名、前期は嘱託 1 名、後期派遣 1 名の体制で、常時 2 名体制が維持された。学内 LAN 環境については学内ネットワークの遅延が多発したため、ベンダーと連携して不具合を解消した。今後もベンダーと連携して課題解決を図る。 2. 授業支援システムは支障なく活用された。また、情報処理室の土日開室を継続し、今年度からさらに試験期間も開室して学生の自習時間確保に努めた。無線 LAN 環境についてはキャンパス整備委員会にて実施された学生アンケートより SNS を利用可能にして欲しい、接続方法を簡略化して欲しいといった声が多く聞かれ、今後の検討課題とした。 3. 学内 LAN 掲示板の更新については教職員に意見を求め、集まった要望を基に事務局各課室からメンバーの参加を依頼し、検討チームを結成して更新案の検討を行った。今年度後期に更新ページを公開することができ、教職員へ向けた説明会も複数回行った。今後も教職員の意見を参考にしながらブラッシュアップし、利用促進を図ることに務めたい。 4. Live On システムについては、助産研究科の教授会や遠隔地の委員を加えた会議など、付随的な課題にも活用された。講義では Live On を使って、演習の状況を情報処理室に中継し、それを見た学生が演習内容を評価する授業(カウンセリング演習)などが行われた。 5. 後述の他大学情報処理施設見学の際に、情報セキュリティ対策について情報収集を行った。他大学においても情報セキュリティ対策の環境整備はあまり進んでおらず、大きな課題と思われる。継続して情報収集を行い、情報セキュリティ対策を強化する必要がある。 6. 2018 年度サーバやネットワークシステムのリプレースに向けて、他大学の情報処理施設を見学し、情報収集を行なった。これを踏まえ、更新に向けた準備を進めている。2018 年度はリプレースと情報処理施設の確保について、適時・適切に対応していきたい。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. サーバシステム、学内 LAN、無線 LAN 環境、図書館貸出パソコンの整備・維持管理 2. 学生の情報処理室、無線 LAN 環境利用促進 3. 学内 LAN 掲示板のブラッシュアップ 4. 遠隔地実習、大学院講義、講習会等の実施を支援する Live On システムの活用 5. 情報セキュリティに関する情報収集と対策の強化 6. サーバシステム、ネットワークシステムリプレース完了後のシステム安定稼働 7. 新棟建設に係る情報提供や課題検討
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業支援システム、学内 LAN 掲示板等の改善、情報処理室の開室時間の拡大など利用しやすい環境に向けての取り組みが行われていることは評価できる。 2. 今後も学生や教職員の声を聴きながらの改善が望まれる。 3. 情報セキュリティ対策の強化は、学生への教育は、引き続いての課題である。

XII. 施設・設備

担 当：財務室

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 将来構想の検討に伴う校舎整備計画の立案</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 今年度は理事会で承認されている天使学園の「将来構想の策定に当たっての基本的な考え方」に基づき、将来構想について検討を進めた結果、施設設備の整備については、プロポーザル方式により、キャンパスマスタープランの策定及び新棟建設・既存建物の改修を請け負う業者の選定を終えた。</p> <p>現在は請負業者となった清水建設株式会社と株式会社山下ピー・エム・コンサルタントとキャンパスマスタープランを今年度中の完成を目指し策定中である。</p> <p>キャンパスマスタープランでは今後 30 年の施設計画を策定する予定であり、同時に第 1 期工事、第 2 期工事として新棟建設工事と既存棟改修工事の整備計画の検討を進めている。</p> <p>第 1 期工事の新棟建設は 2019 年度の竣工、第 2 期工事の改修工事は 2020 年度の竣工を目指している。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 次年度は第 1 期工事の基本設計、実施設計、契約、着工までを滞りなく進めていく。</p> <p>2. 第 1 期工事は校舎敷地内で授業を行いながらの工事となるため、事故なく工事が進むように安全管理に努める。</p>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>1. 本年度の活動目標に対して評価されている。</p> <p>2. 本年度評価の不十分な項目を、次年度への課題として取り組んでいただきたい。</p>

XIII. 管理運営

担 当：事務局長

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 学長のリーダーシップが発揮できる支援体制を整える。</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 学長のリーダーシップが発揮できる支援体制を整える。</p> <p>社会構造が大きく変化する中で、大学が果たすべき役割も変化しており、天使大学の将来の教育体制のあり方に係わる重要事項について、部会を設置し、学長のリーダーシップの下で検討を重ねてきた。</p> <p>これらの事項について、将来構想委員会をはじめ教育研究評議会、教授会及び研究科委員会との円滑な連携に努めながら、引き続き学長のリーダーシップが発揮できるような環境整備に努めていく。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 学長のリーダーシップが発揮できる支援体制を整える。</p>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>学長のリーダーシップが発揮できる支援体制の構築を期待する。</p>

XIV. 財務

担 当： 財務室

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中期財務計画の立案 2. 学園創立 70 周年・大学開学 20 周年記念募金活動の推進
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今年度は理事会で承認されている天使学園の「将来構想の策定に当たっての基本的な考え方」に基づき、将来構想について検討を進めた結果、天使学園中期財務計画案について、理事と意見交換しながら検討している。 財務計画の立案にあたっては、将来構想計画の一環である新棟建設工事などの時期・費用により、外部資金の調達や入学定員、教職員数などの変数を決定していく必要があるため、2018 年度の早い時期の策定を目指していく。 2. 学園創立 70 周年・大学開学 20 周年記念募金活動では新棟建設費用や奨学金事業、教育研究環境の改善に役立てていくため、同窓生や教職員、取引企業、実習先などに募金趣意書を送り、募金のお願いをしている。 また、今回の募金から天使大学のホームページ経由で、クレジットカードでの支払いや、コンビニエンスストアでの支払いが可能となるように支払方法を変更した。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中期財務計画が決定した後もローリングしながら、見直しをしていく。 2. 募金活動は大学開学 20 周年の 2020 年度まで続けていくので、引き続き在学生の保護者も含めて推進していく。
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 財務計画や募金活動など、使用目的などを、学生を含めて誰でも理解できるように進めていただきたい。

XV. 事務組織

担 当：事務局長

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程の整備と適切な運用についての取り組み：各種規程の改正（継続課題） 2. 事務機能の改善及び業務内容多様化に対応するためのシステム活用
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程の整備と適切な運用については、昨年度来迅速な対応を心がけ、適宜改正を行い、学内周知を行ってきた。 2. 事務機能の改善及び業務内容多様化に対応するためのシステム活用については、昨年度学園全体の IT 化推進策として学生支援ポータルサイト(T-NAVI) や出欠管理システム、新会計システム（キャンパスプラン）の導入を実現したが、導入直後は利用上不具合が発生し、関係部署で協力しその改善に努力した。今年度はトラブルも少なく、活用された。また、T-NAVI の導入により、学生への連絡事項は紙による掲示から WEB 連絡に移行し、ペーパーレス化や履修登録については学生による WEB 入力が可能となり、事務作業の負担軽減にもつながっている。一方 Live On は遠隔地の実習・講義や会議に活用され、学生及び教職員に必要な不可欠なサービスとなっている。 キャンパスプランについては、各課・室からの入力により本格稼働を目指していたが、帳票類の調整が必要になり、財務室内での運用を当面続けることになった。2018 年度はサーバー等の更新が予定されているため、事務局内で連携して、より迅速で安定的な稼働を目指す。 学内 LAN 掲示板については、各課・室の協力により行事予定、学内諸規程、教授会・委員会報告、補助金に関する案内などの項目を整備して改善を図り、活用されている。 3. その他 点検・評価項目「法人及び大学の運営に関する業務、教育研究活動の支援、その他大学運営に必要な事務組織を設けているか。また、その事務組織は適切に機能しているか。」については、三課二室体制で対応し、職員研修会や私大協の研修会、各業務研究会への参加、他大学の視察などを行って、自発的にスキルアップや積極的な課題解決ができるよう対応している。 2018 年度からキャンパス整備の一環として新棟建設が始まるため、さらに各課・室が協力・連携して対処していかなければならない。特に建設時には、使用できなくなる場所が発生するため、既存の場所をより効果的に活用できるよう、教職員が協力体制を取る必要がある。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. システムのより安全で安定的な環境を構築するため、サーバー・システム等の更新や事務局導入システムの円滑な運用を目指す。 2. キャンパス整備事業に事務局として迅速で的確な対応を図る。 3. 事務局としても中・長期計画に基づく具体的対応策を検討する。
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員の事務作業の軽減に向けて、会計システムの導入を早急に進めていただきたい。 2. 新棟建築時における教職員の協力体制づくりを早急に進めていただきたい。

Ⅷ. 自己点検・評価活動

担 当： 自己点検評価委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 年報の発行 2. 活動報告会の実施による課題及び次年度への改善点の明確化と学内 PDCA サイクル確立の検討 3. 2018 年度審査に向けた準備の検討 4. 研究業績システム導入及び運用
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護栄養学部・看護栄養学研究科及び助産研究科の年報は、予定通り 6 月末に発刊した。 2. 活動報告会を 2017 年 3 月 18 日に開催した。学内の課題の共有、連携を目指すための報告会は今年度で 5 年を経過し定例化されつつある。しかし、課題の共有を図り全学的 PDCA サイクルによる自己点検評価活動は、未だ十分な活動に至っていないのが現状である。時間的な制約もあるが、多くの教職員が参加し意見交換ができる場となるように工夫が必要と思われる。 3. 2018 年度に大学基準協会から審査を受ける。この準備として、学内の各部署に対して、点検資料の作成を依頼した。 4. 研究業績システムを導入したことで、入力及び公開がスムーズになった。しかし、大学基準協会の研究業績様式に合わせているため、今後入力項目を増やして充実させる必要がある。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 内部質保証の充実を目指した大学の自己点検活動の展開 2. 自己点検評価の構築 3. 年報の作成および報告会の実施 (PDCA サイクルとなるものを目指す) 4. 2018 年度審査に向けた準備 5. 研究業績システムの運用と充実
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 時間的余裕をもった各部署の点検評価ができるように、自己点検評価委員会の開催時期、自己点検範囲の確認等についての検討が必要と思われる。

自己点検・評価資料

目 次

I. 学事歴	35
II. 2017年度開講科目一覧	38
1. 教養教育科	38
2. 看護学科	39
3. 栄養学科	41
4. 教職課程	43
5. 大学院看護栄養学研究科 栄養管理学専攻（博士前期課程）	44
6. 大学院看護栄養学研究科 栄養管理学専攻（博士後期課程）	44
7. 大学院看護栄養学研究科 看護学専攻（修士課程）	45
III. 学生数・奨学金の採用状況	46
IV. 国家試験合格率	47
V. 就職・進学状況	48
VI. 2018年度入学試験結果	50
VII. 教員組織	51
VIII. 事務組織	52
IX. 研究等の活動	53
X. 組織図	54
XI. 会議の開催状況	55
XII. 委員会構成一覧	62
XIII. 委員会の活動報告	64
XIV. 図書館の利用状況	82
XV. 情報処理室の利用状況	83
XVI. 施設・設備の状況	84
XVII. 財務状況	86

I. 学事歴 (看護栄養学部)

【看護学科】

暦		1年次	2年次	3年次	4年次	全学行事等						
日	月	火	水	木	金	土						
26	27	28	29	30	31	1	4/4 入学式 4/5 オリエンテーション 4/6・7 出会いと親睦ゼミ				4/4 入学式 4/5 定期健康診断	
2	3	4	5	6	7	8	4/10 授業開始(前期) 4/10～14 履修登録期間	4/5 ガイダンス 4/6 授業開始(前期) 4/6～12 履修登録期間	4/5 ガイダンス 4/6 授業開始(前期) 4/6～12 履修登録期間	4/5 ガイダンス 4/6 授業開始(前期) 4/6～12 履修登録期間	4/18PM イースターの集い	
9	10	11	12	13	14	15						
16	17	18	19	20	21	22						
23	24	25	26	27	28	29						
30	1	2	3	4	5	6	6/3・17・24土曜開講予定	6/3・17・24土曜開講予定	6/3・17・24土曜開講予定	6/3・17・24土曜開講予定	5/8～7/28 成人看護学臨地実習Ⅱ 精神看護学臨地実習 在宅看護学臨地実習 母子看護学臨地実習Ⅱ	5/16PM 合唱コン 5/23 避難訓練
7	8	9	10	11	12	13						
14	15	16	17	18	19	20						
21	22	23	24	25	26	27	7/1・8・15土曜開講予定	7/1・8・15土曜開講予定	7/1・8・15土曜開講予定	7/14～21 定期試験	7/14～21 定期試験	6/8PM 天使祭準備 6/9・10 天使祭
28	29	30	31	1	2	3						
4	5	6	7	8	9	10						
11	12	13	14	15	16	17	7/24～28 定期試験	7/22～9/18 夏季休業	7/22～8/27 夏季休業	7/29～9/10 夏季休業	7/29～9/10 夏季休業	7/31看護学科オープンキャンパス 8/4栄養学科オープンキャンパス
18	19	20	21	22	23	24						
25	26	27	28	29	30	1						
2	3	4	5	6	7	8						
9	10	11	12	13	14	15	7/29～9/10 夏季休業	8/1～3 追再試験	8/1～3 追再試験	8/1～3 追再試験	8/23～24追再試験	9/23 大学院推薦入学試験 9/29 前期卒業・学位記授与式
16	17	18	19	20	21	22						
23	24	25	26	27	28	29						
30	31	1	2	3	4	5						
6	7	8	9	10	11	12	8/23～25追再試験	8/28～9/8 基礎看護学臨地実習Ⅱ	8/28～10/27 成人看護学臨地実習Ⅰ 老年看護学臨地実習Ⅱ 母子看護学臨地実習Ⅰ	9/11 授業開始(後期) 9/11～15 履修登録変更期間	9/11 授業開始(後期) 9/11～15 履修登録変更期間	10/13PM ステップアップセレモニー 10/21 大学院入学試験(前期)
13	14	15	16	17	18	19						
20	21	22	23	24	25	26						
27	28	29	30	31	1	2						
3	4	5	6	7	8	9	9/11 授業開始(後期) 9/11～15 履修登録変更期間	9/19 授業開始(後期) 9/19～25 履修登録変更期間	9/19 授業開始(後期) 9/19～25 履修登録変更期間	9/11 授業開始(後期) 9/11～15 履修登録変更期間	基礎看護学臨地実習Ⅰ AM 10/5・6・12・13 1日 10/24・25・31・11/1	9/23 大学院推薦入学試験 9/29 前期卒業・学位記授与式
10	11	12	13	14	15	16						
17	18	19	20	21	22	23						
24	25	26	27	28	29	30						
1	2	3	4	5	6	7	11/18・25 土曜開講予定	11/7～8修養会 11/13～17 老年看護学臨地実習Ⅰ	11/18・25 土曜開講予定	11/18・25 土曜開講予定	10/30 授業開始(後期) 10/30～11/6 履修登録変更期間	10/30～11/10 統合看護学臨地実習
8	9	10	11	12	13	14						
15	16	17	18	19	20	21						
22	23	24	25	26	27	28						
29	30	31	1	2	3	4	11/18・25 土曜開講予定	11/18・25 土曜開講予定	11/18・25 土曜開講予定	11/18・25 土曜開講予定	11/11 学部入学試験	
5	6	7	8	9	10	11						
12	13	14	15	16	17	18						
19	20	21	22	23	24	25						
26	27	28	29	30	1	2	12/2・16 土曜開講予定	12/2・16 土曜開講予定	12/2・16 土曜開講予定	12/2・16 土曜開講予定	11/22PM 戴帽式 11/28 体育祭 12/8 創立記念日 創立70周年記念事業	
3	4	5	6	7	8	9						
10	11	12	13	14	15	16						
17	18	19	20	21	22	23						
24	25	26	27	28	29	30	12/25～1/8 冬季休業	12/25～1/8 冬季休業	12/25～1/8 冬季休業	12/25～1/8 冬季休業	12/19PM クリスマスの集い 12/25 キリスト降誕祭	
31	1	2	3	4	5	6						
7	8	9	10	11	12	13						
14	15	16	17	18	19	20						
21	22	23	24	25	26	27	1/29～2/2 定期試験	1/29～2/2 定期試験	1/29～2/2 定期試験	1/29～3/31 春季休業 1/31～2/2 追再試験	1/20 大学院入学試験(後期)	
28	29	30	31	1	2	3						
4	5	6	7	8	9	10						
11	12	13	14	15	16	17						
18	19	20	21	22	23	24	2/3～3/31 春季休業	2/3～3/31 春季休業	2/3～3/31 春季休業	2/21～23追再試験	2/6・7 学部入学試験 2/13 学部入学試験 2/20 学部入学試験	
25	26	27	28	1	2	3						
4	5	6	7	8	9	10						
11	12	13	14	15	16	17						
18	19	20	21	22	23	24	2/21～23追再試験	2/21～23追再試験	2/21～23追再試験	2/21～22修養会	3/15 学位記授与式	
25	26	27	28	1	2	3						
4	5	6	7	8	9	10						
11	12	13	14	15	16	17						
18	19	20	21	22	23	24	3/14卒業ミサ 3/15 学位記授与式	3/15 学位記授与式	3/15 学位記授与式	3/15 学位記授与式	3/15 学位記授与式	
25	26	27	28	29	30	31						

I. 学事暦 (看護栄養学部看護学科)

【栄養学科】

暦		1年次	2年次	3年次 (編入3年)	4年次 (編入4年)	全学行事等						
日	月	火	水	木	金	土						
26	27	28	29	30	31	1	4/4 入学式 4/5 オリエンテーション 4/6・7 出会いと親睦ゼミ				4/4 入学式 4/5 定期健康診断	
4	9	10	11	12	13	14	15	4/10 授業開始(前期) 4/10~14 履修登録期間	4/5 ガイダンス 4/6 授業開始(前期) 4/6~12 履修登録期間	4/5 ガイダンス 4/6 授業開始(前期) 4/6~12 履修登録期間	4/5 ガイダンス 4/6 授業開始(前期) 4/6~12 履修登録期間	4/18PM イースターの集い
5	30	1	2	3	4	5	6					5/16PM 合唱コン 5/23 避難訓練
6	7	8	9	10	11	12	13					
6	14	15	16	17	18	19	20	6/3・17・24土曜開講予定	6/3・17・24土曜開講予定	6/3・17・24土曜開講予定	↑ 5/22~5/26 給食経営管理論実習Ⅲ 5/22~6/9, 8/14~9/15 (うち5日間) 公衆栄養学実習Ⅱ 5/29~6/2 栄養教育実習	6/8PM 天使祭準備 6/9・10 天使祭
6	21	22	23	24	25	26	27	4 5 6 7 8 9 10				
7	28	29	30	31	1	2	3	7/1・8・15土曜開講予定	7/1・8・15土曜開講予定	7/1・8・15土曜開講予定	7/1・8・15土曜開講予定	
7	4	5	6	7	8	9	10					
7	11	12	13	14	15	16	17	7/24~28 定期試験	7/24~28 定期試験	7/24~28 定期試験	7/24~8/13 夏季休業	
7	18	19	20	21	22	23	24					
7	25	26	27	28	29	30	1	7/29~9/10 夏季休業	7/29~9/10 夏季休業	7/29~9/3 夏季休業	8/1~3 追再試験	7/31看護学科オープンキャンパス 8/4栄養学科オープンキャンパス
7	2	3	4	5	6	7	8					
7	9	10	11	12	13	14	15					
7	16	17	18	19	20	21	22					
7	23	24	25	26	27	28	29	8/23~8/25 追再試験	8/23~8/25 追再試験	8/23~8/25 追再試験	↑ 8/14~9/15(うち5日間) 給食経営管理論実習Ⅳ 8/14~9/15(うち15日間) 臨床栄養学実習Ⅴ 8/14~9/15, 5/22~6/9 (うち5日間) 公衆栄養学実習Ⅱ	9/23 大学院推薦入学試験 9/29 前期卒業・学位記授与式
8	30	31	1	2	3	4	5	9/11 授業開始(後期) 9/11~15 履修登録変更期間	9/11 授業開始(後期) 9/11~15 履修登録変更期間	8/28 授業開始(後期) 8/28~9/1 履修登録変更期間	9/19 授業開始(後期) 9/19~25 履修登録変更期間	
8	6	7	8	9	10	11	12					
8	13	14	15	16	17	18	19					
8	20	21	22	23	24	25	26		10/10~11 修養会 10/13 ステップアップセレモニー			10/13PM ステップアップセレモニー 10/21 大学院入学試験(前期)
9	27	28	29	30	31	1	2					
9	3	4	5	6	7	8	9					
9	10	11	12	13	14	15	16					
9	17	18	19	20	21	22	23					
9	24	25	26	27	28	29	30					
10	1	2	3	4	5	6	7					
10	8	9	10	11	12	13	14					
10	15	16	17	18	19	20	21					
10	22	23	24	25	26	27	28					
11	29	30	31	1	2	3	4					
11	5	6	7	8	9	10	11					
11	12	13	14	15	16	17	18	11/18・25 土曜開講予定	11/18・25 土曜開講予定	↑ 10/30~11/17 臨床栄養学実習Ⅲ 編3:2/5~3/上の10日間	11/18・25 土曜開講予定	11/11 学部入学試験
11	19	20	21	22	23	24	25					
11	26	27	28	29	30	1	2					
11	3	4	5	6	7	8	9					
11	10	11	12	13	14	15	16	12/2・16 土曜開講予定	12/2・16 土曜開講予定	11/30~12/1 修養会	12/2・16 土曜開講予定	11/22PM 戴帽式 11/28 体育祭 12/8 創立記念日 創立70周年記念事業
11	17	18	19	20	21	22	23					
11	24	25	26	27	28	29	30					
12	31	1	2	3	4	5	6	12/25~1/8 冬季休業				12/19PM クリスマスの集い 12/25 キリスト降誕祭
1	7	8	9	10	11	12	13					
1	14	15	16	17	18	19	20					
1	21	22	23	24	25	26	27					
2	28	29	30	31	1	2	3	1/29~2/2 定期試験	1/29~2/2 定期試験	1/29~2/2 定期試験	1/23~3/31 春季休業	1/20 大学院入学試験(後期)
2	4	5	6	7	8	9	10	2/3~3/31 春季休業	2/3~3/31 春季休業	2/3~3/31 春季休業	1/31~2/2 追再試験	2/6・7 学部入学試験
2	11	12	13	14	15	16	17					2/13 学部入学試験
2	18	19	20	21	22	23	24	2/21~23追再試験	2/21~23追再試験	2/21~23追再試験		2/20 学部入学試験
2	25	26	27	28	1	2	3					
2	4	5	6	7	8	9	10					
3	11	12	13	14	15	16	17					
3	18	19	20	21	22	23	24					
3	25	26	27	28	29	30	31					
												3/8~9(又は3/12~13) 修養会 3/14卒業ミサ 3/15 学位記授与式

I. 学事暦 (看護栄養学部栄養学科)

暦								行事予定	全学行事等	臨地実習
日	月	火	水	木	金	土				
4	26	27	28	29	30	31	1	4/4(火) 入学式・専攻別オリエンテーション 4/5(水) ガイダンス・定期健康診断 4/6(木) 授業開始(前期) 4/6(木)～12(水) 履修登録期間 4/20(木) 研究計画発表会(看護学専攻2年次以降)	4/4(火) 入学式 4/5(水) ガイダンス・定期健康診断 4/18(火) PM イースターの集い	
	2	3	4	5	6	7	8			
	9	10	11	12	13	14	15			
	16	17	18	19	20	21	22			
	23	24	25	26	27	28	29			
5	30	1	2	3	4	5	6	5/23(火) PM 避難訓練		6/14～6/23(うち5日間) 公衆衛生看護管理実習Ⅱ (2年次)
	7	8	9	10	11	12	13			
	14	15	16	17	18	19	20			
	21	22	23	24	25	26	27			
6	28	29	30	31	1	2	3	7/6(木) 中間発表会(栄養管理学専攻2年次以降) 7/11(火)～14(金) 学位論文の提出(修士課程・博士前期課程・博士後期課程2年次以降) 7/28(金) 学位論文発表会(修士課程・博士前期課程・博士後期課程2年次以降)・論文審査会	9/4(月) 授業開始(後期) 9/4(月)～8(金) 履修登録変更期間 9/22(金) 17:00まで 研究計画書提出(看護学専攻2年次以降) 9/29(金) 前期修了 学位記授与式	9/4～2/23(週1回) 家族看護継続実習 (1年次)
	4	5	6	7	8	9	10			
	11	12	13	14	15	16	17			
	18	19	20	21	22	23	24			
7	25	26	27	28	29	30	1	8/23(水) 13:00まで 修正済み論文提出	10/21(土) 大学院一般入学試験(前期)	10/16～10/27 公衆衛生看護展開実習 (1年次)
	2	3	4	5	6	7	8			
	9	10	11	12	13	14	15			
	16	17	18	19	20	21	22			
8	23	24	25	26	27	28	29	9/29(金) 前期修了 学位記授与式	11/11(土) 学部入学試験	11/6～11/17 公衆衛生看護管理実習Ⅰ (1年次)
	30	31	1	2	3	4	5			
	6	7	8	9	10	11	12			
	13	14	15	16	17	18	19			
9	20	21	22	23	24	25	26	12/6(水) 17:00 課題研究提出(保健師コース) 12/20(水) 課題研究発表(保健師コース)・論文審査会	12/8(金) 創立記念日 12/19(火) PM クリスマスの集い 12/25(月) キリスト降誕祭	
	27	28	29	30	31	1	2			
	3	4	5	6	7	8	9			
	10	11	12	13	14	15	16			
10	17	18	19	20	21	22	23	1/15(月) 課題研究最終提出(保健師コース) 1/15(月)～19(金) 学位論文の提出(修士課程・博士前期課程・博士後期課程2年次以降) 2/2(金) 学位論文発表会(修士課程・博士前期課程・博士後期課程2年次以降)・論文審査会 2/16(金) 17:00まで 修正済み論文提出 2/23(金) 後期授業終了	2/6(火)・7(水) 学部入学試験 2/13(火) 学部入学試験 2/20(火) 入学試験	
	24	25	26	27	28	29	30			
	1	2	3	4	5	6	7			
	8	9	10	11	12	13	14			
11	15	16	17	18	19	20	21	3/14(水) 修了感謝のミサ 3/15(木) 10:00 学位記授与式 3/30(金) 17:00まで 研究計画書提出(看護学専攻1年次)	3/14(水) 卒業・修了感謝のミサ 3/15(木) 学位記授与式	
	22	23	24	25	26	27	28			
	29	30	31	1	2	3	4			
	5	6	7	8	9	10	11			
12	12	13	14	15	16	17	18	1/9～2/1 ホスピス緩和ケア看護学 実習Ⅰ(1年次)		
	19	20	21	22	23	24	25			
	26	27	28	29	30	1	2			
	3	4	5	6	7	8	9			
1	10	11	12	13	14	15	16	2/2(金) 学位論文発表会(修士課程・博士前期課程・博士後期課程2年次以降)・論文審査会	2/6(火)・7(水) 学部入学試験	
	17	18	19	20	21	22	23			
	24	25	26	27	28	29	30			
	31	1	2	3	4	5	6			
2	7	8	9	10	11	12	13	2/15(月)～19(金) 学位論文の提出(修士課程・博士前期課程・博士後期課程2年次以降)	2/13(火) 学部入学試験	
	14	15	16	17	18	19	20			
	21	22	23	24	25	26	27			
	28	29	30	31	1	2	3			
3	4	5	6	7	8	9	10	3/14(水) 卒業・修了感謝のミサ 3/15(木) 学位記授与式	3/14(水) 卒業・修了感謝のミサ 3/15(木) 学位記授与式	
	11	12	13	14	15	16	17			
	18	19	20	21	22	23	24			
	25	26	27	28	29	30	31			

II. 2017年度開講科目一覧

1. 教養教育科目

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
①共通基礎科目	基礎学修演習	1	前	1			1	
	教養演習	1	後		1		1	
	科学的思考演習	2	前	1			1	
②人間と宗教	キリスト教学概論	1	前	2		2		
	人間学	1	前	2		2		
	聖書の講読	2	前		▲2	2		
	宗教学	2	前		▲2	2		
	キリスト教学特論	1	後		▲2	2		
③人間と文化	発達と学習の心理学	1	後		2	2		
	カウンセリング概論	1	後		2	2		
	倫理学	1	後		2	2		
	音楽概論	1	後		2	2		
	美術概論	1	後		2	2		
	民族と異文化理解	1	後		2	2		
④人間と社会	法学（日本国憲法）	1	前		2	2		
	社会学	1	前		2	2		
	現代の経済	1	前		2	2		
	近現代の日本	1	後		2	2		
	生活と福祉	1	後		2	2		
	現代社会と生活	1	後		2	2		
	対人関係の心理学	1	前		2	2		
⑤人間と自然科学	化学	1	前	2		2		
	生物学	1	前		2	2		
	統計処理演習Ⅰ	1	前		1		1	
	統計処理演習Ⅱ	1	後	1			1	
⑥人間と外国語	英語ⅠA	1	前	1			1	
	英語ⅠB	1	後	1			1	
	英語ⅡA	2	前		1		1	
	英語ⅡB	2	後		1		1	
	オーラルイングリッシュⅠA	1	前	1			1	
	オーラルイングリッシュⅠB	1	後	1			1	
	オーラルイングリッシュⅡA	2	前		1		1	
	オーラルイングリッシュⅡB	2	後		1		1	
フランス語	2	前		1		1		
⑦健康とスポーツ	健康とスポーツⅠ	1	前後		1			1
	健康とスポーツⅡ	2	前後		1			1

2. 看護学科

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
専門基礎科目	栄養代謝学	1	前	2		2		
	形態機能学 I	1	前	2		2		
	形態機能学 II	1	後	2		2		
	病態治療学 I	1	後	2		2		
	病態治療学 II	1	後	2		2		
	看護薬理学	2	前	2		2		
	病態・治療学 III-1	2	前	2		1	1	
	病態・治療学 III-2	2	後	1			1	
	環境健康論	1	後	2		2		
	社会福祉論	1	前	2		2		
	生涯発達論	1	前	1		1		
	医療と倫理	2	前	1		1		
	人間関係論	2	前	1			1	
	医療人類学	4	後		1	1		
専門科目	看護学原理	1	前	2		2		
	ヘルスアセスメント	2	前	1			1	
	看護ケア提供システム論	1	後	1		1		
	基礎看護技術論 I	1	前	1		1		
	基礎看護技術論 II	1	後	2			2	
	基礎看護技術論 III	2	前	1			1	
	基礎看護技術論 IV	2	前	2		1	1	
	成人看護学 I	2	前	1		1		
	成人看護学 II	2	後	2			2	
	成人看護学 III	2	後	1			1	
	成人看護学 IV	3	前	2		1	1	
	老年看護学 I	2	前	1		1		
	老年看護学 II	2	後	1			1	
	老年看護学 III	3	前	2			2	
	小児看護学 I	2	後	2		1	1	
	小児看護学 II	3	前	2		1	1	
	母性看護学 I	2	後	2		2		
	母性看護学 II	3	前	2			2	
	精神看護学 I	2	後	2		2		
	精神看護学 II	3	前	2		2		
	精神看護論 III	3	後	1			1	
	在宅看護論 I	3	前	1		1		
	在宅看護論 II	3	後	2		2		
	地域看護学	3	前	1			1	
	ホスピス・緩和ケア論	3	後	1		1		
	ヘルスプロモーション活動論	3	後		1	1		
リハビリテーション看護学	3	後		1	1			

2. 看護学科

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
専 門 科 目	感染看護学	3	後		1	1		
	基礎看護学臨地実習Ⅰ	1	後	1				1
	基礎看護学臨地実習Ⅱ	2	後	2				2
	成人看護学臨地実習Ⅰ	3	後	3				3
	成人看護学臨地実習Ⅱ	4	前	3				3
	老年看護学臨地実習Ⅰ	2	後	1				1
	老年看護学臨地実習Ⅱ	3	後	3				3
	母子看護学臨地実習Ⅰ	3	後	1				1
	母子看護学臨地実習Ⅱ	4	前	3				3
	精神看護学臨地実習	4	前	2				2
	在宅看護臨地実習	4	前	2				2
	統合看護臨地実習	4	後	2				2
	生と死の看護ゼミ	2	後	1			1	
	看護研究の基礎	3	後	1		1		
	事例研究	4	前後	2			2	
	看護倫理	4	前	1		1		
	看護管理	4	後	1		1		
	統合看護技術演習	4	前	1			1	
	栄養・看護演習	3	前	1			1	
	看護英文講読	3	後		1	1		
	看護教育学	4	前		1	1		
	国際医療援助論	4	後		1	1		
	災害医療援助論	4	後		1	1		
	合同特別演習	4	後		1		1	
人間形成とキャリアデザインⅠ	1	前	1		1			
人間形成とキャリアデザインⅡ	2	後	1		1			
人間形成とキャリアデザインⅢ	3	後	1		1			

3. 栄養学科

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
専門基礎科目	人間関係論	1・編3	前	1		1		
	公衆衛生学	2	前	2		2		
	健康管理概論	2・編3	後	2		2		
	保健医療福祉システム論	4・編4	前	1		1		
	公衆衛生学実習	2・編3	後	1				1
	生涯発達論	1	前	2		2		
	医療概論	2	前		2	2		
	生化学 I	1	後	2		2		
	生化学 II	2・編3	前	2		2		
	形態機能学 I	1・編3	前	2		2		
	形態機能学 II	1	後	2		2		
	病理学	2・編3	前	2		2		
	微生物学	1・編3	後	2		2		
	病態診療学 I	2・編3	後	2		2		
	病態診療学 II	3・編3	前	2		2		
	生化学実験	2・編3	前	1				1
	形態機能学実習 I	1	後	1				1
	形態機能学実習 II	3・編3	後	1				1
	有機化学	1	前		2	2		
	食品科学 I	1	前	2		2		
	食品科学 II	1	後	2		2		
	調理学	1	前	2		2		
	食品衛生学	2	前	2		2		
	食品科学実験 I	1	後	1				1
	食品科学実験 II	3・編3	前	1				1
	調理学実習 I	1	前	1				1
	調理学実習 II	1	後	1				1
	食品衛生学実験	2・編3	前	1				1
食品微生物学実験	2・編3	前	1				1	
食品科学 III	2・編4	後		2	2			
環境食事論	4・編4	後		1	1			
食文化論	4・編4	後		1	1			
専門科目	管理栄養士論	1・編3	前	1		1		
	基礎栄養学	1	後	2		2		
	基礎栄養学実験・実習	2・編3	後	1				1
	応用栄養学 I	2・編3	前	2		2		
	応用栄養学 II	2	後	2		2		
	応用栄養学 III	3・編3	後	2		2		
	応用栄養学実習	3・編3	前	1				1
	国際栄養学	4・編4	後		1	1		

3. 栄養学科

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
専門科目	免疫と栄養	3	後		1	1		
	スポーツ栄養学	3・編3	後		1	1		
	栄養教育論Ⅰ	2	前	2		2		
	栄養教育論Ⅱ	2・編3	後	2		2		
	栄養教育論Ⅲ	3・編3	後	2		2		
	栄養教育論実習	3	前	1				1
	カウンセリング演習	3	前		1		1	
	臨床栄養学Ⅰ	2・編3	後	2		2		
	臨床栄養学Ⅱ	3	前	2		2		
	臨床栄養学Ⅲ	3・編3	後	2		2		
	臨床栄養学Ⅳ	4・編4	前	2		2		
	臨床栄養学実習Ⅰ	3	前	1				1
	臨床栄養学実習Ⅱ	3・編3	後	1				1
	臨床栄養学実習Ⅳ	4・編4	前	1				1
	公衆栄養学Ⅰ	3	前	2		2		
	公衆栄養学Ⅱ	3・編3	後	2		2		
	公衆栄養学実習Ⅰ	3・編3	後	1				1
	地域栄養活動演習	4・編4	前		1		1	
	栄養・看護演習	3・編3	前	1			1	
	給食経営管理論Ⅰ	2	前	2		2		
	給食経営管理論Ⅱ	2・編3	後	2			2	
	給食経営管理論実習Ⅰ	2	後	1				1
	フードサービス論	4・編4	前		1	1		
	フードサービス実習	4・編4	前		1			1
	総合演習Ⅰ	3・編3	前後	1			1	
	総合演習Ⅱ	4・編4	前後	2			2	
	食といのちのゼミ	4・編4	後	1			1	
	英文文献講読	3	後		1		1	
	合同特別演習	4・編4	前後		1		1	
	卒業研究	4・編4	前後		3			3
	給食経営管理論実習Ⅱ（学外実習）	3	後	1				1
	臨床栄養学実習Ⅲ（学外実習）	3・編3	後	2				2
公衆栄養学実習Ⅱ（学外実習）	4・編4	前後		▲1			1	
給食経営管理論実習Ⅲ（学外実習）	4・編4	前		▲1			1	
臨床栄養学実習Ⅴ（学外実習）	4・編4	前後		3			3	
給食経営管理論実習Ⅳ（学外実習）	4・編4	前後		1			1	
学校栄養指導論Ⅰ	3	前		2	2			
学校栄養指導論Ⅱ	3	後		2	2			

4. 教職課程

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
教職課程科目	教職概論	1	前		2	2		
	教育原論	1	後		1	1		
	教育制度論	2	前		1	1		
	教育課程論	1	後		1	1		
	道德教育論	2	後		1	1		
	特別活動論	2	後		1	1		
	教育方法論	2	前		1	1		
	生徒指導論	2	後		2	2		
	栄養教育実習	4	前		1			1
	栄養教育実習事前事後指導	4	前		1			1
	教職実践演習	4	前後		2		2	
	教職総合演習	3	後		2		2	

栄養学科で教職課程を登録した学生のみ履修することができます。

5. 大学院看護栄養学研究科 栄養管理学専攻（博士前期課程）

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
基礎科目	倫理学特論	1	後	1		1		
	統計学特論	1	前	1			1	
	疫学	1	前	1		1		
	人間関係論特論	1	後		1	1		
	研究方法論特論	1	前	2		2		
	医療情報・管理学特論	1	後		1	1		
専門基礎科目	食品衛生学特論	1	前	2		2		
	代謝栄養学特論	1	後	2		2		
	地域ケアシステム論	1	後		1	1		
	ヘルスカウンセリング論	1	前		1		1	
	環境保健学	1	前		1	1		
	栄養免疫学特論	1・2	後		2	2		
専門実践科目	栄養管理学特論	1	前	2		2		
	栄養疫学特論	1	後		1	1		
	健康行動科学特論	1	前	1		1		
	健康・食行動理論	1	前		1	1		
	栄養診断学特論	1	後	2		2		
	栄養管理学総合演習	1	前後	2			2	
	臨床栄養学特論	1	前	2		2		
	栄養管理学特別研究	1～2	前後	4				4
	栄養管理学特別演習	1～2	前後	4			4	

6. 大学院看護栄養学研究科 栄養管理学専攻（博士後期課程）

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
基礎系栄養管理学分野	基礎系栄養管理学特別研究	1～3	前後		12			12
実践系栄養管理学分野	実践系栄養管理学特別研究	1～3	前後		12			12

7. 大学院看護栄養学専攻 看護学専攻（修士課程）

科目区分	授業科目	受講年次	学期	修論コース		高度実践看護師コース			保健師コース		授業区分			
				単位数		単位数		○印 CNS 対象 科目	単位数					
				必修	選択	必修	選択		必修	選択	講義	演習	実習	
看護学・ 栄養管理 学両専攻 共通科目	倫理学特論	1	後	1		1		○	1		1			
	人間関係論特論	1	後		1		1			1	1			
	研究方法論特論	1	前	2		2		○	2		2			
	統計学特論	1	前		1		1		1			1		
	疫学	1	前		1		1		1		1			
	地域ケアシステム論	1	後		1		1		1		1			
	健康行動科学特論	1	前		1		1		1		1			
	医療情報・医療経済	1	後		1		1			1	1			
国際保健学特論	2	前		1		1			1	1				
看護学専攻 共通基礎 科目	看護理論特論	1	前	2		2		○	2		2			
	看護倫理特論	1	後	1		1		○		1	1			
	看護研究法Ⅰ（量的研究）	1	後		1		1			1		1		
	看護研究法Ⅱ（質的研究）	1	後		1		1			1		1		
	看護教育学特論Ⅰ	1	前		2	2		○		2	2			
	看護教育学特論Ⅱ	1	後		1		1			1		1		
	看護管理学特論	1	後		2	2		○		2	2			
	家族関係論特論	1	前		1		1		1		1			
	コンサルテーション論	1	後		1		1	○		1	1			
専門 基礎 科目	薬理学特論	1	前		2		2			2	2			
	フィジカルアセスメント	1	後			2		○			2			
	病態生理学	1	前		2	2		○		2	2			
	臨床薬理学	1	前		2	2		○		2	2			
	精神病理学特論	1	前		2		2			2	2			
	保健医療福祉政策論	1~2	後		1		1	○	1		1			
	保健医療福祉行政論	1	前		3				3		3			
	疫学・保健統計特論	1	前		2				2		2			
	ヘルスカウンセリング論	1	前		1		1		1			1		
	代謝栄養学特論	1	後		2		2			2	2			
	環境保健学	1	前		1		1			1	1			
	健康社会学	2	前		1		1			1	1			
医療人類学特論	2	前		1		1			1	1				
専門 科目	保健師 コース	公衆衛生看護学特論Ⅰ	1	前	2					2		2		
		公衆衛生看護学原論	1	前						2		2		
		公衆衛生看護活動論Ⅰ	1	前						2		2		
		公衆衛生看護活動論Ⅱ	1	後						2		2		
		健康学習支援演習	1	後						1			1	
		家族看護学特論	1	前						2		1	1	
		公衆衛生看護診断	1	後						2		1	1	
		公衆衛生看護管理	1	後						2		2		
		健康危機管理特論	1	後						1			1	
		公衆衛生看護課題研究演習	1	後						2			2	
		家族看護継続実習	1	後						1				1
		公衆衛生看護展開実習	1	後						2				2
		公衆衛生看護管理実習Ⅰ	1	後						2				2
		産業・学校看護活動論	2	前						2		2		
	地域ケアシステム論特論	2	前						2		2			
	公衆衛生看護管理実習Ⅱ	2	前						1				1	
ホスピ ス緩和 ケア 看護学	ホスピス緩和ケア看護学特論Ⅰ	1	前			2		○			2			
	ホスピス緩和ケア看護学特論Ⅱ	1	後			2		○			2			
	ホスピス緩和ケア看護学特論Ⅲ	1~2	後前			2		○				2		
	ホスピス緩和ケア看護学特論Ⅳ	1	後			2		○			2			
	ホスピス緩和ケア看護学特論Ⅴ	1	前			2		○			2			
	ホスピス緩和ケア看護学演習Ⅰ	1	前後			2		○			1	1		
	ホスピス緩和ケア看護学演習Ⅱ	1	後			1		○				1		
	ホスピス緩和ケア看護学実習Ⅰ	1	後			4		○					4	
公衆衛生看護課題研究	2	前後						4			4			

Ⅲ. 学生数・奨学金の採用状況

在籍者数

(2017年5月1日現在)

所属	学科・専攻	コース名等	収容定員	1年	2年	3年	4年	計	収容定員充足率	
看護栄養学部	看護学科		348	94 (2)	94 (7)	94 (8)	92 (2)	374 (19)	107.5%	
	栄養学科		350	89 (2)	90 (4)	85 (2)	89 (1)	353 (9)	100.9%	
		(うち編入生)	10	—	—	2 (0)	4 (0)	6 (0)	60.0%	
	小 計			698	183 (4)	184 (11)	179 (10)	181 (3)	727 (28)	104.2%
助産大学院	助産専攻	助産基礎分野	60	16	—	13	—	—	29	48.3%
		助産教育分野	20	0	—	3	—	—	3	15.0%
	小 計			80	16	—	16	—	32	40.0%
看護栄養学大学院	看護学専攻	公衆衛生看護学コース	28	0 (0)	0 (0)	—	—	0 (0)	32.1%	
		精神看護学コース		0 (0)	0 (0)	—	—	0 (0)		
		成人看護学コース		0 (0)	0 (0)	—	—	0 (0)		
		ホスピス緩和ケア看護学コース		2 (0)	0 (0)	—	—	2 (0)		
		保健師コース		2 (0)	5 (0)	—	—	7 (0)		
	栄養管理学専攻	博士前期課程	6	1 (1)	1 (0)	—	—	2 (1)	33.3%	
		博士後期課程	6	0 (0)	0 (0)	2 (0)	—	2 (0)	33.3%	
	小 計			40	5 (1)	6 (0)	2 (0)	—	13 (1)	32.5%
合 計			818	204 (5)	206 (11)	181 (10)	181 (3)	772 (29)	94.4%	

社会人学生数

(2017年5月1日現在)

所属	学 科	1年	2年	3年	4年	計
看護栄養学部	看護学科	0 (0)	4 (0)	4 (0)	4 (0)	12 (2)
	栄養学科	0 (0)	0 (0)	2 (1)	2 (0)	4 (1)
	小 計		0 (0)	4 (0)	6 (1)	6 (0)

奨学金の種類と採用数（学部生） 2018年3月現在

	奨学金の種類		奨学金の金額		貸与・給付の別	採用数
			月 額			
全 学 生	天使大学貸与奨学金		月 額	30,000円	無利子貸与	34人
	日本学生支 援機構奨学 金	第一種	月 額	30,000円 または、自宅通学 54,000円 自宅外通学 64,000円	無利子貸与	163人
		第二種	月 額	30,000円、50,000円 80,000円、100,000円 120,000円	有利子貸与 利率3%以内	193人
		給付	月 額	40,000円	給付、返還不要	2人
2 年 次 生 以 上	天使大学シスター川原ユキエ 記念奨学金		年 額	看護学科 600,000円 栄養学科 500,000円	給付、返還不要	10人
	天使大学給付奨学金		年 額	200,000円	給付、返還不要	20人
	天使大学同窓会奨学金		年 額	300,000円	無利子貸与	1人
1～3年 次生	学業成績優秀者奨励金		年 額	50,000円	給付	6人
看学生	北海道看護職員養成修学資金		月 額	32,000円	道内特定施設に5年以上 勤務の場合返還免除	3人
全 学 生	その他の奨学金		交通遺児育英会奨学金(2)、札幌市奨学生(2)、天使病院奨 学金(3) ほか			16人
合 計						448人

IV. 国家試験合格率

国家試験合格率（2017年度）

学 部・学 科	国家試験の名称	受験者数 (A)	合格者数 (B)	合格率 (%) B/A*100	全国合格率 (%)
天使大学大学院 助産研究科	助産師国家試験	9 人	9 人	100.0%	99.4%
看護栄養学部 看護学科	看護師国家試験	88 人	85 人	96.6%	96.3%
看護栄養学部 看護学科	保健師国家試験	5 人	4 人	80.0%	85.6%
看護栄養学部 栄養学科	管理栄養士国家試験	88 人	77 人	87.5%	95.8%

V. 就職・進学状況

学科別就職状況（2018年5月1日現在）

〔学科別就職希望者〕

学科		看護学科						栄養学科					
		女子		男子		計		女子		男子		計	
項目		数	割合	数	割合	数	卒業生に対する割合	数	割合	数	割合	数	卒業生に対する割合
		就職希望の有無	希望有りの者	75	98.7%	1	1.3%	76	86.4%	85	98.8%	1	1.2%
希望無しの者	11		91.7%	1	8.3%	12	13.6%	2	100.0%	0	0.0%	2	2.3%
計(卒業生数)		86	97.7%	2	2.3%	88	100.0%	87	98.9%	1	1.1%	88	100.0%

〔学科別就職決定者〕

学科		看護学科						栄養学科					
		女子		男子		計		女子		男子		計	
項目		数	割合	数	割合	数	就職希望者に対する割合	数	割合	数	割合	数	就職希望者に対する割合
		決定数/決定率		75	100.0%	1	100.0%	76	100.0%	84	98.8%	1	1.2%

〔地域別・就職別決定者〕

学科		看護学科 n=76						栄養学科 n=85					
		女子		男子		計		女子		男子		計	
項目		数	割合	数	割合	数	就職者に対する割合	数	割合	数	割合	数	就職者に対する割合
		地域別	道外	22	29.3%	0	0.0%	22	28.9%	12	14.3%	0	0.0%
道内	53		70.7%	1	100.0%	54	71.1%	72	85.7%	1	100.0%	73	85.9%
市内(再掲)	(47)		(62.7%)	(1)	(100.0%)	(48)	(63.2%)	(48)	(57.1%)	(0)	(0.0%)	(48)	(56.5%)
職種別	看護師	75	98.7%	1	1.3%	76	100.0%						
	管理栄養士							43	51.2%	0	0.0%	43	50.6%
	栄養士							16	19.0%	0	0.0%	16	18.8%
	栄養教諭							3	3.6%	0	0.0%	3	3.5%
	一般企業							23	27.4%	0	0.0%	23	27.1%
	上記以外							0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

〔進学状況〕

学科		看護学科				栄養学科							
		女子		男子		計		女子		男子		計	
項目		数		割合		進学希望者に対する割合		数		割合		進学希望者に対する割合	
		進学希望者数		9		0		9		0		0	
進学合格者数		9		0		9		0		0		0	

2017年度求人件数・人数（2018年3月31日現在）

〔看護職〕

職 種	件 数				人 数			
	(市内)	道内	道外	件数合計	(市内)	道内	道外	人数合計
看護師	57	126	237	363	1,194	2,028	11,698	13,726
保健師	7	172	25	197	90	361	138	499
助産師	13	47	118	165	106	205	948	1,153
計	77	345	380	725	1,390	2,594	12,784	15,378

〔栄養士職〕

職 種	件 数				人 数			
	(市内)	道内	道外	件数合計	(市内)	道内	道外	人数合計
栄養士	56	85	31	116	617	654	1,116	1,770
管理栄養士	81	141	47	188	767	839	692	1,531
栄養教諭	1	4	1	5	3	6	5	11
食品衛生監視員	1	1	1	2	1	1	30	31
その他 保健医療従事者	12	41	10	51	81	195	750	945
計	151	272	90	362	1,469	1,695	2,593	4,288

〔一般職・その他〕

職 種	件 数				人 数			
	(市内)	道内	道外	件数合計	(市内)	道内	道外	人数合計
一般	54	122	115	237	1,206	1,571	4,039	5,610
合計	282	739	585	1,324	4,065	5,860	19,416	25,276

注1 (市内)は道内の内数

注2 若干名は3とカウントする

注3 保健師・助産師求人件数は人数を明記してある場合以外は3とカウントする

VI. 2018年度入試結果

2018年度天使大学・大学院入学試験結果

看護栄養学部

* () は、昨年度の数字です

◆看護学科

試験種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
指定校推薦	40	6	(4)	6	(4)	6	(4)	6	(4)	1.0
公募制推薦		53	(61)	53	(61)	35	(36)	35	(36)	1.5
社会人	37	2	(12)	2	(12)	0	(1)	0	(0)	—
一般		296	(291)	293	(285)	85	(73)	36	(41)	3.4
センター利用	10	132	(184)	132	(184)	36	(29)	25	(12)	3.7
総計	87	489	(552)	486	(546)	162	(143)	102	(93)	3.0

◆栄養学科

試験種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
指定校推薦	42	4	(5)	4	(5)	4	(5)	4	(5)	1.0
公募制推薦		43	(58)	43	(58)	38	(37)	38	(37)	1.1
社会人	33	0	(1)	0	(1)	0	(0)	0	(0)	—
一般		89	(100)	89	(100)	45	(44)	44	(34)	2.0
センター利用	10	68	(77)	68	(77)	16	(16)	13	(12)	4.3
総計	85	204	(241)	204	(241)	103	(102)	99	(88)	2.0

◆栄養学科(3年次編入)

試験種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
	5	4	(4)	4	(4)	3	(2)	3	(2)	1.3

大学院 看護栄養学研究科

◆看護学専攻

試験種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
推薦	14	0	(1)	0	(1)	0	(1)	0	(1)	—
一般 前期		8	(2)	8	(2)	8	(2)	8	(2)	1.0
一般 後期		2	(1)	2	(1)	1	(1)	1	(1)	2.0
総計	14	10	(4)	10	(4)	9	(4)	9	(4)	1.1

◆栄養管理学専攻 博士前期課程

試験種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
一般 前期	3	0	(2)	0	(2)	0	(1)	0	(1)	—
一般 後期		1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(0)	1.0
総計	3	1	(3)	1	(0)	1	(2)	1	(1)	1.0

◆栄養管理学専攻 博士後期課程

試験種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
一般 前期	2	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	—
一般 後期		3	(0)	3	(0)	3	(0)	3	(0)	1.0
総計	2	3	(0)	3	(0)	3	(0)	3	(0)	1.0

大学院 助産研究科

試験種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)	
基礎分野	推薦	10	5	(7)	5	(7)	4	(7)	4	(7)	1.3
	前期一般	15	7	(11)	7	(10)	7	(7)	7	(6)	1.0
	前期社会人		4	(2)	4	(2)	4	(1)	4	(1)	1.0
	後期一般	5	1	(4)	1	(4)	1	(2)	1	(2)	1.0
後期社会人	0		(1)	0	(1)	0	(0)	0	(0)	—	
分教 野育	前期	10	1	(0)	1	(0)	0	(0)	0	(0)	—
	後期		1	(0)	1	(0)	1	(0)	1	(0)	1.0
総計	40	19	(25)	19	(24)	17	(17)	17	(16)	1.1	

Ⅶ. 教員組織

教員組織一覽

(2017年5月1日現在)

所 属		教授	准教授	講師	助教	助手	計
大学院	助産研究科	8人	0人	0人	3人	0人	11人
	兼任教員(非常勤講師)	—	—	—	—	—	33人
看護栄養学部	看護学科	5人	9人	6人	8人	4人	32人
	栄養学科	7人	6人	5人	2人	3人	23人
	教養教育科	3人	3人	0人	0人	0人	6人
	計	15人	18人	11人	10人	7人	61人
	兼任教員(非常勤講師)	—	—	—	—	—	93人
合計		23人	18人	11人	13人	7人	198人

専任教員年齢構成

(2017年5月1日現在)

所属	職位	71歳以上	66歳～70歳	61歳～65歳	56歳～60歳	51歳～55歳	46歳～50歳	41歳～45歳	36歳～40歳	31歳～35歳	26歳～30歳	25歳以下	計
助産研究科	教授	2	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	8
		25.0%	25.0%	12.5%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	准教授	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0%
	講師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0%
	助教	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	3
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	100%
	計	2	2	1	3	0	1	1	0	1	0	0	11
		18.2%	18.2%	9.1%	27.3%	0.0%	9.1%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	100%
助手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0%	
小計	2	2	1	3	0	1	1	0	1	0	0	11	
	18.2%	18.2%	9.1%	27.3%	0.0%	9.1%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	100%	
看護栄養学部・看護栄養学研究科	教授	0	5	6	1	2	1	0	0	0	0	0	15
		0.0%	33.3%	40.0%	6.7%	13.3%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	准教授	0	0	4	2	6	3	3	0	0	0	0	18
		0.0%	0.0%	22.2%	11.1%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	講師	0	0	0	2	2	3	4	0	0	0	0	11
		0.0%	0.0%	0.0%	18.2%	18.2%	27.3%	36.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	助教	0	0	0	0	2	1	3	2	2	0	0	10
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	10.0%	30.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100%
	計	0	5	10	5	12	8	10	2	2	0	0	54
		0.0%	9.3%	18.5%	9.3%	22.2%	14.8%	18.5%	3.7%	3.7%	0.0%	0.0%	100%
助手	0	0	0	0	1	0	1	1	2	1	1	7	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	28.6%	14.3%	14.3%	100%	
小計	0	5	10	5	13	8	11	3	4	1	1	61	
	0.0%	8.2%	16.4%	8.2%	21.3%	13.1%	18.0%	4.9%	6.6%	1.6%	1.6%	100%	
合計	2	7	11	8	13	9	12	3	5	1	1	72	
	2.8%	9.7%	15.3%	11.1%	18.1%	12.5%	16.7%	4.2%	6.9%	1.4%	1.4%	100%	

※定年：65歳

教員の任免・昇任者一覧

(2018年3月31日現在)

学科・科	採用者					昇任者		退職者				
	教授	准教授	講師	助教	助手	講師から 准教授	助教から 講師	教授	准教授	講師	助教	助手
助産研究科	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	3人	0人	0人	0人	0人
看護学科	1人	1人	0人	4人	3人	3人	1人	2人	1人	0人	2人	3人
栄養学科	3人	2人	0人	0人	3人	0人	0人	1人	1人	0人	0人	0人
教養教育科	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
計	5人	3人	0人	5人	6人	3人	1人	6人	2人	0人	2人	3人

VIII. 事務組織

(2017年5月1日現在)

区分	部門	専任職員	うち管理職	常勤嘱託 職員	臨時職員	派遣職員	その他	計
法人業務系	事務局長	0	0	1	0	0	0	1
	参与	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	1	0	0	0	1
大学業務系	総務課	3	1	5	1	0	1	10
	学務課	5	0	6	0	0	2	13
	図書情報課	4	1	3	0	0	0	7
	財務室	3	1	2	1	0	3	9
	入試・広報室	3	1	1	0	0	0	4
	計	18	4	17	2	0	6	43
合計		18	4	18	2	0	6	44

IX. 研究等の活動

独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業（代表者）の採択状況

		種別	研究代表者	研究課題
1	継続	基盤研究(C)	佐藤 香苗	地域で暮らす認知症高齢者のための新規栄養ケアモデルの構築と応用可能性
2	継続	基盤研究(C)	伊織 光恵	ダウン症のある女子の母親が行う初経教育の構築
3	継続	基盤研究(C)	鹿内 信善	聴覚障害児の言語活動を充実させる看図アプローチを用いた教材開発・授業開発
4	継続	基盤研究(C)	吉田 礼維子	介護予防システムを推進する保健師の活動強化プログラムの検討
5	新規	基盤研究(C)	松下 真美	ω 3脂肪酸のヒト褐色脂肪に対する作用とその抗メタボ効果

特別研究費の助成状況

		種別	研究代表者	研究課題
1		特別研究費	高桑 暁子	α ディフェンシンによる早期新生児の腸内細菌叢形成の制御
2		特別研究費	三浦 恵津子	実習指導にstorytellingを導入することで得られた学生の行動変容の分析
3		特別研究費	若山 好美	訪問看護師の地域包括ケアシステムへの関わりの認識とその実態

受託研究等

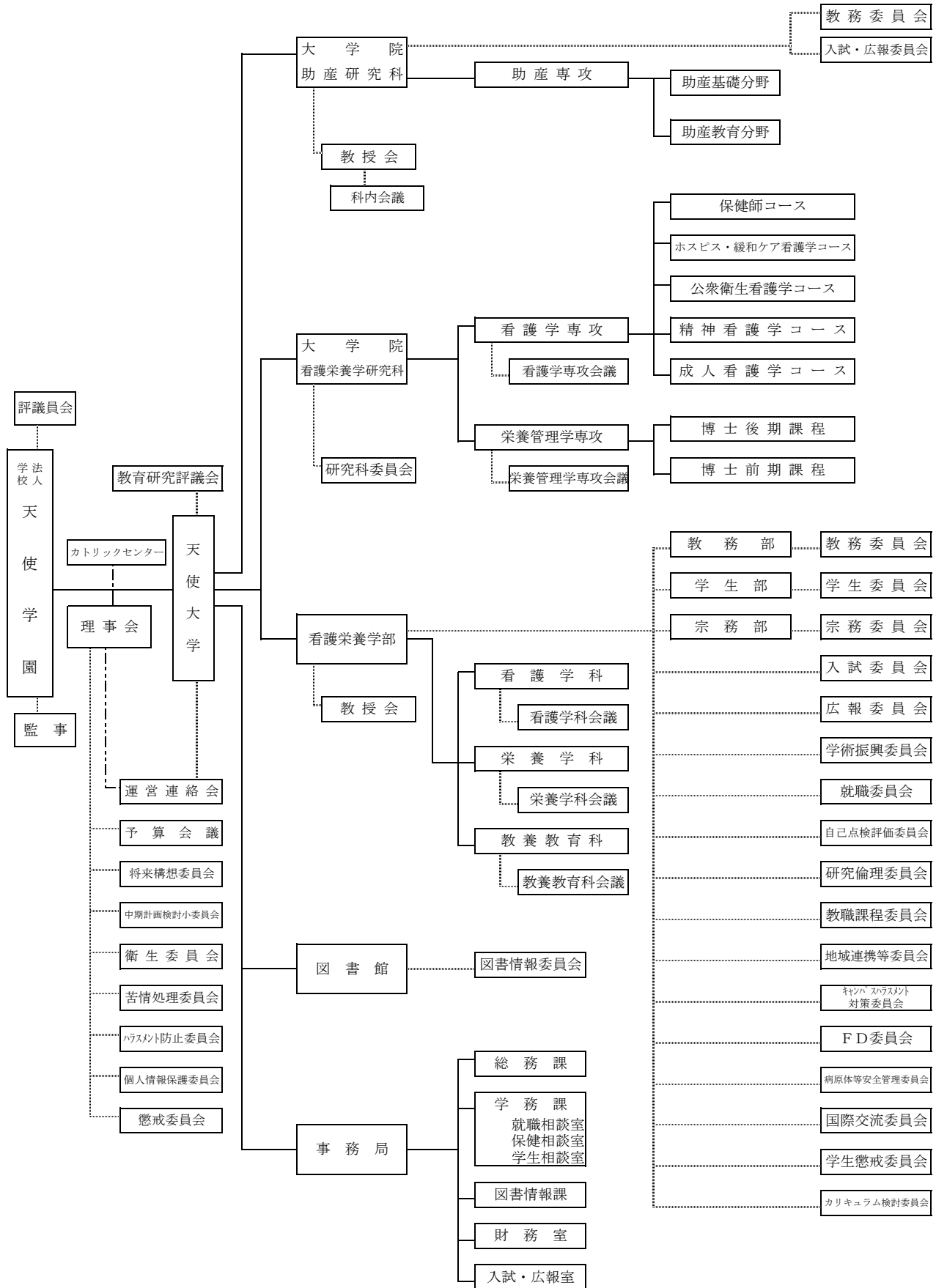
	種別	代表者	担当者	研究・事業名
1	奨学寄付	松下 真美	—	ヒト褐色脂肪に対するカプシエイト類の効果に関する研究に対する助成
2	奨学寄付	鈴木 純子	—	天使大学看護栄養学部栄養学科および看護栄養学研究科栄養管理栄養学専攻における教育研究の発展の寄与に対する助成
3	受託研究	松下 真美	—	ポリフェノールによるヒト褐色脂肪活性化に関する研究
4	受託研究	松下 真美	—	褐色脂肪組織活性と食後消化管ホルモン動態との関連性評価検討
5	受託事業	山部 秀子	—	コープさっぽろ天使大学連携プロジェクト
6	受託事業	山部 秀子	—	コープさっぽろ配食事業連携
7	共同研究	松下 真美	—	褐色脂肪細胞の糖鎖マーカー探索

その他の活動

分類	活動内容
札幌市東区保健福祉部・東区健康づくり連絡協議会との連携	2017年度は学部学生により「広報さっぽろ東区版及びホームページでのレシピの紹介」、「食育推進ネットワーク事業への参加」、「天使祭での健康相談・地域の健康づくり活動の紹介」、「天使の昼食会」、「若者を対象にした料理教室」、「東区健康づくりフェスティバルの運営協力」など7事業に参加しました。
天使大学、札幌大谷大学、北海道体育大学、札幌保健医療大学および札幌市東区による地域連携協定	札幌市東区に設置する3大学と1 専門学校および札幌市東区による地域連携協定に基づき、「健康」をテーマに地域住民向けのスポーツまつりを2017年10月22日（日）につどむで開催し、「天使大の健康塾」というブースで、看護・栄養の学生達が参加者への食事のアドバイスや血圧測定を行いました。

X. 組織図

天使大学大学院 助産研究科
 天使大学大学院 看護栄養学研究科
 天使大学 看護栄養学部



XI. 会議の開催状況

看護栄養学学部教授会

回	開催年月日	審議・報告事項
臨時	2017年4月3日（月）	1. 審議事項 なし 2. 報告事項 1) 2017年度校務分掌・委員会一覧について 2) 2017年度一般入学試験、大学入試センター試験利用入学試験に係る追加合格について 3. 意見聴取事項 なし
1	2017年4月11日（火）	1. 審議事項 なし 2. 報告事項 1) 2017年度アッセンブリー・アワーの実施について 2) 2017年度 イースターの集い、および今後の宗務行事の予定について 3) 2017年度合唱コンクールの実施について 4) 2017年度学校医（内科医・精神神経科医）について 5) 教員の退職について 6) 委員会報告について 3. 意見聴取事項 1) 教員の採用に係る募集大綱について
2	2017年5月10日（水）	1. 審議事項 1) 2018年度看護栄養学学部、栄養学科編入学試験、指定校推薦入学試験学生募集要項について 2) 2017年度既修得単位の認定・単位授与について 2. 報告事項 1) 2016年度英語プレイスメントテスト実施結果及び2017年度化学・生物診断テスト実施結果について 2) 休学について 3) 2017年度天使祭について 4) 2017年度葦の会役員、部活動団体について 5) 2017年度合唱コンクールについて 6) 2017年度日本カトリック大学連盟総会について 7) 消防訓練について 8) 将来構想の今後の進め方について 9) 委員会報告について 3. 意見聴取事項
3	2017年6月14日（水）	1. 審議事項 なし 2. 報告事項 1) 規程の一部改正について 2) 2017年度 英語プレイスメントテスト 実施結果 3) 学術振興委員会主催の講演会開催について 4) 学業成績優秀者奨励金 対象者について 5) 退学について 6) 在籍者数について 7) 教員の採用について 8) 教員の退職について 9) 委員会報告について 3. 意見聴取事項 1) 学生による授業評価アンケート結果の研究利用について 2) 教員間の授業参観の試行について 3) 教員の採用に係る募集大綱について
4	2017年7月11日（火）	1. 審議事項 1) 非常勤講師の委嘱について 2. 報告事項 1) 2017年度後援会地区懇談会等について 2) 休学について 3) 学生による授業評価アンケート結果利用の取り下げについて 4) 委員会報告について 3. 意見聴取事項 1) 教員の採用に係る募集大綱について
5	2017年9月12日（火）	1. 審議事項 1) 既修得単位の認定・単位授与について 2) 2017年度非常勤講師の委嘱について 2. 報告事項 1) 教職課程の再課程認定に係る課題解決と認定のための日程について 2) 2017年度後期宗務行事予定について 3) 専任教員の新規担当科目について 4) 2017年度前期試験におけるアクシデント等について 5) 2017年度第2回FD研修会の開催について 6) 休学・復学について 7) 2017年度特別研究費の採択状況について 8) 委員会報告について 3. 意見聴取事項 なし

回	開催年月日	審議・報告事項
6	2017年10月10日（火）	1. 審議事項 1) 2017年度非常勤講師の委嘱について 2. 報告事項 1) 2017年度体育祭の実施について 2) 2017年度クリスマス関連行事の予定について 3) 2017年度特別研究費による研究報告会について 4) 専任教員の新規担当科目について 5) 2017年度前期試験におけるアクシデント等について 6) 退学について 7) 在籍者数について 8) 2017年度Food and Life Step-up Ceremonyの実施について 9) 2018年度人事方針について 10) 2017年度海外研修旅行の実施について 11) 委員会報告について 3. 意見聴取事項 なし
7	2017年11月15日（水）	1. 審議事項 1) 2019年度入学試験日程について 2) 2018年度推薦入学試験社会人入学試験及び栄養学科編入学試験の合否判定について 3) 2018年度学事暦(案)について 4) 2019年度入学式日程等について 5) 2018年度非常勤講師の委嘱について 2. 報告事項 1) 2017年度教職員修養会について 2) 2017年度戴帽式の実施について 3) 教員の採用に係る募集大綱の延長について 4) 休学について 3. 意見聴取事項 1) 教員の採用に係る募集大綱について
8	2017年12月12日（火）	1. 審議事項 1) 2018年度非常勤講師の委嘱について 2. 報告事項 1) 実習指導教員の次年度雇用契約について 2) 2018年度大学基準協会の評価申請に係る「点検・評価報告書」作成について 3) 休学の許可について 3. 意見聴取事項 なし
9	2018年1月10日（水）	1. 審議事項 1) 2018年度非常勤講師の委嘱について 2) 「天使大学学則」の一部改正(案)について 3) 「履修規程」の一部改正(案)について 2. 報告事項 1) 教員の採用について 2) 教員の退職について 3) 2017年度カトリックセンター長等の発令について 4) 2017年度2月以降の宗務行事予定について 5) 2017年度海外研修旅行の実施について 6) 休学の許可について 7) 2017年度年報の作成および活動報告会の開催について 3. 意見聴取事項 なし
10	2018年2月14日（水）	1. 審議事項 1) 2018年度一般入試（栄養学科）合否判定 2) 天使大学学則の一部改正について 3) 2018年度非常勤講師の委嘱・変更・取消について 2. 報告事項 1) 2017年度卒業証書・学位記授与式実施要領について 3. 意見聴取事項 1) 教員の採用に係る募集大綱について
臨時	2018年2月16日（金）	1. 審議事項 1) 2018年度一般入学試験（看護学科）の合否判定について 2. 報告事項 1) 教員の採用等について 3. 意見聴取事項 なし
臨時	2018年2月23日（金）	1. 審議事項 1) 2018年度大学入試センター試験利用入学試験の合否判定について 2. 報告事項 1) 入学試験問題の誤記について 3. 意見聴取事項 なし

回	開催年月日	審議・報告事項
臨時	2018年2月27日（火）	1. 審議事項 1) 2017年度卒業判定について 2) 2017年度教職課程修了判定について 3) 2018年度非常勤講師の委嘱について 4) 2018年度科目等履修生の受入れについて 2. 報告事項 1) 専任教員の新規授業科目の担当について 2) 2017年度後期定期試験におけるアクシデントについて 3) 休学・復学について 4) 学長候補者の決定について 5) 専任教員の所属替えについて 6) 2018年度研究科長等の決定について 7) 教員の雇用契約の更新について 8) キャンパス整備に係る学部の学習環境の調整検討について 3. 意見聴取事項 なし
11	2018年3月16日（金）	1. 審議事項 1) 2017年度進級判定について 2) 2018年度既修得単位の認定・単位授与について 3) 教職課程履修規程の一部改正(案)について 4) 2018年度非常勤講師の委嘱および変更について 5) 2019年度入試日程の一部変更について 2. 報告事項 1) 2017年度卒業生の就職状況（2018年3月15日現在）について 2) 2018年度 合唱コンクールの実施について 3) 専任教員の新規授業科目の担当について 4) 教員の退職について 5) 休学・復学・退学の許可について 6) 2018年度入学式の実施要領について 7) 自衛消防訓練について 3. 意見聴取事項 1) 教員の採用に係る募集大綱について

看護栄養学研究科研究科委員会

回	開催年月日	審議・報告事項
1	2017年4月11日（火）	1. 審議事項 1) 2017年度看護栄養学研究科活動目標について 2) 2017年度看護栄養学研究科開講科目一覧（栄養）について 3) 2017年度看護栄養学研究科開講科目一覧（看護）について 2. 報告事項 1) 2017年度校務分掌・委員会一覧について 2) 2017年度会議日程について 3) 2017年度看護学専攻研究計画審査及び発表会の実施について 4) 2016年度看護栄養学研究科活動報告について 5) 2017年度入学生の研究指導教員について 6) 休学者について
2	2017年5月10日（水）	1. 審議事項 1) 2017年度看護学専攻学位論文研究計画書の審査及び指導教員について 2) 2017年度特別講師の委嘱について 3) 2018年度看護栄養学研究科学生募集要項について 4) 2017年度非常勤講師の委嘱取消について 2. 報告事項 1) 2017年度看護学専攻広報活動について 2) 2017年度栄養管理学専攻広報活動予定について 3) 2017年度栄養管理学専攻FD研修会について
3	2017年6月14日（水）	1. 審議事項 1) 2017年度非常勤講師の委嘱について 2. 報告事項 1) 2017年度看護学専攻研究計画書審査及び発表会の実施について 2) 2017年度栄養管理学専攻博士前期課程並びに 博士後期課程学位論文研究計画書について 3) 2017年度看護学専攻学位論文研究計画発表会並びに 栄養管理学専攻学位論文中間発表会の開催について 4) 規程の一部改正について
4	2017年7月11日（火）	1. 審議事項 1) 2017年度看護学専攻学位論文研究計画書の審査及び指導教員について
書面	2017年8月22日（火）	1. 審議事項 1) 2017年度非常勤講師の委嘱について
5	2017年9月12日（火）	1. 審議事項 1) 2017年度特別講師の委嘱について 2) 2017年度実習指導教員の委嘱について 2. 報告事項 1) 論文研究計画書審査願の変更について
臨時	2017年10月25日（水）	1. 審議事項 1) 2018年度一般入学試験（前期）の合否判定について 2) 2017年度学位論文関連スケジュールについて
6	2017年11月15日（水）	1. 審議事項 1) 2017年度看護学専攻課題研究論文（保健師コース）の主査及び副査について 2) 2019年度入学試験日程について 2. 報告事項 1) 2017年度看護学専攻FD研修会について
7	2017年12月12日（火）	1. 審議事項 1) 学位論文発表会（保健師コース）の開催について 2) 2017年度学位論文提出予定者の副査選出について 3) 2018年度専任教員の新規担当科目について 4) 2018年度非常勤講師の委嘱について 5) 2018年度学事暦（案）について 6) 2019年度入学式日程等について
8	2018年1月10日（水）	1. 審議事項 1) 2018年度学事暦の変更について 2) 2018年度専任教員の新規担当科目について 3) 2018年度非常勤講師の委嘱および取消について 4) 2018年度特別講師の委嘱について
臨時	2018年1月24日（水）	1. 審議事項 1) 2018年度一般入学試験（後期）の合否判定について 2) 2017年度学位論文提出者の主査・副査について 3) 学位論文発表会（栄養管理学専攻博士前期課程）の開催について 4) 2018年度非常勤講師の委嘱および取り消しについて 2. 報告事項 1) 2017年度学位論文関連スケジュール（栄養管理学専攻博士前期課程）の変更について

回	開催年月日	審議・報告事項
臨時	2018年2月27日（火）	1. 審議事項 1) 2017年度修了判定について 2) 2018年度長期履修学生申請の許可について 3) 2018年度非常勤講師の委嘱及び変更について 2. 報告事項 1) 2017年度看護栄養学研究科学位論文審査報告書について 2) 2017年度年報（自己点検・評価報告書）について 3) 2018年度専任教員の新規担当科目（看栄研）について 4) 2018年度専任教員の新規担当科目（看護）について 5) 2018年度専任教員の新規担当科目（栄養）について 6) キャンパス整備に係る大学院の学習環境の調整検討について
9	2018年3月16日（金）	1. 審議事項 1) 2019年度入試日程の一部変更について 2) 2018年度看護栄養学研究科目標について 3) 教職課程履修規程の一部改正（案）について 2. 報告事項 1) 教員の退職について

助産研究科教授会

回	開催年月日	審議・報告事項
1	2017年4月12日（水）	1. 審議事項 1) 2018年度助産研究科学生募集要項について 2. 報告事項 1) 2017年度校務分掌・委員会一覧について 2) 休学・復学・退学の許可について 3) 2017年度 イースターの集い、および今後の宗務行事の予定について 4) 2017年度 合唱コンクールの実施について 5) 2017年度 学校医（内科医・精神神経科医）について 3. 意見聴取事項 なし
2	2017年5月17日（水）	1. 審議事項 1) 2017年度非常勤講師の委嘱について 2. 報告事項 1) 2017年度日本カトリック大学連盟総会について 2) 消防訓練について 3) 将来構想の今後の進め方について 3. 意見聴取事項 なし
3	2017年6月8日（木）	1. 審議事項 なし 2. 報告事項 1) 規程の一部改正について 3. 意見聴取事項 1) 教員間の授業参観の試行について
4	2017年7月21日（金）	1. 審議事項 1) 助産研究科入学試験合否判定基準の一部改正について 2. 報告事項 なし 3. 意見聴取事項 なし
5	2017年9月20日（水）	1. 審議事項 1) 2017年度助産教育分野の修了判定について 2. 報告事項 1) 2017年度後期宗務行事予定について 2) 2017年度第2回FD研修会の開催について 3) 休学・退学の許可について 4) 2017年度特別研究費の採択状況について 3. 意見聴取事項 なし
臨時	2017年9月27日（水）	1. 審議事項 1) 2018年度助産基礎分野推薦入学試験の合否判定について 2. 報告事項 なし 3. 意見聴取事項 なし
6	2017年10月11日（水）	1. 審議事項 なし 2. 報告事項 1) 2017年度クリスマス関連行事の予定について 2) 休学の許可について 3. 意見聴取事項 なし
臨時	2017年10月25日（水）	1. 審議事項 1) 2018年度助産研究科入学試験（前期）の合否判定について 2. 報告事項 1) 退学の許可について 3. 意見聴取事項 なし
7	2017年11月15日（水）	1. 審議事項 1) 2019年度入学試験日程について 2) 2018年度追加学生募集について 2. 報告事項 1) 2017年度教職員修養会について 3. 意見聴取事項 なし
8	2017年12月13日（水）	1. 報告事項 1) 2018年度非常勤講師の委嘱について 2. 報告事項 1) 2018年度日本助産評価機構の評価申請に係る「点検・評価報告書」作成について 3. 意見聴取事項 なし

回	開催年月日	審議・報告事項
臨時	2018年1月10日（水）	1. 審議事項 1) 2018年度教員体制について 2. 報告事項 なし 3. 意見聴取事項 なし
9	2018年1月24日（水）	1. 審議事項 1) 2018年度助産研究科入学試験（後期）の合否判定について 2) 2018年度非常勤講師の委嘱について 2. 報告事項 1) 2017年度2月以降の宗務行事予定について 2) 2017年度年報の作成および活動報告会の開催について 3) 退学の許可について 3. 意見聴取事項 1) 教員の採用に係る募集大綱について 2) 2018年度教員の採用について
10	2018年2月21日（水）	1. 審議事項 1) 2018年度天使大学大学院助産研究科学事暦(案)について 2) 2018年度非常勤講師の委嘱について 2. 報告事項 1) 2017年度卒業証書・学位記授与式実施要領について 3. 意見聴取事項 1) 2018年度臨床専任教員の雇用契約更新について
臨時	2018年2月28日（水）	1. 審議事項 1) 2017年度修了判定について 2. 報告事項 1) 専任教員の所属替えについて 2) 学長候補者の決定について 3) 2018年度研究科長等の決定について 4) 教員の昇任について 5) 臨床専任教員の雇用契約の更新について 6) キャンパス整備に係る大学院の学習環境の調整検討について 3. 意見聴取事項 なし
11	2018年3月15日（木）	1. 審議事項 1) 2019年度入試日程の一部変更について 2) 2018年度非常勤講師の委嘱について 3) 2018年度科目等履修生の受入れについて 4) 2018年度授業科目開講期の一部変更について 2. 報告事項 1) 2018年度授業科目担当者について 2) 復学・退学の許可について 3) 教員の退職について 4) 教員の雇用について 5) 2018年度入学式の実施要領について 6) 自衛消防訓練について 3. 意見聴取事項 なし

XII. 委員会構成一覧

2017年度校務分掌 委員会一覧

2017.4.1

教育研究評議会	学長、看護栄養学研究科長、助産研究科長、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、図書館長、宗務部長、教務部長、学生部長、事務局長、助産研究科教務委員長
---------	--

教授会	学長、看護学科：菅原・佐藤(昇)・本宿・蝦名・吉田、栄養：進藤・菊池・山口・佐藤(香)・山部、 教養：田島・堀井・川口
-----	--

【看護栄養学部関係】

◎看護学科長：佐藤昇子 ◎栄養学科長：山口敦子 ◎教養教育科長：川口雄一

区分	委員会名	委員長	委員	人数	任期	事務局
常設委員会	教務委員会	川口	教務部長：川口、看護学科長、栄養学科長、(教養教育科長)、 教職課程委員長、看護：大野、栄養：吉田(真)、教養：日時	8	2年	学務課
	学生委員会	勝野	学生部長：勝野、看護：高橋・田中(さ)、栄養：西・岩淵、教養：田島	6	2年	学務課
	宗務委員会	和田	宗務部長：和田、司祭：スレイマン、看護：澤田・臺野、 栄養：勝野・長谷川、教養：小原、助産：三浦、事務局：菊池	9	2年	学務課
	図書情報委員会	菊池	図書館長：菊池、看護：伊藤・小澤、栄養：清水・志賀、教養：田島、 助産：村上、図書情報課長	8	2年	図書情報課
	入試委員会	武蔵	看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、看護：針金、栄養：金澤、 教養：(川口)、入試：広報室長	7	2年	入試 広報室
	広報委員会	菅原	看護：菅原・木津・若山、栄養：岡部・峯岸、教養：日時、 入試：広報室長	7	2年	入試 広報室
	自己点検評価委員会	山部	看護栄養学研究科長、助産研究科長、看護学科長、栄養学科長、 教養教育科長、看護：吉田(礼)、栄養：山部、教養：川口、 助産：園生、事務局長	9	2年	総務課
	FD委員会	佐藤(香)	看護：谷、栄養：佐藤(香)・金澤、教養：(川口)(8/1～鹿内)、 助産：津田	5	2年	総務課
	学術振興委員会	堀井	看護：柴田、栄養：西、教養：堀井、助産：和田	5	2年	図書 情報課
	地域連携等委員会	本宿	看護：本宿・佐々木、栄養：長谷川、教養：小原、助産：今崎	5	2年	学務課
	就職委員会	清水	看護：前田、栄養：岡部、清水、教養：新井	4	2年	学務課
	教職課程委員会	新井	教職科目担当：山部、川口、(8/1～鹿内)、岩淵、新井	5	2年	学務課
	研究倫理委員会	堀井	助産研究科長、看護栄養学研究科長、学長指名：吉田(礼)、鈴木、 堀井、岩間、〔学外：小野滋男、久々湊晴夫〕	8	2年	財務室
	キャンパス・ハラスメント 対策委員会	蝦名	学生部長、看護：蝦名、栄養：山部、教養：田島、助産：和田、 事務局長、職員：平野	7	2年	総務課
	病原体等安全管理委員会	菊池	専門：菊池・岩淵、感染予防：武蔵、学校医：西村	4	2年	財務室
国際交流委員会	学長	学長、教務部長、学生部長、栄養：岡部、看護：臺野、教養：川口、 看栄研：鈴木、助産：津田、事務局長	9	2年	総務課	
特設	学生懲戒委員会	その都度	学生部長、看護：、栄養：、教養：、助産：	5	2年	学務課
時限	カリキュラム検討委員会	武蔵	学長、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長(教務部長)、 事務局次長：梅村、学長指名：看護 菅原・大野、 栄養 吉田(真)、宗務部長、教養 日時	10	2年	学務課

名 称	構 成 員
看護:学生支援教員	1年:○木津(秋山)、柴田、前田、小澤、新関、伊織、田中(裕) 2年:○澤田(芦名)、伊藤、谷、横山、中洞、加藤 3年:○若山(中山)、針金、臺野、田中(さ)、矢萩 4年:○高橋(鈴木)、本宿、蝦名、大野、佐々木、重岡 ※ ()はリーダー補佐
栄養:学生支援教員	1年:○岡部、山部、勝野、西、丁 2年:○岩淵、菊池、長谷川、松下、金 3年:○金澤、佐藤、進藤、鈴木、池田 4年:○峯岸、吉田、清水、志賀、高桑 ※ ○はリーダー(看護・栄養共通)

名 称	リーダー	構 成 員
ヘルスケア実践開発プロジェクト	山口	看護:菅原・谷・佐々木 栄養:山口・清水・高桑 助産:今崎

名 称	構 成 員
後援会講演ワーキング	看護:蝦名・新関、栄養:岩淵・松下、教養:小原 事務局:総務課

【大学院看護栄養学研究科関係】

◎研究科長:進藤正信 ◎看護学専攻主任:吉田礼維子 ◎栄養管理学専攻主任:鈴木純子

【大学院助産研究科関係】

◎研究科長:園生陽子			
区分	委員会名	委員長	委 員
委員会等	研究科会議	研究科長	研究科教員
	教務委員会	園生	(講義基礎)今崎、(講義教育)園生、(実習)津田、(学生・就職)今崎三浦、村上
	入試広報委員会	今崎	園生、津田

【理事会関係】

区分	委員会名	委員長	委 員	人数	任期	事務局
常設機関	運営連絡会	理事長	学長、副理事長(2名)、常務理事(総務担当理事)、財務担当理事、カトリックセンター長、研究科長(2名)、看護学科長、栄養学科長、宗務部長、監事:土産田、学内評議員:菅原、園生、岩間、()	13	1年	総務課
	将来構想委員会	理事長	学長、総務担当理事、財務担当理事、宗務部長、図書館長、研究科長(2名)、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、事務局長、理事長指名:松岡理事、本間理事、梅村次長、不動次長	15	1年	総務課
	中期計画検討小委員会	学長	学長、図書館長、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、看護:柴田、栄養:清水、教養:日時、事務局長、梅村次長、不動次長	10	1年	総務課
	苦情処理委員会	互選	理事長指名: 理事3名、教職員2名、学外者1名	6		総務課
	懲戒委員会	理事長指名		5		総務課
	ハラスメント防止委員会	互選	理事:小川、本間、松岡、菅原 教員:本宿、堀井 職員:不動	7	2年	総務課
	個人情報保護委員会	互選	理事長、学長、常務理事、理事(理事会選出)菅原、事務局長	5	1年	総務課
	衛生委員会	学長	産業医:中村、衛生管理者:不動、保健師:亀田、看護:小澤、栄養:山部、教養:田島、事務局:豊島	7	2年	財務室

名 称	センター長	構 成 員	人数	任期	事務局
カトリックセンター	理事長任命	センター長:和田、司祭:スレイマン、常務理事:小川、宗務教育担当教員:小原	4 (3)	2年	学務課

XIII. 委員会の活動報告

2017年度 教務委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：川口雄一 委員：佐藤昇子、山口敦子、新井英志、大野和美、吉田真弓、目時光紀</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>12回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度専任教員の新規担当科目について ・2017年度定期試験・評価日程について ・2017年度定期試験・追試験・再試験監督要領について ・2017年度卒業判定および進級判定について ・2017年度および2018年度既修得単位の認定・単位授与について ・2018年度学事暦について ・2018年度講師会の開催について ・2018年度在学生ガイダンスについて ・2018年度新入生オリエンテーションについて ・2018年度時間割編成のガイドライン・編成条件について ・2017年および2018年度特別講師の委嘱について ・2017年および2018年度非常勤講師の委嘱、変更および取消しについて ・2017年および2018年度実習指導教員の委嘱、変更および取消しについて ・研究生の受入れについて ・科目等履修生の受入れについて ・必修科目の自動登録について ・追実習の許可について ・復学決定のプロセスについて ・栄養学科3年生実習科目の履修判定について ・看護学科2・3年生実習科目の履修判定について ・出校停止に係る授業の出欠手続きについて ・「栄養教育論Ⅰ」の担当教員および評価時期の変更について ・キャンパス整備に係る2018年度および2019年度の大学行事等について ・「天使大学非常勤講師等の講義料等に関する申合せ」の改正案について ・「天使大学学則」、「履修規程」および「教職課程履修規程」の一部改正案について ・「授業料等取扱規程」の一部改正案について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度教務委員会活動計画・予算について ・2018年度授業概要の作成について ・新入生（履修）ガイダンス等について ・定期試験におけるアクシデント等について ・看護学科 中間試験の実施状況について ・復学予定者に対する事務手続きについて 	

2017年度 カリキュラム検討委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：武蔵学 委員：武蔵学、佐藤昇子、山口敦子、川口雄一、菅原邦子、和田サヨ子、 吉田真弓、大野和美、目時光紀、梅村直基</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>10回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディプロマポリシーのDPごとの説明文について ・ディプロマポリシーと4つのレベル案の確認について ・現行カリキュラムの課題について ・再課程認定のための新教育課程（案）と課題解決策等について ・学生定員の見直しについて <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護学教育モデル・コア・カリキュラム説明会の報告について 	

2017年度 学生委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：勝野由美子 委員：高橋順子、田中さおり、西隆司、岩渕絵里子、田島忠篤</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>10回（2018年3月7日現在）</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度 役割分担について ・2017年度 学生部長不在時の代理について ・2017年度 合唱コンクールについて ・2017年度 天使祭について ・2017年度 海外研修について ・2017年度 体育祭について ・2017年度 葦の会役員と学生委員会の交流会について ・2017年度 葦の会役員 リーダー研修会について ・2018年度 活動計画書について ・2018年度 予算について ・2017年度 年報（学生委員会部分）について ・「2017年度 学生生活についての調査」について ・2018年度 アッセンブリー・アワー（学生委員会担当プログラム）について ・2018年度 学校医（内科医・精神神経科医）の委嘱について ・2018年度 危機管理マニュアルについて <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度 クッキングライブの実施報告について ・2017年度 オフィスアワーについて ・第1回学生総会の実施報告について ・2017年度 葦の会役員、部活動、クラス委員について ・2016年度 海外研修旅行実施報告について ・アッセンブリー・アワー実施報告について ・本学学生の不審者との遭遇について ・部の新設、顧問（教員）の交代について ・天使大学後援会・同窓会におけるクラブ活動およびボランティア活動への助成費の取扱いについて ・葦の会役員選挙の進捗状況について ・萌芽の進捗状況について ・葦の会役員 次年度の役職について ・2016年度 学生相談室・保健相談室活動報告書について ・保健相談室報告 ・学生相談室報告 	

2017年度 宗務委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：和田サヨ子、ケン・スレイマン 委員：澤田優美、臺野美奈子、勝野由美子、長谷川めぐみ、 三浦恵津子、小原琢、菊池 史恵 事務局：学務課（渡邊泰央（第2回委員会（5/18）まで担当）、西村和奈）</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>7回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イースターの集い ・聖堂の生花 ・カトリック医療関連学生セミナー ・毎週のミサ ・クリスマスの集い ・死者追悼のミサ ・教職員修養会 ・2018年度宗務委員会活動計画・予算 ・新年のミサ ・退職する教職員のための感謝ミサ ・修了・卒業感謝のミサ ・自己点検評価報告書 <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出会いと親睦のゼミ ・チャペルアワー ・フランシスコ・ボランティアキャンプ？※委員会内で詳細審議 ・退職者の後任人事 ・修養会 ・クリスマスオリエンテーション ・「学部教授会」、「教育研究評議会」、「将来構想委員会」、「学園運営連絡会」への報告 	

2017年度 図書館情報委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：菊池直哉 委員：小澤涼子、伊藤治幸、清水真理、志賀一希、田島忠篤、三浦恵津子、平野敦子 計8名</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>10回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後援会助成図書選定について(8回) ・購入希望図書の選定について(2回) ・2017年度図書資料費予算配分について ・JDream III、医中誌 Web 版の契約について ・「日本透析医学会雑誌」の購読について ・継続購入図書及び加除式資料等の見直しについて ・国立研究開発法人 科学技術振興機構 抄録情報等利用許諾について ・休学者の図書館及び情報処理室の利用について ・各種ガイドラインの一括展示(配架)について ・天使祭一般開放時の展示及び記念グッズの配布について ・電子化されている紀要について ・老朽集密書架対策としての和洋混配について ・院生学習室配架製本洋雑誌の処理について ・学内 LAN 掲示板の更新(リニューアル)について ・学内 LAN 掲示板検討チームの検討状況について ・2017年度後期開閉館予定表(案)について ・雑誌の製本時期の変更について ・北海道新聞データベースの導入について ・図書館資料及びDBに関する課題と対策について ・平成29年度 ICT 利用による教育改善研究発表会について ・教育改革 ICT 戦略大会の案内について ・2018年度洋雑誌継続購読の可否について ・2018年度購読継続和雑誌の継続可否について ・2018年度図書館及び情報処理室の活動計画案及び予算案、図書資料費予算配分案について ・2018年度活動計画案における図書館管理システム及び情報システム、ネットワーク等の更新について ・新着雑誌等の配架方法(配列)の変更について ・2018年度前期開閉館予定表(案)について ・医書.jpの無料トライアルについて 2017年度補正予算書の提出について ・電子著作物相互利用事業への参加及び相互利用システムの利用について ・使用できなくなった視聴覚資料及び電子化に伴う紀要冊子体の処理について ・過年度登録済研究費図書の処理について ・2017年度図書資料費による最終選定について ・2017年度年報：自己点検・評価報告書—X. 図書館, XI. 情報処理システム— <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館利用規程案に関する教育研究評議会の結果報告 ・2016年度蔵書点検結果報告 ・2016年度図書資料費執行状況(結果報告) ・2017年度図書資料費執行状況 2018年度サーバ、ネットワーク更新予算について ・学内 LAN 掲示板への掲載資料について ・天使祭報告 ・文献複写等の受付について ・Web of Science について 	

2017年度 入試委員会活動報告

委員会組織	委員長：武蔵学 委員：佐藤昇子、山口敦子、川口雄一、針金佳代子、金澤康子、鈴木敏郎 <div style="text-align: right;">計7名</div>
委員会開催数	14 回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生募集要項（学部・指定校推薦入学試験・栄養学科編入学試験）について ・ 入学試験出題者について ・ 広報資料「天使大学入学試験に関する情報開示」について ・ 2018年度入学試験問題作成委員会（一般、推薦・社会人、3年次編入学）について ・ 2018年度大学入試センター試験全体説明会の日程について ・ 公募制推薦・社会人入学試験担当者の教養教育科への依頼について ・ 東日本大震災および熊本地震に被災した受験者への対応について ・ 一般入学試験学外作成者等への委嘱年限について ・ 合否判定書類について ・ 2018年度 公募制推薦・社会人入学試験、栄養学科編入学試験の小論文試験問題について ・ 2019年度入学試験日程について ・ 2018年度 推薦入学試験、社会人入学試験、栄養学科編入学試験について ・ 入学手続要項（案）について ・ 2018年度推薦入学試験、社会人入学試験、栄養学科編入学試験 合否判定について ・ 2018年度推薦入学試験、社会人入学試験、栄養学科編入学試験の点検評価について ・ 2018年度入試委員会 活動計画について ・ 2018年度入試委員会予算について ・ 2018年度一般入学試験、大学入試センター試験利用入学試験について ・ 入試委員長代理について ・ 入試に関する「不測の事態」等の危機管理体制について ・ 追加合格決定のプロセスについて ・ 2018年度一般入学試験学科試験 得点調整について ・ 2018年度一般入学試験（看護学科・栄養学科）合否判定について ・ 2018年度大学入試センター試験利用入学試験（看護学科・栄養学科）合否判定について ・ 2018年度一般入学試験、大学入試センター試験利用入学試験、大学入試センター試験の点検評価について ・ 2017年度年報（入試委員会関係部分）について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2017年度入試委員会 活動計画について ・ 2017年度入試委員会予算について ・ 2017年度入試問題の著作権処理について ・ 2017年全国大学入学者選抜研究連絡協議会大会について ・ 2018年度入学試験日程について ・ 「2018年度入学試験における感染症（インフルエンザ等）への対応」のwebを通じた告知について ・ 2017年度一般入学試験問題 事前・事後チェックの業務委託契約書について ・ 天使大学個別選抜改正に関する検討課題について ・ 平成32年度からの大学入学共通テストの導入に伴う平成30年度プレテストの実施日程について ・ 2018年度大学入試センター試験について 	

2017 年度 広報委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：菅原邦子 委員：木津由美子、若山好美、岡部哲子、峯岸夕紀子、目時光紀、鈴木敏郎 計7名</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>10 回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017 年度高校訪問について ・2017 年度出張講義について ・進学相談会・校内ガイダンスについて ・教職員への協力要請について ・2017 年度広報活動のための学内勉強会について ・新入生アンケートについて ・2017 年度大学院看護栄養学研究科の広報計画について ・2017 年度オープンキャンパスについて ・2019 年度大学案内の作成方針について ・2017 年度第 1 回オープンキャンパスの振り返り ・2017 年度第 2 回オープンキャンパスについて ・2017 年度第 3 回オープンキャンパスについて ・2019 年度大学案内（2018 年度発行）の制作内容について ・次年度大学案内変更箇所について ・2017 年度 第 2 回オープンキャンパスの振り返り ・2018 年度オープンキャンパスの日程について ・学報の内容について ・今年度の今後の広報活動について ・大学見学者の対象別企画案の検討 ・今年度の今後の広報活動について ・大学見学者の対象別企画案の検討 ・2018 年度以降 web サイト制作・管理業者の選定について ・2018 年度広報委員会予算方針について ・2018 年度オープンキャンパスプログラムの内容検討について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017 年度前期学報の進捗について ・本学学生への大学院説明会について ・2018 年度大学案内（2017 年 6 月発行）進捗について ・2017 年度活動計画・予算、2016 年度点検評価の確認 ・編入学生の募集停止について 	

- ・札幌ウェブシステムの更新について
- ・周年事業の広報活動について
- ・大学案内用の封筒、不織布バックについて
- ・札幌市地下歩行空間資料配布会について
- ・オープンキャンパスについて
- ・本学 web サイトへの投稿等に関する対策
- ・出張講義の参加対象について
- ・大学院説明会実施報告
- ・2017 年度広報活動のための学内勉強会実施報告
- ・広報委員会広報活動電子媒体と手続きについての配信報告
- ・学報 23 号進捗状況報告
- ・大学案内校了報告
- ・事務職員高校訪問勉強会実施報告
- ・札幌地下歩行空間大学案内資料配布会実施報告
- ・大学案内納品報告
- ・学報 23 号納品報告
- ・北海道ジェイ・アール都市開発とアンジェリーク・コアについての意見交換について
- ・広報活動の際の在学生情報について
- ・アンジェリーク・コアについて
- ・第 3 回オープンキャンパスにおける学生トークライブの人選依頼について
- ・大学WEB サイト管理事業者の選定について
- ・出張講義及び進学相談会担当者について
- ・女子寮（アンジェリーク・コア）の呼称変更について
- ・大学案内人選依頼
- ・大学WEB サイト管理事業者の選定について
- ・出張講義及び進学相談会担当者について
- ・大学案内および学報の進捗状況
- ・大学案内・学報の進捗状況について
- ・web サイト進捗状況について
- ・2018 年度広報委員会予算の訂正について
- ・高大連携プログラム（北星学園女子中等高等学校）について

2017年度 自己点検評価委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：山部秀子 委員：進藤正信、園生陽子、佐藤昇子、山口敦子、川口雄一、吉田礼維子、 岩間久哉 計7名</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>2回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点検・評価報告書の内容の確認について ・点検・評価報告書作成に係る役割分担の確認について ・2018年度点検評価報告書内容精査の分担について 	

2017年度 FD委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：佐藤 香苗 委員：谷 規久子（6月まで）、坂倉 恵美子（7月から）、金澤 康子、川口 雄一（7月まで）、鹿内 信善（8月から）、津田 万寿美</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>9回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度第1回FD研修会について ・2017年度第2回FD研修会開催日およびテーマの希望調査について ・2017年度第2回FD研修会について ・2017年度の学生による授業評価アンケートについて ・学生による授業評価アンケート結果の研究利用について ・2016年度の学生による授業評価アンケート結果の利用可否について ・授業評価アンケート自由記載ならびに結果全体に対するコメントへの質問対応について ・授業評価アンケート自由記載ならびに結果全体に対するコメントへの質問受付のためのフォーマットについて ・2017年度授業評価アンケート報告書について ・教員間の授業参観の試行について ・教員間の授業参観報告書について ・2017年度年報用資料について ・2018年度事業計画及び予算案について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度活動計画および予算について ・看護学科FD委員の交代について ・教養教育科FD委員の交代について ・第2回FD研修会の教授会提案書について ・第1回FD研修会の参加者数とアンケート結果について ・第2回FD研修会の参加者数とアンケート結果について ・学生による授業評価アンケート結果の研究利用について ・学生による授業評価アンケート集計表への科目責任者非常勤講師に対するコメント記入依頼文書について ・前期授業評価アンケート集計結果に対する学生からの質問等について ・前期授業評価アンケートの今後の予定について ・後期授業評価アンケートの今後の予定について ・教員間の授業参観の希望受付に係るアナウンスについて ・教員間の授業参観の申し込み状況について ・教員間の授業参観の実施状況について 	

2017年度 学術振興委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：堀井 泰明 委員：柴田 和恵、西 隆司、和田 サヨ子 計4名</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>8回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度委員会運営について ・2017年度講演会等の企画について ・紀要投稿規程改正案について ・紀要第18巻第1号の原稿募集について ・紀要第18巻第1号の投稿申込みについて ・紀要第18巻第1号の投稿状況と倫理的配慮に関する取扱いについて ・紀要第18巻第2号の原稿募集について ・2017年度講演会等の第2回企画について ・第2回企画検討 ・「天使大学紀要」投稿規程の見直しについて ・執筆要領の見直しについて ・紀要第18巻第1号の査読委員について ・紀要第18巻第1号、第2号の査読委員について ・2017年度特別研究費による研究報告会の開催について ・天使大学紀要の原稿募集時期等の見直しについて ・紀要第18巻第1号の査読結果について ・2018年度活動計画策定のための課題整理について ・2017年度年報：自己点検・評価報告者「IV. 研究活動・研究環境」について ・2017年度委員会報告案 ・特別研究費による研究報告会の役割分担について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科研費獲得のための講習会について ・紀要第17巻第2号の査読後修正原稿について ・紀要第17巻第2号掲載決定原稿について ・紀要第18巻第2号の応募状況について ・札幌学院大学 室橋春光教授 講演会アンケート結果について ・2017年度特別研究費による研究報告会の案内について：修正版 ・紀要第18巻第1号の査読について ・紀要第18巻第2号の原稿について ・紀要第18巻第2号の査読状況について ・審査留意事項の取り扱いについて 	

2017年度 地域連携等委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：本宿美砂子 委員：佐々木雅彦・長谷川めぐみ・小原琢・今崎裕子</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>7回、書面審議1回（2018年3月7日現在）</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度地域連携等委員会役割分担について ・2017年度委員長不在時の委員長代理について ・2017年度地域連携事業活動の把握と報告書について ・2017年度天使大学・北海道薬科大学連携公開講座実施計画について ・2017年度ひがしく健康・スポーツまつり実施計画について ・第15回東区健康づくりフェスティバル講話内容について ・2017年度北海道薬科大学との連携事業「夕張地域医療体験」実施要項について ・2018年度活動計画および予算について ・2018年度天使大学・北海道科学大学連携公開講座の実施について ・2017年度年報 自己点検・評価報告書について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2016年度地域連携事業活動報告書について ・2017年度活動計画および予算について ・2017年度区役所と天使大学との年間連携事業について ・2017年度東区5者連携事業について ・「札幌大谷大学層雲峡の鮭プロジェクト」の協力依頼について ・2017年度天使大学・北海道薬科大学連携公開講座実施報告について ・2017年度天使大学・北海道薬科大学連携公開講座意見交換会実施報告について ・2017年度「ひがしく健康・スポーツまつり」実施報告について ・第15回東区健康づくりフェスティバル実施報告について ・「夕張地域医療体験」実施報告について ・2018年度からの北海道薬科大学との連携協定について 	

2017年度 就職委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：清水真理 委員：前田朝子、岡部哲子、新井英志</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>11回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長不在時の委員長代理について ・2017年度役割分担について ・インターンシップ参加学生の保険について ・就職ガイダンス・セミナーの実施について ・就職相談室ニュース第1～3号の発行について ・求人開拓パンフレット「採用ご担当者の皆様へ」の発行について ・学内選考フローチャートについて ・2016年度「就職活動と就職支援に関する調査」について ・2016年度卒業・修了生の就職状況調査について ・就職活動ガイドブック2018年度版の発行について ・2018年度活動計画・予算について ・2017年度自己点検評価について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度活動計画及び予算内訳見積書について ・就職内定状況・就職活動支援状況等の報告について ・就職ガイダンス・セミナー報告について ・学内企業説明会報告について ・求人訪問対応報告について ・出張関係について ・教員採用検査のための1次直前ゼミ・2次対策ゼミ、第2次選考のための特別ゼミの実施状況について ・教員採用試験対策春期ゼミの開催及び出席状況について ・学校インターンシップの実施状況について ・学長への就職内定状況等の報告について ・2016年度就職先への礼状発送について ・2016年度卒業・修了生の就職状況調査送付及び調査結果について ・就職相談室資料整理のためのアルバイトの雇用について ・病院・施設等への求人依頼の発送について ・2016年度「就職活動と就職支援に関する調査」について ・2018年度就職活動支援について ・2018年度就職ガイダンス・セミナーの実施について ・就職活動ガイドブック2018年度版の校正について 	

2017年度 教職課程委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：新井英志 委員：川口雄一、鹿内信善、山部秀子、岩渕絵里子</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>12回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教職課程再課程認定申請について 2. 非常勤講師および特別講師の委嘱について 3. 教員免許状更新講習について 4. 科目等履修生（教職課程）の受入れについて 5. 教職課程履修規程の改正について 6. 2017年度教職課程修了判定について 7. 2018年度教育実習履修判定について 8. 2018年度科目担当者について 9. 2018年度予算および活動計画書について 10. 2018年度教職課程履修の手引きについて 11. 2018年度新入生オリエンテーションについて <p>[主な報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2017年度活動計画書および予算について 2. 2017年度教職課程履修者数および教職課程履修取消届について 3. 2017年度ホームページの更新について 4. 2017年度インターンシップについて 5. 2018年度非常勤講師および特別講師の委嘱手続きについて 6. 教員採用試験結果について 7. 平成30年度教員採用選考検査のための対策ゼミについて 8. 平成30年度教育実習に係る説明会について 9. 教職課程夏期・春期ゼミナールについて 	

2017年度 研究倫理委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：堀井泰明 委員：園生陽子、進藤正信、吉田礼維子、鈴木純子、岩間久哉、 小野滋男（学外委員）、久々湊晴夫（学外委員）</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>7回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書類提出締切日、審査の段取り、委員会開催日について ・研究計画の倫理審査（審査件数 21 件） ・院生が代表となる場合の連絡先の記載の仕方について ・市町村長宛ての研究協力依頼文等について ・2018 年度予算について ・2018 年度活動計画について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学における研究計画の倫理審査手続きに関する説明会開催について ・倫理審査終了後の研究計画等の変更届について ・国の新倫理指針に合わせた本委員会の新規程について 	

2017年度 キャンパス・ハラスメント対策委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：蝦名美智子 委員：山部秀子、勝野由美子、田島忠篤、和田サヨ子、平野敦子、岩間久哉 計7名</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>3回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長代理の選任について ・講演会の開催について ・「気が付かないうちに言葉で傷つけていませんか? (仮)」講演会について ・2018年度活動計画書及び予算について ・2018年度アッセンブリーアワーの日程について ・規定の改正案について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度予算について ・2017年度相談窓口の周知について ・ガイドラインの配布について ・講演会の開催について 	

2017年度 国際交流委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：武蔵学 委員：川口雄一、勝野由美子岡部哲子、葺野美奈子、鈴木純子、津田万寿美、岩間久哉</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>3回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際交流委員会が所管する学内の国際交流事業の確認について ・国際交流委員会委員長補佐の指名について ・今後の検討事項について ・2018年度国際交流委員会活動計画書及び予算（案）について ・第1回国際交流委員会議事録（案）について ・日・韓カトリック看護系大学による協議会への対応について ・2017年度年報用資料について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助産研究科のこれまでの国際交流について 	

2017年度 ヘルスケア実践開発プロジェクト活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>リーダー：山口敦子 委員：武蔵学、今崎裕子、菅原邦子、谷 規久子、佐々木雅彦、清水真理 高桑暁子、岩間久哉</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>3回、他メールでの紙面審議2回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・札幌市東区「すこやか倶楽部」について ・天使大学「子育てサロン」について ・認知症サポーター養成講座について ・独居老人へのサポート事業について ・活動計画等について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・札幌市東区「すこやか倶楽部」の実施内容、報告 ・天使大学「子育てサロン」の実施内容、報告 ・認知症サポーター養成講座の実施内容、報告 ・独居老人へのサポート事業についての実施内容、報告 	

XIV. 図書館利用状況

2017年度入館者統計

学科・学年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
看護学科	1,259	1,267	2,360	1,727	960	1,621	2,286	1,355	1,123	1,328	520	103	15,909
栄養学科	550	728	1,114	929	207	490	593	432	489	564	318	60	6,474
助産研究科	187	118	76	39	51	40	85	28	41	48	42	17	772
看護学専攻	50	71	50	41	28	29	33	45	40	8	36	18	449
栄養管理学専攻	14	7	4	8	5	7	3	4	10	3	9	6	80
科目等履修生	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	3
教職員	193	232	221	140	134	146	174	139	136	192	151	142	2,000
学外者	27	41	44	23	29	28	19	31	15	17	12	6	292
合計	2,280	2,464	3,869	2,907	1,415	2,361	3,193	2,035	1,855	2,160	1,088	352	25,979

2017年度図書・視聴覚資料貸出統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
看護学科	512	566	1,001	510	445	678	891	599	444	282	124	51	6,103
栄養学科	184	333	521	264	116	237	267	168	206	91	75	18	2,480
助産研究科	110	81	39	29	41	27	54	18	8	6	9	12	434
看護栄養学 研究科	57	69	37	47	36	31	36	34	31	13	30	22	443
科目等履修生・研究生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教職員	85	105	97	63	74	68	94	74	69	65	67	48	909
学外者	2	15	18	6	11	9	10	9	5	3	2	3	93
合計	950	1,169	1,713	919	723	1,050	1,352	902	763	460	307	154	10,462

XV. 情報処理室の利用状況

年間利用状況

学科・学年 室	看護学科				看護 小計	栄養学科				栄養 小計	各室 計
	1年	2年	3年	4年		1年	2年	3年	4年		
4301室(日中)	1,195	1,851	2,599	3,152	8,797	802	2,869	5,073	2,448	11,192	19,989
4301室(夜間)	315	561	770	1,263	2,909	88	202	519	358	1,167	4,076
4302室(日中)	4,353	2,223	2,353	1,559	10,488	4,204	1,740	4,047	2,060	12,051	22,539
4302室(夜間)	1,067	523	708	515	2,813	1,363	350	625	300	2,638	5,451
総計	6,930	5,158	6,430	6,489	25,007	6,457	5,161	10,264	5,166	27,048	52,055

月別学科学年利用状況

学科・学年 月	看護学科				看護 小計	栄養学科				栄養 小計	各室 計
	1年	2年	3年	4年		1年	2年	3年	4年		
4	556	709	502	900	2,667	571	292	873	489	2,225	4,892
5	726	619	516	830	2,691	781	235	1,487	762	3,265	5,956
6	1,009	546	1,551	806	3,912	791	163	1,276	675	2,905	6,817
7	952	240	441	863	2,496	874	478	559	626	2,537	5,033
8	5	272	309	187	773	12	40	641	394	1,087	1,860
9	322	506	711	440	1,979	469	295	1,837	556	3,157	5,136
10	1,304	601	857	890	3,652	959	308	1,561	472	3,300	6,952
11	798	642	515	881	2,836	699	991	531	453	2,674	5,510
12	557	614	303	542	2,016	457	892	775	491	2,615	4,631
1	633	387	591	71	1,682	791	1,369	390	119	2,669	4,351
2	47	11	54	54	166	50	82	184	110	426	592
3	21	11	80	25	137	3	16	150	19	188	325
総計	6,930	5,158	6,430	6,489	25,007	6,457	5,161	10,264	5,166	27,048	52,055

XII. 施設・設備の状況

大学設置基準との対比

(単位：m²)

	本学の現有面積	大学設置基準面積	大学設置基準との差(基準外を除く)
校地面積	30,390	6,910	23,550
校舎面積	14,124	6,402	7,722

校舎内訳

	建設年	経過年数	面積(m ²)	備考
1号館	1976 (S51)	40	937.76	2階建
2号館	1995 (H 7)	21	707.43	2階建(耐震構造)
3号館	1963 (S38)	53	1,977.01	3階建(耐震補強済)
4号館	1971 (S46)	45	2,429.06	3階建(耐震補強済)
5号館	1980 (S55)	36	396.27	2階建
6号館	2000 (H12)	16	2,674.91	6階建(耐震構造)
7号館	2002 (H14)	14	2,330.13	4階建(耐震構造)
8号館	2004 (H 7)	12	1,855.69	4階建(耐震構造)
体育館	1976 (S51)	40	736.52	
中沼グラウンド更衣室	1992 (H 4)	24	79.38	平屋建
計	—	—	14,124.16	

学部・大学院研究科ごとの講義室、演習室等の面積・規模

学部・研究科	講義室・演習室・学生学習室等	室数	総面積(m ²)	専用・共用の別	収容人員(総数)	学生総数	在学生1人当り面積(m ²)	備考
看護栄養学部	講義室	12	1,519	共用	1,223	735	2.01	看護栄養学研究科と共用
	演習室	13	402	共用	245	786	0.52	大学院と共用
	学生学習室	2	288	共用	160	735	0.38	
看護栄養学研究科	講義室							
	学生学習室	2	370	共用	92	17	24.72	助産研究科と共用
助産研究科	講義室	2	227	専用	51	34	4.45	
	学生学習室	1	344	共用	82	51	3.96	看護栄養学研究科と共用
体育館		1	737					
講堂		1	737					

学部 of 学生用実験・実習室の面積・規模

分類	室名	収容人数	面積(m ²)	1人当り面積(m ²)
実験・実習室 (看護学科)	第1看護実習室	100	346	3.46
	第2看護実習室	10	41	4.10
	第3看護実習室	20	46	2.30
	第4看護実習室	10	23	2.30
	第5看護実習室	10	27	2.70
実験・実習室 (栄養学科)	理化学実験室	60	223	3.72
	生理学実験室・微生物学実験室	65	205	3.15
	動物実験室	5	6	1.20
	給食経営管理自習室・実習食堂	130	350	2.69
	第2臨床栄養実習室	60	386	6.43
	官能検査室	10	30	3.00
	食品・調理実験実習室(準備室含む)	60	250	4.28
	第1カウンセリング室	3	8	2.67
	第2カウンセリング室	3	9	3.00
	栄養教育実習室	60	155	2.58
	第1臨床栄養実習室	15	45	3.00
実験・実習室(共通)	和室	10	69	6.90
情報処理室	第1情報処理室	60	113	1.88
	第2情報処理室	56	138	2.46
計		747	2,470	3.32

大学院 of 学生用実験・実習室の面積・規模

分類	室数	総面積 (m ²)	収容人数 (総数)	収容人員1人 当りの面積(m ²)	使用研究科等	備考
実習室	17	2,227	624	3.32	看護栄養学研究科	看護栄養学部と共用
実習室	1	174	40	4.35	助産研究科	
計	18	2,401	664	3.37	—	—

XVII. 財務状況

貸借対照表関係の財務比率表

(%)

	分類	比率	評価	算式	本学園	他法人
1	自己資金は充実されているか	純資産構成比率	△	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	83.7	81.2
2		繰越収支差額構成比率	△	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	△2.5	△13.2
3		基本金比率	△	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	100.0	96.0
4		積立率	△	$\frac{\text{運用資産}}{\text{基本金要組入額}}$	117.8	80.7
5	長期資金で固定資産は賄われているか	固定比率	▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資金}}$	84.1	95.2
6		固定長期適合率	▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産} + \text{固定負債}}$	79.3	86.1
7	資産構成はどうか	固定資産構成比率	▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	70.4	77.4
8		有形固定資産構成比率	▼	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{総資産}}$	35.2	67.3
9		特定資産構成比率	△	$\frac{\text{特定資産}}{\text{総資産}}$	34.2	6.0
10		流動資産構成比率	△	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	29.5	22.5
11		減価償却比率（図書を除く）	～	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得額}}$	60.8	50.2
12	負債に備える資産が蓄積されているか	内部留保資産比率	△	$\frac{\text{運用資産} - \text{総負債}}{\text{総資産}}$	47.3	8.7
13		運用資産余裕比率（単位：年）	△	$\frac{\text{運用資産} - \text{外部負債}}{\text{経常支出}}$	2.8	0.2
14		流動比率	△	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	263.9	222.8
15		前受金保有率	△	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	290.4	302.2
16		退職給与引当特定資産保有率	△	$\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}}$	91.0	38.0
17	負債の割合はどうか	固定負債構成比率	▼	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	5.0	8.5
18		流動負債構成比率	▼	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	11.1	10.1
19		総負債比率	▼	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	16.2	18.7
20		負債比率	▼	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	19.4	23.0

(注1) 「評価」は△：高い値が良い ▼：低い値が良い ～：どちらともいえない を示す。

(注2) 「他法人」は「今日の私学財政（大学・短期大学編）日本私立学校振興・共済事業団」より全国の保健系学部の平均を抜粋。

事業活動収支計算書関係の財務比率表

(%)

	分類	比率	評価	算式	本学園	他法人
1	経営状況はどうか	事業活動収支差額比率	△	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	3.9	1.4
2		経常収支差額比率	△	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	4.4	0.2
3		教育活動収支差額比率	△	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	4.1	0.0
4	収入構成はどうなっているか	学生生徒等納付金比率	～	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	79.9	53.4
5		寄付金比率	△	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	2.3	3.4
6		補助金比率	△	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	14.5	6.4
7	支出構成は適切であるか	人件費比率	▼	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	64.3	55.0
8		教育研究経費比率	△	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	25.2	34.5
9		管理経費比率	▼	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	6.1	10.0
10		借入金等利息比率	▼	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	0.0	0.2
11		基本金組入率	△	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	8.1	11.3
12		減価償却費比率	～	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	6.7	7.6
13	収入と支出のバランスは取れているか	人件費依存率	▼	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	80.5	102.9
14		基本金組入後収支比率	▼	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入 - 基本金組入額}}$	104.7	111.2

活動区分資金収支計算書関係の財務比率表

(%)

	分類	比率	評価	算式	本学園	他法人
1	経営状況はどうか	事業活動収支差額比率	△	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	14.9	11.5

編集後記：

天使大学看護栄養学部年報 - 自己点検・評価報告書 - 2017 年度版が発行となりました。

年報は、教育研究活動の現状の活動や課題の評価を教職員間で可視化するシステムづくりの一つとして作成されています。また大学基準協会への7年ごとの『点検・評価報告書』の基礎資料でもあります。

この報告書を土台として、本学における内部質保証システムが確立され、有効に機能させるとともに、今後も大学の課題を全教職員が認識し、課題の改善に向けた活動へと発展する自己点検評価活動を目指したいと思います。

大学の自己点検評価活動について、今後とも忌憚のないご意見等をお寄せいただきたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

2018 年 7 月

自己点検評価委員会委員長 山部 秀子

2018 年度 自己点検評価委員会

委員長：山部 秀子（栄養学科）

委員：進藤 正信（看護栄養学研究科長）

本宿 美砂子（助産研究科長）

吉田 礼維子（看護学科長）

山口 敦子（栄養学科長）

川口 雄一（教養教育科長）

高木 廣文（看護学科）

岩間 久哉（事務局長）

総務課：上村 俊哉

2017年度

天使大学 看護栄養学部
天使大学大学院 看護栄養学研究科

年 報
—自己点検・評価報告書—

2018年7月発行
自己点検評価委員会

天使大学

〒065-0013 北海道札幌市東区北13条東3丁目1番30号

TEL 011-741-1051 FAX 011-741-1077

<http://www.tenshi.ac.jp>
